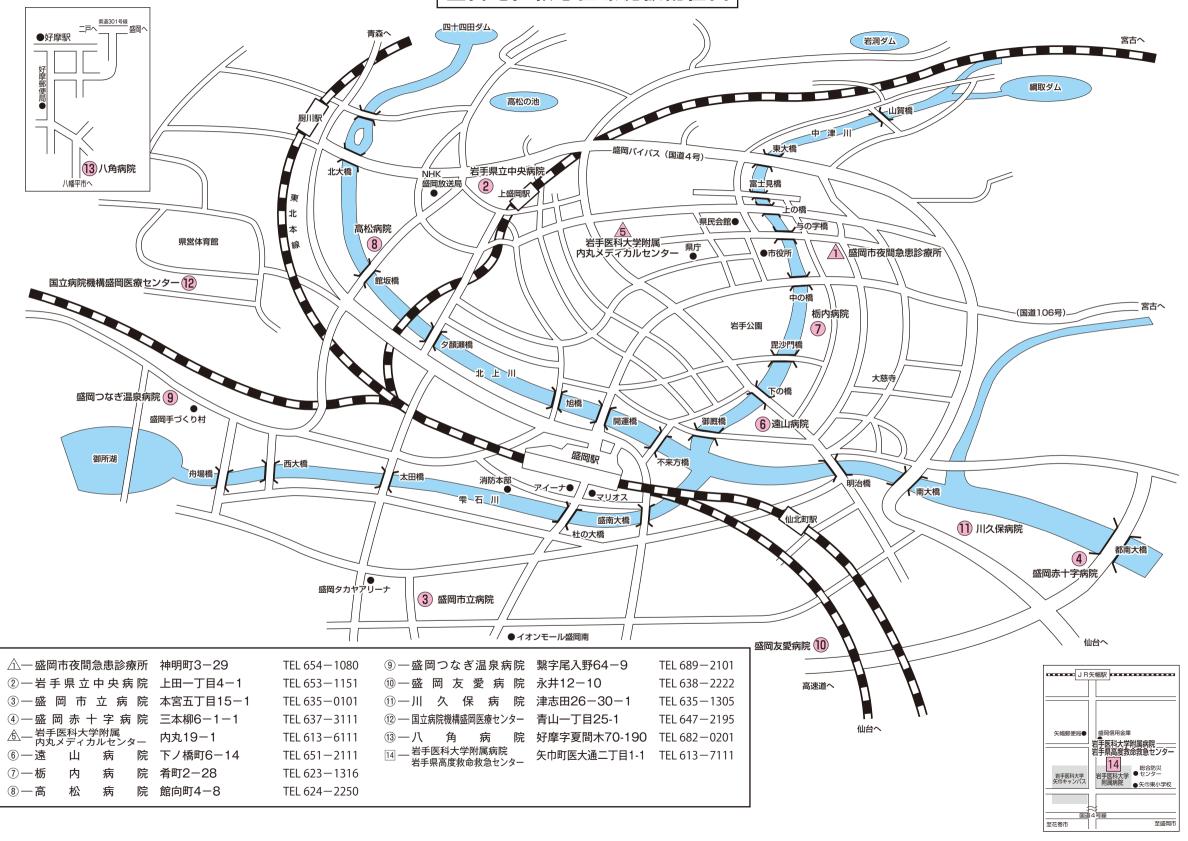
盛岡地区 救急医療体制 のあゆみ

2022

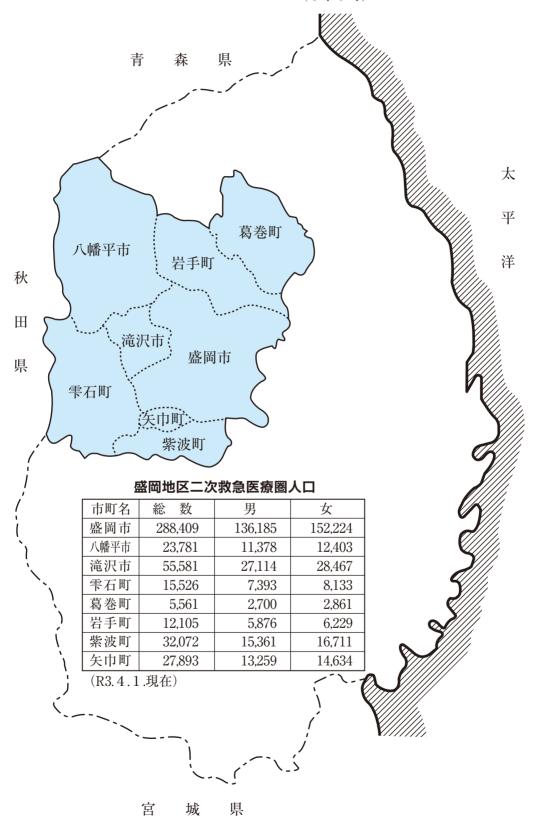
盛岡地区救急医療施設配置図

(令和3年12月現在)



盛岡地区二次救急医療圏

(3市5町)



「盛岡地区救急医療体制のあゆみ」2022 年版

目		次													
序			盛岡市	5医師会	会長										
			盛岡地	也区二次	(救急)	医療対	策委員	会委	員長	吉	田	耕力	大郎…	• • • • • •	 6
挨	ŧ	W.	盛岡北	地区広域	战消防約	組合	消防县	ŧ		上	平	久	浩…		 7
			岩手県	具高度救	文命救急	急セン	ター	セン	ター長	眞	瀬	智	彦…	•••••	 8
Ι	盛岡	岡市夜間	急患診	診療所 4	5 年目	のあり					•••••				 9
	1. 🤋	実態報告	<u> </u>	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •							• • • • • •			• • • • • •	 9
	2. 翁	圣過報告	告・決算	す・予算	į							• • • • • •		• • • • • • •	 13
	3. 氰	診療所日	目誌から	······								• • • • • •		• • • • • • •	 14
	4. 氰	診療所の)現状…									• • • • • •		• • • • • • •	 19
	1	出勤医	医名簿…									• • • • • •		• • • • • • •	 19
	2	役職員	員名簿⋯									• • • • • •		• • • • • •	 23
	5. ž	軍営協議	養会									• • • • • •		• • • • • • •	 24
		令和 2	2年度第	等1回藍	達岡市 石	友間急	患診療	所運	営協議	会	••••	•••••		•••••	 24
II	岩	手県高度	医救命素	(急セン	/ ター幸	设告…					•••••			•••••	 28
	1. %	疾病傷別	1)患者数	女(令和	13年)						•••••				 29
	2. ₹	来院時間	間帯別入	、院患者	台数…							• • • • • •		• • • • • • •	 30
	3. ₺	也域別入	、院患者	首数								• • • • • •		• • • • • •	 30
	4. ∄	般入先・	搬入力	5法别入	、院患者	皆数…						• • • • • •		• • • • • • •	 31
	5. =	主な手術	う件数 お	まなび内	J視鏡的	的治療	件数…				•••••	• • • • • •		•••••	 31
${\rm I\hspace{1em}I}$	お盆	盆及び年	F末年 如	台の救急	息医療										
	1. 4	令和3年	ド度お 益	は休み期	間中の	の外来	患者第	毛態調	查報告			• • • • • •		• • • • • • •	 32
	2.	令和3年	E∼4年	三年末年	三始外き	来患者	実態訓	司查報	告	•••••	•••••	•••••	• • • • • • •	•••••	 38
IV	盛同	岡地区二	二次救急	息医療体	は制 42	年目4	のあゆ	み …						•••••	 44
	1. 🤋	実態報告	냨······	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •				•••••			• • • • • •	• • • • •	• • • • • • • •	• • • • • •	 44
	2. 养	圣過報告	;	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •							•••••				 92
	3. 星	盛岡地区	区二次款	太急医療	好策多	委員会					•••••			• • • • • •	 94
	4. 星	盛岡地区	区二次排	太急医療	好策	委員会	小委員	会…			• • • • • •	• • • • •		• • • • • •	 100
	5. 4	令和3年	F度盛岡	地区	次救急	急医療	打合も	せ会議	(市町	会議)	: 書	面 .		• • • • • •	 101
	6. 星	盛岡市医	医師会・	盛岡市	5保健社	畐祉部	・子と	ごも未	来部と	の打台	合せ会	<u></u>		• • • • • •	 102
	7. 含	第 38 回	救急医	療学術	講演会	: (初]	期・二	次・高	5次救急	急医瘡	研修	(会)			 107

8. 岩手県小児救急電話相談事業(令和3年1月から令和3年12月までのまとめ) …109
V 救急医療年譜·······115
VI 規程・協定書及び設置要項等資料·······118
1. 盛岡市夜間急患診療所運営協議会会則
2. 災害時の医療救護活動に関する協定書
① 岩手県と岩手県医師会との協定書120
② 岩手県医師会と盛岡市医師会との協定書122
③ 盛岡市と盛岡市医師会との協定書124
3. 盛岡地区二次救急医療対策委員会設置要項126
WI 編集後記············128



序 「盛岡地区救急医療体制のあゆみ」 2022 の発行にあたって

盛岡市医師会会長 盛岡地区二次救急医療対策委員会 委員長 吉 田 耕太郎

「盛岡地区救急医療体制のあゆみ 2022」の発行にあたり、一言ご挨拶申し上げます。 盛岡地区救急医療体制は昭和 51 年に「夜間急患診療所」が開設され、54 年には「盛 岡地区二次救急医療体制」の運用が開始されました。さらに昭和 55 年には「高次救急 センター」が開設され、平成 24 年からはドクターへリの運行も開始され、救急医療体 制が構築され運用されて来ました。その後 3 年前の岩手医科大学附属病院の矢巾移転 により救急体制の維持が不安視されましたが、皆様方のご尽力を頂き密な連携のもと 運用されています。これらの体制構築にご尽力された多くの方々と現在も運用に携わ っていらっしゃる全ての関係各位に心から感謝致します。また、今年度から県立中央 病院が救命救急センターに指定され三次救急医療体制の更なる充実が図られています。

東日本大震災・津波から11年が経ちましたが、その後も地震、豪雨などの災害が全国的に多発しています。更に3年前から蔓延している新型コロナウイルス感染症は未だ終息されず、この感染症のために全国的に救急搬送困難事案、搬送後に新型コロナウイルスに感染していた事が判明するなど多くの問題が生じています。岩手県でも新型コロナウイルス感染症が急激に増大(第7波)し終息の目処が立っていません。ワクチン接種などにより重症者は減少して入院患者の医療体制は維持できていますが自宅療養者が増大しているために、健康管理などで日常の医療現場に多大なる影響を与えています。今後、新興感染症や様々な災害に対しての救急医療体制の充実が求められます。

この感染症とは別に今後山積している問題に取り組んで行かなければなりません。国で構築を求めている地域包括ケアシステムは高齢化に伴う ACP(アドバンス・ケア・プランニング)、在宅医療の充実、緩和ケアなどと関連が強く、多職種との連携が重要であり救急医療にも関係して来ます。特に DNAR(Do Not Attempt Resuscitation)に関連した問題は患者さん、その家族の十分な理解も必要です。今後県民への正確な情報提供、啓発に取組んで行きたいと思います。

今後も盛岡地区救急医療体制維持に皆様方のご協力を宜しくお願い致します。



「盛岡地区救急医療体制のあゆみ - 2022 - | に寄せて

盛岡地区広域消防組合

消防長 上 平 久 浩

「盛岡地区救急医療体制のあゆみ - 2022 - 」の発刊に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

日頃から当消防組合の救急業務の円滑な推進につきまして、格別のご理解とご協力をいただいておりますことに厚く御礼を申し上げます。

盛岡地区の救急医療体制につきましては、盛岡市医師会、岩手西北医師会、紫波郡 医師会及び関係医療機関のご尽力により、盛岡地域メディカルコントロール協議会、 初期救急医療、二次救急医療及び三次救急医療の体制が確立されるとともに、二次救 急病院及び妊婦搬送、小児救急病院の輪番体制が定着し、救急医療が円滑に行われて おりますことに深く感謝を申し上げますとともに、日頃の業務にも増して新型コロナ ウイルス感染症患者への対応やワクチン接種業務等の対応に当たっておられますこと に敬意を表するものであります。

全国の救急の状況は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、住民の外出自粛や病院の受診控えなどにより出動件数が減少した一昨年から、令和3年に入りワクチン接種が進むとともに新しい生活様式を取り入れることで、徐々に日常を取り戻しはじめたことなどを要因に救急件数は増加に転じております。

当消防組合における令和3年の救急出動件数は、前年に比べて821件増の17,506件となりました。

また、令和2年2月26日から4年5月31日までの間に、252人の新型コロナウイルス感染症疑い及び陽性患者の救急搬送を行ったほか、保健所からの要請により、69人の陽性患者の移送を行っております。

コロナ禍における救急業務を適切に遂行するためには、救急隊員の感染防止対策が特にも重要課題であることから、全ての救急事案にN95マスク、感染防止衣を上下着装して活動しているほか、国の「救急隊員の感染防止対策マニュアル」を基本とした研修を行うなど、細心の注意を払い、対応に当たっているところであります。

今後におきましても、新型コロナウイルス感染症への対応はもとより、救急隊員の 教育訓練の充実、救急救命士及び指導救命士の養成と円滑な運用、岩手県ドクターへ リとの連携による救急体制の強化など、関係機関のご理解とご協力をいただきながら 救急業務の高度化を積極的に推進し、地域住民の信頼と負託に応えるよう一層努力し て参る所存であります。

結びに、プレホスピタルケアの充実と社会的要請に応えるため、引き続き救急隊員に対し、より一層のご指導とご鞭撻を賜りますとともに、盛岡市医師会のますますのご発展と皆様方の更なるご活躍を祈念申し上げまして、ご挨拶といたします。



「盛岡地区救急医療体制のあゆみ - 2022 - | に寄せて

岩手県高度救命救急センター

センター長 眞 瀬 智 彦

本年度より岩手県高度救命救急センター長を拝命致しました真瀬智彦です。この場をお借りしましてご挨拶させていただきます。

岩手県高度救命救急センターは、1980年11月1日岩手県と岩手医科大学が官民共同の救急センターとして開設されました。1996年に広範囲熱傷・中毒・四肢切断等の特殊疾患を受け入れる当時全国で7番目の高度救命救急センターとなり、北海道・東北で最初の認定となりました。2012年5月からはドクターへリの運航を開始しております。現場で医療を提供することにより早期の初期診断・治療、医療機関の適切な選定、搬送時間の短縮等重症者の救命率向上を目指しております。2019年9月の岩手医科大学附属病院移転に伴い、ヘリポートと高度救命救急センターが直結したことで、利便性が向上し、より一層の効果が期待されます。

県内唯一の高度救命救急センターとして、2次救急医療機関を含めた地域との連携、 県や保健所、消防など行政・他機関との協力は必要不可欠であり、関係機関、多職種 との「連携」をより強固なものとし、盛岡地区・岩手県の救急医療がより良い体制に なるよう尽力して参ります。

現在、新型コロナウイルス感染症蔓延に伴い、救急医療の現場はますます疲弊しつつあります。このような中で救急医の育成は急務であり重要なことと考えます。多くの疾患が集まる当施設で多くの学生・研修医をはじめ医療従事者が学べる環境を整えていきたいと思います。

基幹災害拠点病院の救急センターとして、県内の災害はもちろんのこと、東日本大震災や北海道胆振東部地震など、実災害での医療救護班の派遣実績を活かし、地震や台風といった自然災害から新型コロナウイルス感染症まで多岐にわたる「災害」から、1人でも多くの命を救えるよう準備を進めていきたいと思います。また、コロナ禍においても重要視されているBCP(事業継続計画)の普及、災害急性期から慢性期まで対応できる災害医療人の育成などにも引き続き力を入れていきたいと思います。

病院移転当日の患者搬送、矢巾に移転してからの救急医療体制の調整、さらには新型コロナウイルス感染症の入院等搬送調整と、すべての関係機関・様々な職種の方の連携とご協力があったからこそ、救急医療の現場が崩壊することなく成り立っていると痛感しております。救急医療の現場に終わりはなく、環境の変化によって問題も多岐にわたりますが、1つ1つクリアし、より良い医療が提供できるよう努力して参りますので、今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

I 盛岡市夜間急患診療所 45 年目のあゆみ

1. 実態報告

盛岡市医師会、盛岡市夜間急患診療所運営協議会委員

吉 田 耕太郎 · 金 子 博 純 · 本 間 博

金濱誠己 · 久保田公宜 · 小林有一

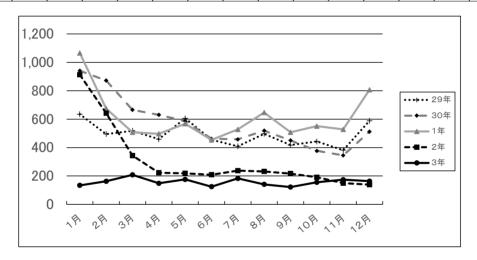
三浦義孝·吉田研一

盛岡市、盛岡市夜間急患診療所運営協議会事務局 ※R 3.12.31 現在

図1 過去5年間の月別患者分布

(人)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	一日平均
29年	635	495	518	459	606	455	409	497	418	443	382	589	5,906	16.2
30年	941	872	666	630	587	462	458	519	450	377	345	512	6,819	18.7
1年	1,066	675	508	497	568	454	528	647	508	551	528	807	7,337	20.1
2年	913	642	344	223	219	209	238	232	217	191	150	139	3,717	10.2
3年	134	163	208	149	176	125	183	141	122	156	174	164	1,895	5.2



表(1) 患者総数及び科別実績

(人)

	人月	34	E												合計	比率	前年	増減
	区分	1)	1	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月		(%)	実績	垣佩
	患者総数	1	34	163	208	149	176	125	183	2141	122	156	1174	164	1,895	100.0	3,717	△ 1,822
(-	-日患者数)	(4	.3)	(5.8)	(6.7)	(5.0)	(5.7)	(4.2)	(5.9)	(4.5)	(4.1)	(5.0)	(5.8)	(5.3)	(5.2)		(10.2)	(△ 5.0)
Ī	1.0		54	63	71	40	62	42	57	44	34	42	43	45	597	31.5	1,566	△ 969
j	内科	(]	.7)	(2.3)	(2.3)	(1.3)	(2.0)	(1.4)	(1.8)	(1.4)	(1.1)	(1.4)	(1.4)	(1.5)	(1.6)		(4.3)	(△ 2.7)
	小児科		30	100	137	109	114	83	126	97	88	114	131	119	1,298	68.5	2,151	△ 853
)	IJ/TYCAT	(2	.6)	(3.6)	(4.4)	(3.6)	(3.7)	(2.8)	(4.1)	(3.1)	(2.9)	(3.7)	(4.4)	(3.8)	(3.6)		(5.9)	(△ 2.3)

- ・患者総数は1,895人で前年より1,822人
- ・一日の患者数は平均5.2人。年間を通じては3月が最も多かった。
- ・内科と小児科との利用割合は、内科 31.5%、小児科 68.5%。患者の約6割が小児科で占められている。

表(2) 年齢別患者分布

(人)

年曹	令	3年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	比率 (%)	前年 実績	増減
	0	15	7	19	17	11	9	18	8	12	11	16	23	166	8.8	185	△ 19
	1~5	40	58	82	69	63	43	65	61	47	59	75	64	726	38.3	1,062	△ 336
年	6~12	21	31	30	20	33	27	34	23	25	38	35	25	342	18.0	730	△ 388
	13 ~ 15	6	5	6	3	4	4	9	5	4	6	6	8	66	3.5	192	△ 126
齢	16 ~ 24	11	14	16	5	17	8	6	9	7	8	4	8	113	6.0	306	△ 193
	$25 \sim 34$	8	14	17	14	12	6	12	6	7	12	9	4	121	6.4	363	△ 242
別	35 ~ 44	13	12	13	7	10	11	8	7	6	9	6	12	114	6.0	342	△ 228
	45 ~ 54	3	6	10	4	10	7	13	3	3	4	8	3	74	3.9	228	△ 154
	55 ~ 64	8	3	6	5	7	5	9	9	6	3	3	7	71	3.7	117	△ 46
	$65 \sim 74$	3	7	6	3	2	3	3	5	2	6	8	3	51	2.7	97	△ 46
	75 ~	6	6	3	2	7	2	6	5	3	0	4	7	51	2.7	95	△ 44
						計								1,895	100.0	3,717	△ 1,822

[・]年齢別では、 $1\sim5$ 歳児が最も多く、全体の38.3%を占めている。

表(3) 地域別患者分布

(人)

地域	月	3年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	比率 (%)	前年 実績	増減
	盛岡市	104	140	157	115	129	95	141	104	98	115	134	125	1,457	76.9	2,884	△ 1,427
	雫石町	1	1	3	0	2	0	5	4	2	5	3	4	30	1.6	48	△ 18
地	葛巻町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	2	△ 2
	岩手町	0	1	1	0	3	0	1	1	1	2	1	0	11	0.6	21	△ 10
域	八幡平市	0	0	3	3	1	1	4	1	2	1	2	3	21	1.1	37	△ 16
	滝沢市	17	13	24	11	18	16	9	14	8	18	15	12	175	9.2	375	△ 200
別	紫波町	2	3	12	8	10	5	8	6	4	5	7	7	77	4.1	95	△ 18
	矢巾町	6	2	4	8	12	4	7	5	4	7	6	8	73	3.9	131	△ 58
	その他の県内	4	2	2	3	1	2	4	3	2	1	2	0	26	1.4	58	△ 32
	県 外	0	1	2	1	0	2	4	3	1	2	4	5	25	1.3	66	△ 41
						計								1,895	100.0	3,717	△ 1,822

[・]地域別で1番多いのは盛岡市の1,457人(全体比76.9%)。前年より1,427人減。

[・]盛岡市に次いで 2 番目に多いのは滝沢市の 175 人(同 9.2%)、 3 番目が紫波町の 77 人(4.1%)。

表(4) 曜日別患者分布

(人)

曜日	月 i	3年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	比率 (%)	前年 実績	増減
	月	15	16	20	16	25	11	19	20	8	17	18	17	214	11.3	463	△ 249
曜	火	15	13	32	12	19	14	6	15	11	14	13	22	188	9.9	431	△ 243
	水	11	32	34	15	23	14	22	17	18	18	28	20	256	13.5	530	△ 274
H [木	19	21	24	29	15	21	34	16	26	19	23	23	270	14.2	470	△ 200
別	金	15	23	27	23	18	14	32	19	12	19	28	19	247	13.0	405	△ 158
" [土	35	35	39	31	39	30	46	26	26	48	35	23	423	22.3	753	△ 330
	日	24	23	32	23	37	21	24	28	21	21	19	15	297	15.7	665	△ 368
						計	<u> </u>							1,895	100.0	3,717	△1,822

[・]曜日別では、土・日曜が多くなっており、合わせて約38%を占めている。

表(5) 時間帯別患者分布

(人)

時	開	3年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	比率 (%)	前年 実績	増減
	午後 7:00 ~	48	60	67	48	60	37	55	54	39	50	80	60	658	34.7	1,656	△ 998
時間	午後8:00~	39	49	66	36	55	43	65	35	44	46	41	55	574	30.3	943	△ 369
帯	午後9:00~	29	35	51	37	29	30	39	33	28	42	31	27	411	21.7	692	△ 281
	午後 10:00 ~	18	19	24	28	31	15	24	19	10	17	22	21	248	13.1	422	△ 174
	午後 11:00 ~	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	1	4	0.2	4	0
						計	-							1,895	100.0	3,717	△1,822

[・]時間帯別では、午後7:00~8:00までが多く、34.7%を占めている。

表 (6) 時間帯別有救急度患者分布

(人)

時	開	3年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	比率 (%)	前年 実績	増減
	午後 7:00 ~	5	15	14	45	10	10	4	6	5	3	12	4	93	27.8	290	△ 197
時間	午後8:00~	11	13	10	6	11	7	11	5	7	7	6	11	105	31.4	171	\triangle 66
帯	午後9:00~	5	8	17	9	6	9	7	5	5	8	4	6	89	26.6	142	△ 53
	午後 10:00 ~	3	3	5	8	6	0	6	3	1	4	5	3	47	14.1	73	△ 26
	午後 11:00 ~	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	1	$\triangle 1$
						言	<u> </u>							334	100.0	677	△ 343

[・]有救急度患者は患者全体の 17.6%を占め、時間帯別では、午後 8:00 ~ 9:00 までが多く、31.4%を占めている。

表(7) その他事項別人数

(人)

事	頂月	3年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	比率 (%)	前年 実績	増減
電話	医師指導	14	3	1	11	4	9	10	11	14	15	6	10	108	2.5	19	89
問合	看護師等助言	315	324	373	359	418	347	419	402	324	318	341	295	4,235	96.6	3,290	945
救急	息車搬入													0	0.0	0	0
二岁	:救急転送	1	4	10	5	2	2	4	4				8	40	0.9	87	△ 47
						青	-							4,383	100.0	3,396	987

[・]電話問合に対する看護師等の助言件数は 4,235 件で前年より 945 件増加した。

表(8) 転送先二次・三次救急病院別診療科別患者分布(令和3年1月~令和3年12月)

診療科 救急病院	内科	小児科	外科	耳鼻科	泌尿器科	眼科	産婦人科	歯科	計
岩手県高度救命救急センター									0
岩手県立中央病院	18	21							39
盛岡市立病院									0
盛岡赤十字病院		13							13
岩手医科大学附属病院	3								3
遠 山 病 院									0
栃 内 病 院									0
高 松 病 院									0
盛岡つなぎ温泉病院									0
友 愛 病 院	1								1
川 久 保 病 院									0
盛岡医療センター		9							9
盛岡療育センター		1							1
計	22	44	0	0	0	0	0	0	66
比率 (%)	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

[・]内科が約33%、小児科が約67%を占めている。

表(9) 転送患者疾患別分類(令和3年1月~令和3年12月)

疾 患 名	人	疾 患 名	人
胃・腸炎(急性・感冒性他)	6	気管支炎(急性・喘息様他)	4
虫垂炎	5	気管支喘息	4
急性腹症	4	上気道炎 (急性他)	2
腸重積		肺炎	4
腹痛	1	その他呼吸器系	5
便秘	1	インフルエンザ	
イレウス		心臓疾患等循環器系	1
その他消化器系	11	脳血管障害等循環器系	6
脱水症	3	尿管結石等泌尿器系	
嘔吐	1	その他	6
じんま疹・アナフィラキシー	2	計	66

[・]消化器系が約49%、呼吸器系が約21%を占めている。

[・]昨年に引き続き、岩手県立中央病院が岩手医科大学附属病院の転送合計患者数を上回った。

2. 経過報告・決算・予算

経過報告

令和 3 年 9 月 8 日 第 1 回盛岡市夜間急患診療所従事者意見聴取(書面) 令和 4 年 2 月 25 日 第 1 回盛岡市夜間急患診療所運営協議会(書面)

予算·決算

歳 入 (円)

	科 目 2年度決算 3年		3年度予算	説	明		
使	吏 用 料 27,4		27,485,148	63,475,000	診療報酬収入		
県	! 補 助 金 2,104,980 1		1,260,000	運営費補助金			
雑			入	440	1,000	事務手数料等	
	合	計	-	29,590,568	64,736,000		

歳 出 (円)

科 目	2年度決算	3年度予算	説明
報酬	11,273,987	17,058,000	管理者、看護師報酬
共済費	1,121,481	2,282,000	社会保険料
報償金	647,980	96,000	運営協議会委員謝金
旅費	165,388	263,000	研修会参加旅費、看護師通勤手当
需用費	4,418,039	7,028,000	消耗品、燃料、食糧、印刷、修繕、医薬材料
役務費	458,323	382,000	医療事故賠償保険、電話料、洗濯代
委託料	52,222,202	53,865,000	医療事務委託料、診療業務委託料等
使用料及び賃借料	1,827,706	2,059,000	医事会計システム借上料等
備品購入費	92,400	0	機械器具購入費
合 計	72,227,506	83,033,000	

3. 診療日誌から

令和3年1月1日(金)T.K

ったと思います。

令和3年1月14日(木)M.I

0名でした。

内職できました。

令和3年1月15日(金)S.I

3日続けての0人

病院の心エコーチェックと主治医意見書作 成できました。

令和3年2月9日(火)T.I

本日の患者さんは0でした。

本日が私の最後の出勤となりました。

40年間大変お世話になりました。

御苦労様でした K.K

令和3年3月25日(木) N.M

- 1.19才♀ めまい
- 2.20才 胃痛(2/18~22 神奈川に行 った。特診室)

やはり年度末で人の移動が増えているよう です。コロナ変異株が拡大しない事を、願う ばかりです。

令和3年4月1日(木)K.K

本日、2名でした。

本日新型コロナウイルス感染陽性者 25 名。 今朝X氏より「本日多数出る」との情報通 り。仙台など多発地域よりの影響で本県も急

増の可能性大。変異株が広がる前にワクチン 2/1 追記→記入忘れてました。確か 1 名だ 集団免疫をつけないといけないが、もはやそ の可能性は薄く打つ手なしか…。

令和3年4月16日(金)H.Y

1.74 才F めまい、吐き気 1名でした。

令和3年5月27日(土) M. I

1.61才女性

足のむくみ、尿意頻数、倦怠感↑ etc で受 診 高血圧、不安神経症(?)治療や、血圧 181/93と上昇 今晩はアムロジピン (25) 1T と処方されている アルプラゾラムを一緒に 服用し、休み明けに主治医を受診するよう話 しました

- 2. 47 才女性 急性胃腸炎、腹痛が強い
- 3. 32 才男性

38.9 度の発熱、嘔気、水様性下痢 特診室 で診ました。WBC6700、CRP1.3、Lvm9.5%、 Gra87.6% でした。

令和3年6月9日(水) K.I

1名熱中症です。

本日は暑かったのですが朝に山菜取り。午 後は子供と遊んでいたそうで。梅雨入るとま た寒くなるんですよね。

令和3年6月13日(日)H.T

34年間夜間診療所の当番で2回目の0名 でした。

令和3年6月14日(月)Y.0

初完封でした。 0名です。

令和3年6月21日(月)M.K

で誰の喉見ても真赤にしか見えない。明るい ライト是非必要!

令和3年7月13日(火)K.0

TEL 相談; 誤嚥性肺炎の疑い強く中央病

院受診をすすめる。87 才男性。

32 才男性; 発熱 (特診室で診察)

令和3年7月22日(木) N.K

K 皮膚科付近でたおれていたおばあさんが 令和3年12月17日(金) T.H 保健所外まで運びこまれ救急要請。

JCS I、Bp85/50、めまいあり歩けず、そ ·19 才♀ 発熱、せき、咽頭痛 (38℃以上) のまま搬送

令和3年7月29日(木)K.N

・19 才♂ 腹痛 →中病へ紹介

・ な じん麻疹

全国:10.701 人 東京:3.865 人 岩手:12 人 1 25y.o. male fen-p → medicate

令和3年8月3日(火)K.K

本日0でした。

オリンピック観戦に来たようなものです。

祝(金)橋本大輝

(銅) 屋比久翔平

令和3年8月27日(金)T.K

色々なところで問題行動して出禁になって いる Ptより睡剤か安定剤が欲しいと TEL あ り。詳細は Ns の申し送りノート参照。→夜 間診療所では処方できない。と話して TEL をきりました。ご注意ください。

令和3年9月11日(土) M.K

9.11より20年、コロナで不自由な世界に またもタリバンの暗雲。自由に海外へ行ける 日はしばらく訪れそうにない。…それなら国 特寝室の診察用ライトが暗く色温度低すぎ 内をと出歩くと県外ナンバーは白い目で見ら れうしろめたい。あー憂鬱だ。

令和3年9月30日(木)H.K

19 才、♀ コミナティ接種後の湿疹

令和3年12月11日(土)H.0

本日受診者は0でした。 これで3日間連続で0人です。

- · 40 代♀ 尿管結石 SP
- 今後は県外移動暦なしとか他県接 触歴なしで診察 OK で良いのでし ょうか?

以上2名です

令和3年12月31日(金) J.K

- 2 34y.o. male fen-p → medicate

小児科

令和3年1月6日(水)T.T

コロナ感染拡大が止まらない。早く予防接種の実施が必要であるが、確実なものか?まだまだ時間が必要。

小児科 1名(嘔吐症、微熱)隔離室で対応 内 科 1名

令和3年1月22日(金)K.T

約5年ぶりの夜間診療所勤務です 2名受診と少なかったです。

令和3年1月29日(金)Y.F

大雪で交通渋滞、松尾から来るのに時間が かかりました。「開始時間になっても診療が始 まらない」と苦情が来るのではないかとヒヤ ヒヤしました。

1名、11才急性胃腸炎・脱水

令和3年2月4日(木)T.Y

今日もどっさり雪がつもりました。

雪はきらいではありませんが、雪かきは好きではありません。年とるととくにイヤですね。 今日の患者さん

2020年12月1日生の女の子

- ・泣きやまない
- ・予防接種あとがはれている

たしかに両上腕が赤くはれている

痛くて泣いているのだろうか~

さわると泣き声高くなる~

泣きはじめて2時間半になるのでまず母乳を のませてみようとした。泣きながらのんでい た。少し眠ったところで帰宅させたが、県立 中央病院 M 先生に再度泣きはじめた時は受診 することをお願いした。心良くおひきうけ下 さり御礼申しあげます!!

令和3年2月18日(木)T.T

病院でコロナワクチンの実施で意志の確認のアンケートが行なわれましたが、何時、実行出来るのでしょうか?世界の10%の国が70%のワクチンを持っていると国連が指摘していました。

小児科 本日は3人の発熱の患者受診 内 科 1名

令和3年3月10日(水)T.T

明日 3.11。10 年経ちました。あっというまでした。復興未まだ完成せず。おまけにコロナ禍

小児科 5名 発熱1名 蕁麻疹 便秘 内 科 1名 結膜炎 咽頭痛

令和3年4月1日(木)T.Y

患者さん 3名

今日はエイプリルフールです。

岩手県の新型コロナウイルス感染者 25 名との 報告あり。うそであるといいなあ~。

ついに小児が小児科医院にもせまってきた このごろです。

あらためて感染対策に気をくばりましょう。

7時半ごろTEL ありました。明日 PCR 検査をうける様に言われている保育園児、2日前溶連菌感染症と診断されアモキシシリン服用、今日は咽頭炎で吸入をうけてきた。夜ひどい様なら夜間急患診療所で吸入してもらってといわれている。"あれ~"お電話で"まず夜のお薬のんで下さい"デカドロンものんで下さい!! とお話しし、11 時まではやっていま

すので不調だったら又お電話下さいと。でも 今11時になろうとしているが電話きません。 良くなって眠っていると判断しましたが…。

令和3年4月11日(月)Y.U

4名 発熱 2名

嘔吐 1名

熱性痙れんが心配 1名

5 才男児。インフルエンザ罹患 39℃の時 熱性痙れんあり。その後、高熱は何度かあっ たが痙れんなし。受診時 37.1℃

父親が病院に電話したが明日までようすをみるように言われ夜間診療所に電話。痙れんをおこす可能性が少ないことと、おきた場合の対応を説明したが来院。

どうしても座薬が欲しいとのこと。

令和3年4月15日(木)Y.M

急患3名

欲しなぁ

基本的に夜間診療所ではコロナ疑いの患者 さんは診ない。翌日かかりつけ医を受診する ように啓発していただきたい。

- ・明日 PCR 検査の予定になっている
- ・家族が PCR 検査の結果待ち 「夜間診で吸入してもらって」とは言わないで

令和3年5月14日(金)T.Y

急性胃腸炎の1才児 1人だけでした。 こんな状態でいいのでしょうか?

ずーっと 10 人以下です。どころか $0\sim5$ 名です。市で経営しているのだからいいとは言えないと思います。電話相談をしていると言ってもいいかと。小児 QQ 電話相談はどんな具合なのでしょうか?

ワクチンの問題等でおいそがしいのでしょうけど話し合っていいのではないでしょうか?

M 先生の時は少し患者さん多いのでしょうか?でもおこった様な日誌の書き方やめませんか?

うるさいおばさんより。

令和3年6月9日(水)T.T

コロナワクチンの実施は未だ進んでいない。 最近は市中感染が心配されている。

小児科 2名(発熱2)内科1名

令和3年7月1日(木)T.T

いよいよオリンピックを開催するらしい。 感染拡大兆候もあり心配。

小児科 4名

発熱2名便秘1名 耳下腺部痛 1名

内 科 1名

令和3年7月16日(金)T.Y

1名です

先月末 盛岡医療センターS先生の当直をねらい、9時ごろ訪問しました。二次輪番とのことで外来で診察してらっしゃいました。廊下にはもう一人患者さんがいてその方達の診療を終わってからお話をしていました。そこへ救急車到着しお話はおわりましたが1時間位の間に医療センターの二次輪番をみました。夜間診療所では1~4名/4時間ですよね。何かおかしいものを感じました。そしてここでは電話相談もあります。電話相談・夜間診療所・救急輪番制病院、それぞれのお役目をはっきりさせた方がいいのではと思います。今夜もまだ1人です。

令和3年7月19日(月)M.K

夜間診療の受診者数が減った理由を考えて みました。

1) 新型コロナに罹患するからなるべく医療

機関に行かない

- 2) 検査をしてくれないので
- 3) 薬は1日分しか処方してくれないので ならば検査をしてくれる二次病院に行きた いと言うことなのでしょうか?

それとも何でもすぐ夜間診に訪れるのでは なく、家庭で翌日までみることができるよう にしてよいのでしょうか?

3名でした(内2名 熱中症)

中1男子 熱中症 点滴 3~4時間はク ーラーのない教室で勉強

小4男子 熱中症 点滴 午前中は学校は クーラーを入れないとのこと 小 4 男子 便秘症

令和3年7月30日(金)Y.F

小児科4名(3ヵ月~8才)すべてウンチ に関連。

運転免許の高齢者講習をうけて来ました。 来年からは70才以上は3年ごとに講習を受講 することになるそうです。隣に座った教官と 2人で教習コースを何週もしました15年ぶり の車の運転でした。

交通標識の見おとしを注意されました。ご もっともです。75才以上は認知症の有無まで きびしくチックされるのだそうです。

令和3年8月9日(月)Y.K

8/8日「山の日」のため今日は振替休日です。 小児科4名 発熱がほとんど 昨日で東京オリンピックが終了しました。

それなりの盛りあがりをみせたと思います が、コロナの新規感染者数も増えつづけ終わ りが見えません。医療崩壊レベルだと思うの ですが、どうなってしまうのでしょうか? 小児科 5名

じんましん2名 発疹1名 喘息発作2名 台風のためかアレルギー疾患が多かったです。

令和3年10月6日(水)T.T

コロナ5波が収束に向かっていますが終息 は何時?

ワクチンの早い拡大が望まれます。盛岡小 児2次輪番の体制の議論が准められているよ うですが、どうなるか?

小児科 3名 内 科 0名

令和3年10月29日(金)Y.F

5名診療(最近にしては多い方です!)

大学病院受診で仙台に行って来ました。往 きも帰りも新幹線は驚くほど混んでいました。 仙台駅では旅行社の旗をたてて高齢者のツア ーグループが行進していました。コロナの第 6波もすぐに来ることでしょう。

令和3年11月5日(金)T.T

Corona 発生 0 が続いています。なぜ急に減 少したのか不思議です。明日はワクチンに出 動です。

小児科 3名 内 科 1名 多形紅斑の女児 日赤に紹介

令和3年12月3日(金)T.T

鎮静化かと思いきや、オミクロン株登場 まだまだ続く闘い。

内科 3 名

4. 診療所の現状

① 夜間急患診療所出動医名簿

令和3年1月1日~令和3年12月31日

青山洋二 ゆい内科呼吸器科クリニック 向中野二丁目 54-18

朝 倉 賀 子 岩手医大 小児科 紫波郡矢巾町医大通二丁目 1-1

朝 倉 慎 一 あさくらクリニック 茶畑一丁目 8-2

小豆嶋 正 晴 岩手医大 糖尿病·代謝·内分泌内科 紫波郡矢巾町医大通二丁目 1-1

阿 部 弘 一 あべ菜園内科クリニック 菜園二丁目 5-29

阿 部 隆 志 あべ神経内科クリニック 肴町 6-6 熊長ビル 1F

阿 部 礼 司 あべ内科・消化器科クリニック 長橋町 17-45

安 藤 聡 彦 岩手医大 糖尿病・代謝・内分泌内科 紫波郡矢巾町医大通二丁目 1-1

池 田 富 好 真山池田医院 本町通三丁目 19-32

池 田 亘 政 池田内科 上太田弘法清水 10-3

石 井 基 弘 石井内科消化器科医院 東緑が丘 23-26

石 井 基 嗣 いしい内科・糖尿病クリニック 中ノ橋通一丁目 4-20 水晶堂ビル 4F

板 澤 正 明 ポランの内科クリニック 中央通一丁目 7-25 1F

伊藤俊一 川久保病院 内科 津志田 26-30-1

伊藤雅天川久保病院内科津志田 26-30-1

上 原 充 郎 上原小児科医院 岩手郡雫石町八卦 1-16

臼 井 由紀子 臼井循環器呼吸器内科 松園二丁目 2-10

梅 木 郁 美 県立中央病院 小児科 上田一丁目 4-1

永 塚 健 えいづか内科胃腸科クリニック 緑が丘四丁目 1-7

及 川 寛 太 おいかわ内科クリニック 上田一丁目 18-38

大 浦 雅 之 大浦内科・歯科クリニック 津志田西二丁目 13-3

大 澤 宏 之 大澤クリニック 茶畑二丁目 8-3

大 庭 英 樹 盛岡駅前おおば脳神経内科クリニック 盛岡駅前通13-8

大 平 篤 志 おおひら内科循環器科クリニック 梨木町 2-2

大屋 敬一郎 大屋内科胃腸科クリニック 西青山一丁目 16-43

荻 野 有 正 県立中央病院 小児科 上田一丁目 4-1

荻 野 義 信 荻野病院 本宮一丁目 6-12

県立中央病院 小児科

沖 村 聖 人

小 田 淳 一 盛岡さくらクリニック みたけ四丁目 36-32

小 田 翔 一 八幡平市立病院 八幡平市大更 25-328-1

ア 田 朔 一 八幡十甲五柄尻 - 八幡十甲八史 23-326-1

梶 山 あずさ 県立中央病院 小児科 上田一丁目 4-1

桂 永 行 かつら内科クリニック 本宮字小板小瀬 13-2

上田一丁目 4-1

加	藤	隆	幸	加賀野消化器内科・内科クリニック	天神町 11-8
加	藤		幸	川久保病院 内科	津志田 26-30-1
金	澤		格	かなざわ内科クリニック	上堂一丁目 18-24
金	矢	宣	紀	循環器内科 金矢クリニック	津志田中央三丁目 7-7
金	Щ	広	海	かなやま内科医院	浅岸一丁目 12-22
金	子	博	純	金子胃腸科内科	乙部 13-135-3
金	濱	誠	己	杜のこどもクリニック	向中野三丁目 10-6
鎌	田	広	基	鎌田内科クリニック	本宮二丁目 20-1
鎌	田	潤	也	おおどおり鎌田内科クリニック	大通二丁目 7-23
Ш	村	光	郎	川村内科医院	志家町 4-4
Ш	村	みゃ	や子	みちのく療育園	紫波郡矢巾町大字煙山 24-1
菅	野	啓	_	菅野小児科医院	山岸二丁目 11-36
菊	池		均	旭橋クリニック菊池循環器内科	材木町 2-26-3F
菊	池	光	洋	岩手医大 放射線治療科	紫波郡矢巾町医大通二丁目 1-1
金		正	門	まさと脳神経内科クリニック	向中野五丁目 18-30
金	野	寛	史	岩手医大 糖尿病・代謝・内分泌内科	紫波郡矢巾町医大通二丁目 1-1
久	喜	寛	之	久喜内科・脳神経内科医院	緑が丘三丁目 2-34
工	藤	真	大	工藤内科ハートクリニック	中ノ橋通一丁目 7-13
工	藤	卓	次	くどう医院	前九年三丁目 16-15
工	藤	宏	紀	県立中央病院 小児科	上田一丁目 4-1
久傷	田	公	宜	久保田医院	大館町 26-10
肥	田	龍	彦	菜園循環器内科医院	菜園一丁目 4-7
小	坂		崇	小坂内科消化器科クリニック	永井 19-258-1
児	島	陽	_	児島内科医院	みたけ三丁目 11-36
小	林		仁	マリオス小林内科クリニック	盛岡駅西通二丁目 9-1
小	林	有	_	小林小児科クリニック	三本柳 11-12-4
齋	藤	明	宏	さいとう小児科クリニック	月が丘二丁目 2-60
齊	藤	慎	\equiv	みたけ消化器内科クリニック	みたけ四丁目 11-46
斉	藤	宏	之	みんなのクリニック	みたけ二丁目 21-42
坂	\Box		俊	岩手医大 小児科	紫波郡矢巾町医大通二丁目 1-1
佐々	·木		透	おはようクリニック	高松二丁目 27-27
佐々	木	朋	子	国立病院機構 盛岡医療センター	青山一丁目 25-1
佐々	木	正	孝	ささき医院	中野一丁目 27-10
佐	藤	公	也	佐藤内科クリニック	大通三丁目 1-24
佐	藤	邦	彦	もりおか胃腸科内科クリニック	中ノ橋通二丁目 3-2
佐	藤	由看	手子	船山内科クリニック	下ノ橋町 4-15

'lui		41.		" 田古利尼區	I III - T II 2.11
澤	田	哲	伸	澤田内科医院	上田一丁目 6-11
塩	畑		健	岩手医大 小児科	紫波郡矢巾町医大通二丁目 1-1
	豆嶋	<u>т</u>	頼	小豆嶋胃腸科内科クリニック	仙北三丁目 13-20
鈴	木	康	之	内科クリニックすずき	北松園二丁目 15-4
鈴	木	知	己	鈴木内科医院	八幡町 2-17
髙	野	長	邦	盛岡赤十字病院 小児科	三本柳 6-1-1
髙	橋		進	中津川病院	下米内二丁目 4-12
髙	橋	卓	也	県立中央病院 小児科	上田一丁目 4-1
高	橋	明	雄	子どもは未来もりおかこどもクリニック	上田字松屋敷 11-14
滝	Ш	佐沙	皮子	西松園内科医院	西松園三丁目 22-1
武	田		薫	介護老人保健施設サンホーム	花巻市東宮野目 13-112
田	中	健力	太郎	けんたろうこどもクリニック	紫波郡矢巾町大字西徳田 5-2-4
田	中		洋	田中循環器内科クリニック	永井 22-29-6
田	村	悦	子	遠山病院 内科	下ノ橋町 6-14
千	田	明	紀	ちだ内科・外科クリニック	東安庭 1-23-60
千	葉	直	樹	ちばクリニック	中央通三丁目 1-10
千	葉	芳	久	本宮Cクリニック	向中野三丁目 10-3
千	葉		修	公園通りクリニック	菜園一丁目 6-13 公園通りプラザビル 2F
栃	内	秀	貴	栃内内科医院	神明町 10-35
豊	島	浩	志	岩手医大 小児科	紫波郡矢巾町医大通二丁目 1-1
中	島		淳	中島内科クリニック	月が丘二丁目 8-30
中	村	義	明	中村内科医院	若園町 2-5
中	村	富	雄	中村こどもクリニック	上厨川字杉原 50-47
西	島	浅	香	西島こどもクリニック	上田一丁目 19-5
\equiv	宮	_	見	二宮内科クリニック	愛宕町 2-47
\equiv	宮	由看	季里	二宮内科クリニック	愛宕町 2-47
原	田	達	男	原田内科脳神経機能クリニック	山岸三丁目 2-1 山岸中央ビル 1 階
樋	П	清	_	大浦内科・歯科クリニック	津志田西二丁目 13-3
平	井	大	士	平井医院	紫波町日詰字下丸森 138-2
藤	井		裕	東八幡平病院	八幡平市柏台 2-8-2
藤	島	敏	智	藤島内科医院	愛宕町 4-18
本	間		博	本間内科医院	上田二丁目 20-13
本	間	博	之	岩手医大 糖尿病・代謝・内分泌内科	紫波郡矢巾町医大通二丁目 1-1
米	沢	俊	_	子どもは未来もりおかこどもクリニック	上田字松屋敷 11-14
前	多	治	雄	前多小児科クリニック	盛岡駅前通 9-10 丸善ビル 5 F
蒔	苗		剛	川久保病院 小児科	津志田 26-30-1
•			•		

松 嶋 大 なないろのとびら診療所 仙北二丁目 1-20 三浦 義孝 中野一丁目 16-10 みうら小児科 三 浦 貴 朗 県立中央病院 小児科 上田一丁目 4-1 三上 仁 県立中央病院 小児科 上田一丁目 4-1 水沼吉 美 水沼内科循環器クリニック 中央通二丁目 11-12 明治生命館 1F 三 舩 俊 英 三船内科 天昌寺町 9-10 宮 本 康 弘 みやもと内科クリニック 上厨川字杉原 101-4 虫 紫波郡矢巾町医大通二丁目 1-1 壁 奈津希 岩手医大 糖尿病・代謝・内分泌内科 武者毅彦 たけ循環器内科クリニック 北飯岡一丁目 2-70 武藤秀和 紫波中央小児科 紫波郡紫波町紫波中央駅前 2-3-94 村 \mathbf{H} 淳 村田小児科医院 紺屋町 3-4 ゆうあいの街クリニック 村 \mathbf{H} 望 北飯岡 1-2-25 森 上田一丁目 4-1 ひろみ 県立中央病院 小児科 守 義明 盛岡市立病院 呼吸器内科 本宮五丁目 15-1 田友明 緑が丘四丁目 1-50 アスティ緑が丘1階 森 森田小児科医院 森 田 森田小児科医院 緑が丘四丁目 1-50 アスティ緑が丘1階 順 森 谷 耕太郎 森谷医院 高松三丁目 11-29 八 木 耕 平 県立中央病院 小児科 上田一丁目 4-1 八木千栄 もりおか往診ホームケアクリニック 北飯岡三丁目 20-3 山口淑子 山口クリニック **滝沢市穴口 377-1** Ш 里 將 修 岩手医大 消化器内科 紫波郡矢巾町医大通二丁目 1-1 山田宏之 やまだ胃腸内科クリニック 津志田中央二丁目 18-31 田研一 吉田小児科 梨木町 2-13 吉 吉 \mathbf{H} 俊 E 吉田消化器科内科 東見前 8-20-16 吉 田信一 よしだクリニック 西仙北一丁目 30-50 わたなべ内科・脳神経内科クリニック 高松三丁目 9-8 渡 邊 活 見 渡 邉 健 盛岡友愛病院 永井 12-10

② 役 員 名 簿

(令和3年12月31日現在)

開設者	盛岡市長		谷	藤	裕	明
管理者	盛岡市医師会	会会長	吉	田	耕力	大郎
運営協議会						
	委 員	盛岡市医師会副会長	本	間		博
	"	盛岡市医師会副会長	金	子	博	純
	"	盛岡市医師会理事	金	濱	誠	己
	"	"	久任	米田	公	宜
	"	"	小	林	有	_
	"	盛岡市医師会小児科医会会長	三	浦	義	孝
	"	盛岡市医師会小児科医会	吉	田	研	_
	"	盛岡薬剤師会副会長	畑	澤	昌	美
	"	盛岡薬剤師会副会長	佐	木	宣	好
	"	岩手県看護協会会長	及	Ш	吏智	冒子
	"	盛岡市保健福祉部長	村	上		淳
	"	盛岡市保健所所長	矢	野	亮	佑
	事務局	盛岡市医師会事務局長	及	Ш	敬-	一郎
		盛岡市医師会事務局次長	水	本	達	彦
		盛岡市医師会事務局係長	谷	藤	慎	治
		盛岡市保健所企画総務課長	相	馬	英	洋
		盛岡市保健所企画総務課長補佐	木	村	寛	之
		盛岡市保健所企画総務課企画総務係長	小	綿	孝	志
		盛岡市保健所企画総務課企画総務係主事	野	呂	洸	碩

5. 運営協議会

令和2年度 第1回盛岡市夜間急患診療所運営協議会

日 時:令和3年2月8日(月) 午後1時

場 所:盛岡市医師会館会議室



最初に、夜間急患診療所 吉田耕太郎管 理者から挨拶があった。次いで、議題に移っ た。

1. 会長及び副会長の選出について

事務局案として、協議会会長に金子博純委員、副会長に本間 博委員を推薦する案が出たが、反対意見があったため、会長、副会長の選出は保留とし、後日改めて協議の場を設けることとなった。会議の議長は金子委員が務めることとなった。

2. 報告事項

- 1)令和2年度夜間急患診療所利用状況及び 収入状況(令和2年4月~令和3年1月 までの集計)について
 - (1)診療科別・年齢別の状況については、 4月から1月までの患者数が新型コロ ナの流行による受診控えに起因して、 前年比40%程度に減少した。特に前年

- の12月、1月はインフルエンザの流行があり患者数が増加していたが、今年は前年比で17.2%、14.7%と大きく減少した。
- (2)曜日・時間帯別の状況については、時間帯別では7時台の患者数が6%減少した。
- (3)緊急度別の状況について、小児科では 「緊急度あり」の患者数が減少、内科 では「緊急度あり」と「緊急度少しあ り」の割合が増加していた。
- (4)地域別の状況については、盛岡市からの患者が増加、県外からの患者が減少し、県を跨いだ移動が減少した結果と考えられた。
- (5)各種検査、処置の状況については、現在感染対策の一環として検査・処置を実施していないこと、患者数自体が減少しているということから全項目が昨年を下回った。

- (6)紹介状の作成状況については、昨年より少なく、小児科より内科が多かった。
- (7)年間最多・最小患者数については、最 多が17人、最少が0人であった。
- (8)救急患者の転送状況については、医大 への転送が大きく減少した。転送先の 7割を岩手県立中央病院が占めた。
- (9)転送患者の症状等については、呼吸器系が減少し、消化器系が増加した。
- (10)収入状況については、4月から12月までの合計を比較すると、昨年の40%の収入額であり、3,300万円マイナスとなっていた。
- 2)新型コロナウイルス感染症対策の対応状況について
 - (1)診療所内の対応について

管理者、委員、事務局をメンバーと を対した、診療体制や看護師からの意見などを随時を 討した。診療マニュアル、フローチを 策定した。11月から主任看護師 人、1階受付案内事務員を採用し、 熱等のリスクのある患者を特診室 禁のリスクのある患者を特診室 禁のりる体制をとっている。敷地内駐車 場に仮設患者待機所を設置した。その 他感染対策として、1階受付、2階受付、2階正面入り口に飛沫防止用パー



(ZOOM ミーティングからの参加)

テーションを設置し、診察時に着用する医師用スクラブを常備した。看護師 及び医療事務員に対し従事者慰労金を 給付した。

(2)診療所外への対応

当診療所の診療体制について、近隣 市町村、二次救急医療機関へ周知文書 を発出した。広報もりおか、盛岡市ホー ムページで診療体制や注意事項などを 掲載した。

(3)今後について

7月、8月に検討した時点では、中・高リスク患者については1階特設診察スペースで診察する計画だったが、現時点では看護師の必要人数を確保できていないため、2階特診室での診察を継続している状況である。今後、看護師が確保できたなら1階での診察を開始したいと考えている。

3. 協議事項

新規要望薬品、廃止薬品の選定について協議した。新規にブコラム口腔用液が採用となった。複方ヨードグリセリン、アストフィリン配合錠、ロタウイルス検査キットは廃止、ホスミシンSがッグ2g点滴静注用は、ホスミシンS静注用0.5gで代用することとなった。

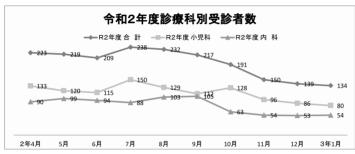
4. その他

複数の出動医師から診療時間を1時間 短縮してほしいと要望があった。条例の 改正、救急医療体制への影響、市民の意 見聴取など検討が必要。

(小林有一)

診療科別・年齢別の状況

1275K147771	一一周1775	107-1/1/																(人)
年/月			R 2 年度		参	考:R 1	年度		令 和 2 年 度 年 齢 別 受 診						者 数	ţ		
平/月	前年比	合 計	小児科	内 科	合 計	小児科	内 科	0歳	1~5歳	6~12歳	13~15歳	16~24歳	25~34歲	35~44歳	45~54歳	55~64歳	65~74歳	75歳~
2 年4月	44. 9%	223	133	90	497	312	185	14	72	41	11	15	22	24	7	5	9	3
5月	38.6%	219	120	99	568	327	241	16	63	30	12	14	24	15	18	6	8	13
6月	46.0%	209	115	94	454	312	142	10	57	37	12	17	29	19	11	6	5	6
7月	45.1%	238	150	88	528	355	173	20	85	35	10	28	12	16	8	7	9	8
8月	35. 9%	232	129	103	647	432	215	8	62	48	15	13	23	22	16	5	11	9
9月	42. 7%	217	112	105	508	354	154	16	42	47	8	17	25	20	17	11	7	7
10月	34. 7%	191	128	63	551	377	174	9	66	47	7	12	14	12	6	3	3	12
11月	28. 4%	150	96	54	528	333	195	10	52	29	6	11	10	9	11	4	5	3
12月	17. 2%	139	86	53	807	516	291	12	52	17	5	7	14	11	7	5	5	4
3年1月	14.7%	134	80	54	913	454	459	15	40	21	6	11	8	13	3	8	3	6
4~1月までの計	32.5%	1, 952	1, 149	803	6, 001	3, 772	2, 229	130	591	352	92	145	181	161	104	60	65	71
2月	0.0%	0			642	414	228											
3月	0.0%	0			344	214	130											
合 計		1, 952	1, 149	803	6, 987	4, 400	2, 587	130	591	352	92	145	181	161	104	60	65	71
構成比(%)		100.0	58. 9	41.1	100.0	62.4	37. 6	6.7	30.3	18.0	4.7	7. 4	9.3	8. 2	5. 3	3, 1	3, 3	3. 6





曜日別・時間帯別の状況

参考: R1年度 曜日別 時間帯別 その他 患者総数 年/月 患者数 増 減 月火 水 木 金 土 日 7時~ 8時~ 9時~ 10時~ 11時~ 指導 照会 搬入 △ 274 2年4月 5月 △ 349 6月 △ 245 7月 △ 290 8月 △ 415 9月 △ 291 △ 360 10月 11月 △ 378 12月 △ 668 △ 779 3年1月 4~1月までの計 6, 001 △ 4049 2, 746 2月 ∧ 642 3月 △ 344 合 計 6, 987 32 2, 746 1, 952 構成比(%) 13. 1 <u>13. 1</u> 14. 3 12. 7 11. 3 27.<u>8</u> 19. 2 12. 6 18. 4 17. 1 40. 3





地域別の状況

(人	.)

年/月	合 計		盛 岡 広 域 医 療 圏 そ										
平/ 万		盛岡	八幡平	滝沢	雫石	葛巻	岩手	紫波	矢巾	県内	県外		
2 年4月	223	180	1	18	0	0	2	5	13	3	1		
5月	219	173	1	19	6	0	1	5	11	2	1		
6月	209	149	2	30	1	0	3	7	10	2	5		
7月	238	184	7	22	4	0	1	6	9	2	3		
8月	232	176	3	23	1	0	1	12	4	5	7		
9月	217	169	4	22	2	0	2	7	8	3	0		
10月	191	152	2	12	4	0	3	5	9	2	2		
11月	150	122	0	15	1	0	0	3	4	2	3		
12月	139	113	1	12	1	0	0	4	5	0	3		
3年1月	134	104	0	17	1	0	0	2	6	4	0		
2月	0												
3月	0												
合 計	1, 952	1, 522	21	190	21	0	13	56	79	25	25		
構成比(%)	100.0	77. 97	1. 08	9. 73	1. 08	0. 00	0. 67	2. 87	4. 05	1. 28	1. 28		
R 1 年度患者数	6, 987	5, 238	72	568	98	13	140	237	279	129	213		
構成比(%)	100. 0	74. 97	1. 03	8. 13	1. 40	0. 19	2. 00	3. 39	3. 99	1. 85	3. 05		
30年度患者数	6, 589	4, 859	81	645	105	3	37	269	313	95	182		
構成比(%)	100.0	73. 74	1. 23	9. 79	1. 59	0. 05	0. 56	4. 08	4. 75	1. 44	2. 76		
29年度患者数	6, 737	5, 041	84	583	92	1	39	272	365	97	163		
構成比(%)	100. 0	74. 83	1. 25	8. 65	1. 37	0. 01	0. 58	4. 04	5. 42	1. 44	2. 42		

	出	席者一覧	
役職	氏名	団体及	び職名
管理者	吉 田 耕太郎	盛岡市医師会	会長
	金 子 博 純	盛岡市医師会	副会長
	本 間 博		副会長
	金濱誠己		理事
	久保田 公 宜		理事
	小 林 有 一		理事
委 員	三 浦 義 孝		小児科医会会長
女貝	吉 田 研 一		小児科医会
	佐々木 俊	盛岡薬剤師会	副会長
	佐々木 宣 好		副会長
	及 川 吏智子	岩手県看護協会	会長
	村 上 淳	盛岡市	保健福祉部長
	矢 野 亮 佑		保健所長
	及川敬一郎	盛岡市医師会事務局	事務局長
	水 本 達 彦		次長
	谷 藤 慎 治		係長
事務局	工藤弘幸	盛岡市保健所	次長兼企画総務課長
子/カ/N	相 馬 英 洋		企画総務課長補佐
	鈴 木 佳 子		企画総務係長
	滝 村 歩 美		主任
	野 呂 洸 碩		主事

Ⅱ 岩手県高度救命救急センター報告

(令和3年1月~12月)

診療状況

- 1. 疾病別患者数
- 2. 来院時間帯別入院患者数
- 3. 地域別入院患者数
- 4. 搬入先・搬入方法別入院患者数
- 5. 主な手術件数

診療 状況

1. 疾病別患者数

1) 令和3年1月~12月

全身疾患	患者数		患者数
感染症	55 (43)	栄養疾患	0 (0)
寄生虫病	1 (0)	代謝疾患	64 (13)
新生物	169 (7)	免疫異常	0 (0)
内分泌疾患	0 (0)		
小 計			280 (63)

系統疾患	患者数		患者数
血液・造血器疾患	15 (3)	泌尿器生殖器疾患	137 (27)
精神障害	169 (10)	周産期	0 (0)
神経・感覚器疾患(てんかんを含む)	330 (41)	皮膚皮下組織	27 (6)
心不全・不整脈など	388 (23)	筋骨格・結合組織	74 (26)
虚血性心疾患など	341 (12)	先天異常	1 (0)
(心筋梗塞・狭心症・動脈瘤)		妊娠	2 (0)
脳血管障害	307 (34)	症状・徴候	125 (19)
呼吸器疾患	187 (61)	診断不明確	0 (0)
消化器疾患	507 (182)	その他	27 (3)
小 計			2637 (447)

損傷・中毒 患者数

	交通	事故	その他	10)	事故	事故の)後	遺症	故意	的加]害	小		計
骨折	94	(80)	318	(246)	0	(0)	13	(8)	425	(334)
関節脱臼	0	(0)	5	(1)	0	(0)	0	(0)	5	(1)
捻挫	12	(1)	5	(2)	0	(0)	1	(0)	18	(3)
頭蓋内損傷	24	(22)	93	(79)	0	(0)	1	(0)	118	(101)
内臓損傷	12	(9)	14	(11)	0	(0)	1	(1)	27	(21)
開放創	9	(4)	88	(16)	0	(0)	14	(1)	111	(21)
血管損傷	0	(0)	3	(0)	0	(0)	0	(0)	3	(0)
表在損傷	7	(1)	7	(1)	0	(0)	3	(0)	17	(2)
挫創	3	(0)	11	(2)	0	(0)	0	(0)	14	(2)
圧挫損傷	35	(9)	83	(13)	0	(0)	2	(0)	120	(22)
異物	0	(0)	12	(2)	0	(0)	0	(0)	12	(2)
熱傷	0	(0)	27	(16)	0	(0)	5	(4)	32	(20)
神経損傷	5	(2)	30	(24)	0	(0)	0	(0)	35	(26)
中毒・薬物中毒	0	(0)	8	(1)	0	(0)	105	(22)	113	(23)
毒作用	0	(0)	11	(7)	0	(0)	0	(0)	11	(7)
後遺症	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
その他・外因作用	1	(0)	26	(11)	0	(0)	11	(3)	38	(14)
外科・内科合併症	0	(0)	1	(1)	0	(0)	0	(0)	1	(1)
小 計	202	(128)	742	(433)	0	(0)	156	(39)	1100	(600)
合 計												4026	(1110)

総患者数 4,026 人 () はセンター入院患者数 1110 人

2. 来院時間帯別入院患者数

1) 令和3年1月~12月

	時間・ 性別	AM O B	寺~ AM6時	AM 6 🖪	寺∼ AM9時	AM9 B	寺~ PM5時	PM 5 時	;∼ PM8時	PM 8 民 P	テ~ M12 時	小	計	
月		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	合 計
1	月	2	5	7	3	35	22	7	5	5	3	56	38	94
2	月	8	3	5	2	26	16	5	4	5	3	49	28	77
3	月	7	4	0	2	33	20	6	7	7	5	53	38	91
4	月	1	5	3	0	21	24	10	1	8	5	43	35	78
5	月	4	3	5	1	35	25	7	7	4	5	55	41	96
6	月	4	3	3	4	34	24	13	6	11	5	65	42	107
7	月	1	2	5	0	40	23	13	8	4	11	63	44	107
8	月	4	2	0	2	37	14	8	8	7	7	56	33	89
9	月	5	3	2	2	34	25	11	2	6	5	58	37	95
10	月	2	1	2	4	32	26	7	12	8	4	51	47	98
11	月	2	4	7	2	24	19	11	12	6	4	50	41	91
12	月	2	5	3	1	25	19	9	8	6	9	45	42	87
合	計	42	40	42	23	376	257	107	80	77	66	644	466	1110

3. 地域別入院患者数

1) 令和3年1月~12月

地域別		月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	月平均	比率
盛	岡	市	39	27	38	22	33	41	46	24	34	35	31	23	393	32.8	35.4%
滝	沢	市	5	5	3	4	7	7	9	3	4	5	5	5	62	5.2	5.6%
八幡引	で市・岩	計手郡	13	8	7	14	8	10	7	9	17	6	7	10	116	9.7	10.5%
紫	波	郡	12	18	17	15	11	16	24	20	19	25	20	23	220	18.3	19.8%
花	卷	市	10	6	6	13	14	6	7	15	8	10	8	9	112	9.3	10.1%
北上市	う・西利	口賀町	3	0	4	2	5	3	2	3	4	1	5	2	34	2.8	3.1%
奥州	市・胆	沢郡	0	1	1	0	3	4	0	2	1	1	2	0	15	1.3	1.4%
一関市	う・西梨	8井郡	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	2	2	15	1.3	1.4%
大船源	度市・気	〔仙郡	0	0	1	0	1	1	0	0	0	2	1	1	7	0.6	0.6%
釜石	市・遠	野市	2	3	2	1	2	5	3	3	3	2	1	4	31	2.6	2.8%
宮古市	j・下陽	月伊郡	2	2	3	2	6	7	1	0	2	2	4	1	32	2.7	2.9%
久慈	市・九	戸郡	1	0	2	0	0	1	2	1	0	0	0	3	10	0.8	0.9%
二戸	市・二	戸郡	0	3	3	1	1	1	1	2	1	1	2	0	16	1.3	1.4%
青	森	県	1	0	1	0	1	1	2	1	0	0	0	0	7	0.6	0.6%
秋	田	県	1	2	0	0	1	2	0	2	0	2	1	2	13	1.1	1.2%
宮	城	県	0	0	1	2	0	1	1	0	0	1	0	0	6	0.5	0.5%
そ	0)	他	4	1	1	1	2	0	1	2	1	4	2	2	21	1.8	1.9%
合		計	94	77	91	78	96	107	107	89	95	98	91	87	1110	92.7	100.0%

4. 搬入先・搬入方法別入院患者数

1) 令和3年1月~12月

搬入先 区 分	初期非	汝急医療	療施設	2 次非		聚施設	3 次非		聚施設	そ	0	他	小	計	計
搬入先区 分	救急車	その他	計	救急車	その他	計	救急車	その他	計	救急車	その他	計	救急車	その他	Бļ
1月	19	4	23	14	2	16	0	0	0	46	9	55	79	15	94
2月	12	2	14	14	2	16	0	0	0	45	2	47	71	6	77
3月	13	2	15	12	3	15	2	0	2	49	10	59	76	15	91
4月	13	1	14	12	7	19	0	0	0	39	6	45	64	14	78
5月	20	1	21	13	3	16	1	0	1	48	10	58	82	14	96
6月	12	3	15	15	10	25	0	0	0	58	9	67	85	22	107
7月	22	4	26	10	13	23	0	0	0	53	5	58	85	22	107
8月	20	3	23	11	2	13	0	0	0	48	5	53	79	10	89
9月	13	7	20	9	9	18	0	0	0	48	9	57	70	25	95
10 月	14	3	17	13	6	19	0	0	0	60	2	62	87	11	98
11月	13	5	18	12	9	21	0	0	0	48	4	52	73	18	91
12 月	12	1	13	8	7	15	0	0	0	54	5	59	74	13	87
合計	183	36	219	143	73	216	3	0	3	596	76	672	925	185	1,110

5. 主な手術件数および内視鏡的治療件数

1) 令和3年1月~12月

	月	頭部疾患	胸部疾患	腹部疾患	四肢・骨盤疾患	脊椎・脊髄損傷	内視鏡的治療 対象疾患	計
1	月	8	0	1	25	3	8	45
2	月	2	0	2	20	4	10	38
3	月	3	1	3	27	8	11	53
4	月	3	0	0	20	1	11	35
5	月	5	1	1	21	6	11	45
6	月	4	0	2	38	4	10	58
7	月	1	1	4	29	8	10	53
8	月	5	1	2	16	8	6	38
9	月	3	1	1	43	8	6	62
10	月	3	2	2	27	7	12	53
11	月	0	0	2	20	6	8	36
12	月	3	0	2	26	9	10	50
合	計	40	7	22	312	72	113	566

Ⅲ お盆及び年末年始の救急医療

1. 令和3年度お盆休み期間中の外来患者数 実態調査報告

令和3年8月13日金~16日(月)の期間に盛 岡市内の医療機関を受診した外来患者数の調 査結果を報告します。

対象医療機関は28病院、215診療所、計243 医療機関で、アンケートの回収率は100%で した(表1)。

医療機関の診療科別診療所および病院数を 表2に、上記期間の休診状況を表3に示します。

表1. アンケート回収率(盛岡市)

	医療機関数	回収数	回収率
病院	28	28	100%
診療所	215	215	100%
合 計	243	243	100%

※予防医学協会・対がん協会・健康管理センターは除く

表 2. 診療科別診療所及び病院数

	診療科	医療機関数	計
	内 科	98	
	外 科	42	
診	産 婦 人 科	12	
療	小 児 科	13	215
	眼 科	19	213
所	皮膚・泌尿器科	18	
	耳鼻咽喉科	12	
	夜間急患診療所	1	
病院	二次救急病院	12	28
院	その他の病院	16	48

表3. お盆中休診状況(242医療機関)

70. 10 m								
	8月13日 金	8月14日 (土)	8月15日 (日)	8月16日 (月)				
全日休診	208	231	234	197				
半日休診	12	6	0	6				
診 療	22	5	3	39				
当番医	0	0	5	0				

※盛岡市夜間急患診療所はのぞく

表 4. 病院及び診療所(令和 3 年 8 月13日~8 月16日)の来院患者数(時間帯別)

月日	曜日	時間 期間	AM0時 ~ AM6時	AM6時 ~ AM9時	AM9時 ~ PM5時	PM5時 ~ PM8時	PM8時 ~ PM12時	合計
		病院	15	204	2,902	26	29	3,176
8月13日	金	診療所	0	53	637	21	6	717
		合 計	15	257	3,539	47	35	3,893
		病院	13	17	420	32	29	511
8月14日	土	診療所	2	14	203	16	5	240
		合 計	15	31	623	48	34	751
	日	病院	18	17	118	25	18	196
8月15日		診療所	1	1	292	11	6	311
		合 計	19	18	410	36	24	507
		病院	11	346	3,899	27	27	4,310
8月16日	月	診療所	1	35	1,497	47	1	1,581
		合 計	12	381	5,396	74	28	5,891
		病院	57	584	7,339	110	103	8,193
総	計	診療所	4	103	2,629	95	18	2,849
		総 計	61	687	9,968	205	121	11,042

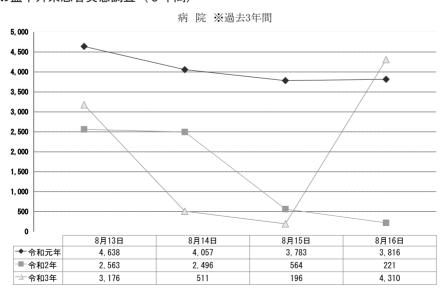
8月13日金は昨年より1,330人の増加(R2:2,563人)がみられた。令和元年は4,638名であるため、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症に伴う受診抑制があったのではないかと推測される。

8月14日(土)~15日(日)は土・日であったた

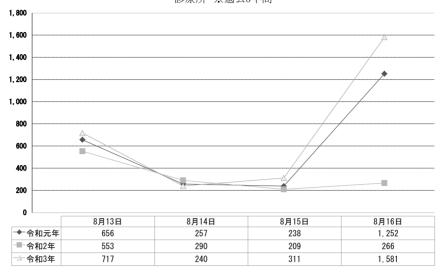
め、令和元年・2年と比較すると大幅な減少であった。

8月16日(田)は診療を行っている医療機関が 45施設であったこともあり(昨年は2施設)、 4,310人で昨年の221人と比べ大幅な増加で あった。

図1. お盆中外来患者実態調査(3年間)



診療所 ※過去3年間

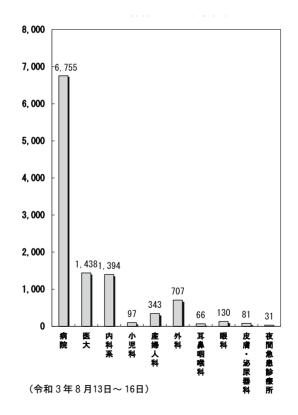


各科の外来患者の受診状況を図2に示した。

病院受診者は6,755人(昨年4,655人)で2,100 人増加、岩手医大(矢巾)は1,438人(昨年1,189 人)で249人の増加がみられた。 診療所受診者の内訳は、内科系1,394人、 外科系707人、産婦人科343人、眼科130人で あった。

期間中の夜間急患診療所は31人(昨年37人) で、昨年とほぼ同様であった。

図2. 各科別の外来患者状況



8月13日金~16日用の時間帯別の病院および診療所来院患者比率を図3から図8に円グラフに示した。

今年度も多くの来院患者は県立中央病院 (1,584人)・岩手医大(1,438人)・盛岡赤十字 病院(826人)、その他の二次救急病院で診療 を受けていた。

図3. 病院および診療所来院患者比率

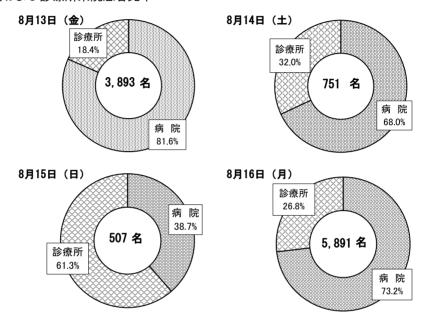


図 4. 深夜 (AM0:00~6:00) の来院患者比率

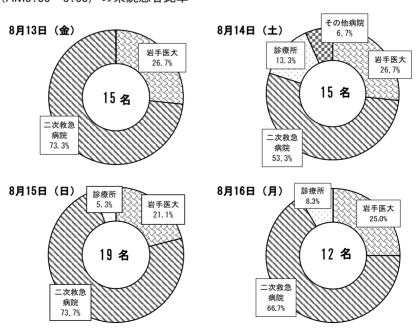


図 5. 時間外 A (AM6:00~AM9:00)の来院患者比率

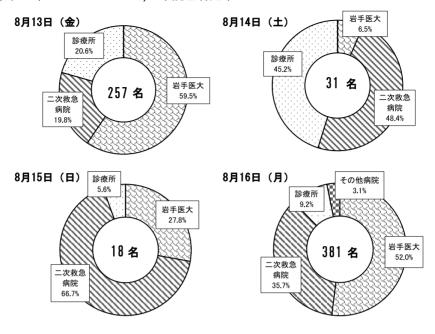


図 6. 日中 (AM9:00~PM5:00) の来院患者比率

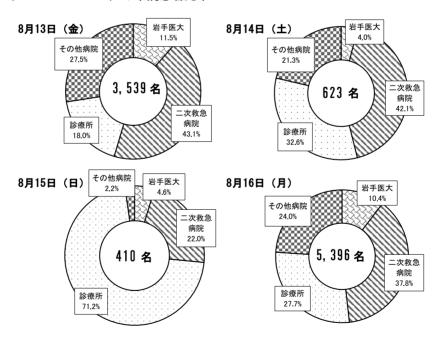


図7. 時間外B (PM5:00~PM8:00) の来院患者比率

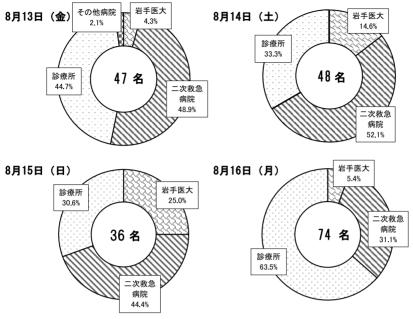
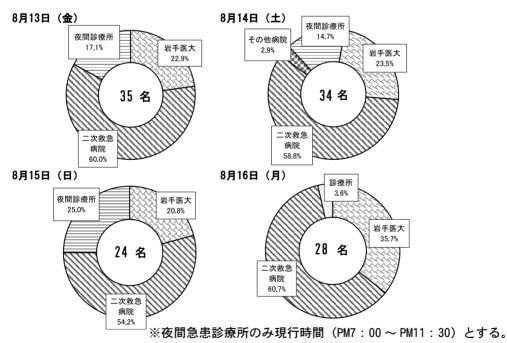


図8. 夜間診療時間 (PM8:00~PM12:00) の来院患者比率



最後に新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、各医療機関におかれましては、昨年同様、受入体制に苦慮しながらのお盆期間になられたことと思います。来年こそは普通のお盆休みになることを切に願います。

本アンケート調査に当たりましては、お忙 しい中、各医療機関の皆様にご協力いただき ました。誌上をもちまして感謝申し上げます。

(鈴木知己)

2. 令和3年~4年 年末年始外来患者実態調查報告

― 241 医療機関アンケート集計結果 ―

令和3年12月29日(水)~令和4年1月3日(月)の 期間に盛岡市内の医療機関を受診した外来患 者数の調査結果を報告します。

対象医療機関は28病院、214診療所、計242 の医療機関で、アンケートの回収率は100% でした(表1)。

医療機関の診療科別診療所および病院数を 表2に、上記期間の休診状況を表3に示します。

表1. アンケート回収率(盛岡市)

	医療機関数	回 収 数	回収率
病 院	28	28	100%
診療 所	214	214	100%
合 計	242	242	100%

表 2. 診療科別診療所及び病院数

	診 療 科	医療機関数	計
	内 科	98	
	外 科	42	
診	産 婦 人 科	12	
	小 児 科	13	
療	眼科	19	214
	皮膚 / 泌尿器科	18	
所	耳鼻咽喉科	11	
	その他	1	
	夜間急患診療所	1	
病	二次救急病院	11	20
院	その他の病院	17	28

表 3. 年末年始休診状況(241医療機関)

				12月29日 (水)	12月30日 (木)	12月31日 金	1月1日 (土)	1月2日(日)	1月3日 (月)
全	日	診	療	36	2	1	1	1	2
午	前	診	療	38	5	1	0	0	0
休			診	162	229	235	235	236	234
当	1	F	医	5	5	4	5	4	5

※盛岡市夜間急患診療所は除く

6日間の来院患者数は病院3,833人、診療所3,969人の合計7,802人となりました(表 4)。 過去5年間における年末年始の来院患者数は表5をご覧ください。

表 4. 病院及び診療所(令和 3年12月29日~令和 4年1月3日)の来院患者数(時間帯別)

1133 123	時刻	0 AM	6 AM	9 AM	5 PM	8 PM	۱ - ۸
曜日	1616 1111	(1) ((, (()	(10 D) (合 計
	<u> </u>						
							2,543
水	診療所	3	236	2,047	57	8	2,351
	合 計	19	474	4,269	98	34	4,894
	病院	11	29	176	46	30	292
木	診療所	1	2	553	8	2	566
	合 計	12	31	729	54	32	858
	病院	12	17	216	39	19	303
12月31日 金	診療所	0	4	230	10	5	249
	合 計	12	21	446	49	24	552
	病院	13	19	174	35	29	270
土	診療所	1	0	210	8	3	222
	合 計	14	19	384	43	32	492
	病院	18	15	113	30	18	194
日	診療所	1	0	216	3	8	228
	合 計	19	15	329	33	26	422
	病院	9	25	150	32	15	231
月	診療所	0	5	325	17	6	353
	合 計	9	30	475	49	21	584
	病院	79	343	3,051	223	137	3,833
計	診療所	6	247	3,581	103	32	3,969
	総 計	85	590	6,632	326	169	7,802
	曜日 水 木 金 土 日	曜日 機病 機病 院所 合病 療療 計 合病	曜日 時刻 0 AM 機関 6 AM 水 病療所 16 診療所 1 本 診療所 1 本 方 計 本 方 お 方 お 方 お 方 お 方 お 方 お 方 お 方 お 方 お 方 お 方 お カース お 方 お 方 お 方 お 方 お 方 お カース お カース <t< td=""><td>曜日 時刻 0 AM 6 AM 9 AM 水 病院 16 238 診療所 3 236 合計 19 474 病院 11 29 診療所 1 2 合計 12 31 病院 12 17 診療所 0 4 合計 12 21 病院 13 19 診療所 1 0 合計 14 19 病院 18 15 診療所 1 0 合計 19 15 病院 9 25 診療所 0 5 合計 9 30 病院 79 343 診療所 6 247</td><td> では では では では では では では では</td><td> 曜日</td><td> 機関</td></t<>	曜日 時刻 0 AM 6 AM 9 AM 水 病院 16 238 診療所 3 236 合計 19 474 病院 11 29 診療所 1 2 合計 12 31 病院 12 17 診療所 0 4 合計 12 21 病院 13 19 診療所 1 0 合計 14 19 病院 18 15 診療所 1 0 合計 19 15 病院 9 25 診療所 0 5 合計 9 30 病院 79 343 診療所 6 247	では では では では では では では では	曜日	機関

表5. 過去5年間における年末年始来院患者総数の比較

年度 月日	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
12月28日	未調査	未調査	8,744 (土)	未調査	未調査
12月29日	5,119 (金)	2,178 (土)	1,159 (日)	4,461 (火)	4,894 (水)
12月30日	1,260 (土)	825 (日)	1,752 (月)	672 (水)	858 (木)
12月31日	821 (日)	980 (月)	1,085 (火)	588 (木)	552 (金)
1月1日	822 (月)	662 (火)	932 (水)	525 (金)	492 (土)
1月2日	1,059 (火)	842 (水)	893 (木)	450 (土)	422 (日)
1月3日	966 (水)	867 (木)	1,093 (金)	338 (日)	584 (月)
1月4日	未調査	未調査	6,879 (土)	未調査	未調査
計	10,047	6,354	22,537	7,034	7,802
	,	,	,	,	(,

表 6. 夜間急患診療所来院患者数

双 0. 区间心							
月日時間帯	12月29日(水)	12月30日(木)	12月31日金	1月1日(土)	1月2日(日)	1月3日(月)	計
午後7時 { 午後8時	5	0	4	4	0	4	17
午後8時 と 午後11時30分	6	1	5	3	8	5	28
計	11	1	9	7	8	9	45
							(1)

(人)

表 7. 夜間診療時間 (8:00P.M.~12:00P.M.) の来院患者数

() 内%

	12月29日(水)	12月30日(木)	12月31日金	1月1日(土)	1月2日(日)	1月3日(月)	計
二次救急病院 (医大を除く)	19 (55.9)	22 (68.8)	16 (66.7)	23 (71.9)	11 (42.3)	9 (42.9)	100 (59.2)
岩手医大附属病院 (矢 巾)	7 (20.6)	8 (25.0)	3 (12.5)	5 (15.6)	7 (26.9)	6 (28.6)	36 (21.3)
その他の病院	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (3.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.6)
診 療 所	2 (5.9)	1 (3.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (4.8)	4 (2.4)
夜間急患診療所 (8:00~11:30)	6 (17.6)	1 (3.1)	5 (20.8)	3 (9.4)	8 (30.8)	5 (23.8)	28 (16.6)
計	34 (100)	32 (100)	24 (100)	32 (100)	26 (100)	21 (100)	169 (100)

(人)

表 8. 二次救急病院各病院別来院患者数

() 内%

1 190 11 11 1907 1	I I I I I I					. ,
12月29日(水)	12月30日(木)	12月31日金	1月1日(土)	1月2日(日)	1月3日(月)	合計
693 (45.1)	63 (24.9)	86 (33.0)	32 (13.7)	49 (26.5)	52 (28.3)	975 (36.7)
75.0 (4.9)	82 (32.4)	69 (26.4)	89 (38.0)	62 (33.5)	75 (40.8)	452 (17.0)
25.0 (1.6)	26 (10.3)	37 (14.2)	18 (7.7)	14 (7.6)	17 (9.2)	137 (5.2)
10.0 (0.7)	12 (4.7)	14 (5.4)	10 (4.3)	11 (5.9)	10 (5.4)	67 (2.5)
0.0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.4)	0 (0.0)	2 (1.1)	0 (0.0)	3 (0.1)
168 (10.9)	14 (5.5)	17 (6.5)	65 (27.8)	6 (3.2)	10 (5.4)	280 (10.6)
41 (2.7)	6 (2.4)	7 (2.7)	1 (0.4)	2 (1.1)	2 (1.1)	59 (2.2)
251 (1.0)	6 (2.0)	5 (1.0)	2 (4.0)	6 (2.0)	1 (1.0)	271 (10.2)
228 (14.8)	3 (1.2)	5 (0.0)	1 (3.0)	2 (0.0)	1 (0.0)	240 (9.0)
15 (0.0)	21 (1.0)	13 (1.0)	2 (0.0)	24 (1.0)	4 (1.0)	79 (3.0)
31 (2.0)	20 (7.9)	7 (2.7)	14 (6.0)	7 (3.8)	12 (6.5)	91 (3.4)
1,537	253	261	234	185	184	2,654
	12月29日休 693 (45.1) 75.0 (4.9) 25.0 (1.6) 10.0 (0.7) 0.0 (0.0) 168 (10.9) 41 (2.7) 251 (1.0) 228 (14.8) 15 (0.0) 31 (2.0)	693 (45.1) 63 (24.9) 75.0 (4.9) 82 (32.4) 25.0 (1.6) 26 (10.3) 10.0 (0.7) 12 (4.7) 0.0 (0.0) 0 (0.0) 168 (10.9) 14 (5.5) 41 (2.7) 6 (2.4) 251 (1.0) 6 (2.0) 228 (14.8) 3 (1.2) 15 (0.0) 21 (1.0) 31 (2.0) 20 (7.9)	12月29日休 12月30日休 12月31日金 693 (45.1) 63 (24.9) 86 (33.0) 75.0 (4.9) 82 (32.4) 69 (26.4) 25.0 (1.6) 26 (10.3) 37 (14.2) 10.0 (0.7) 12 (4.7) 14 (5.4) 0.0 (0.0) 0 (0.0) 1 (0.4) 168 (10.9) 14 (5.5) 17 (6.5) 41 (2.7) 6 (2.4) 7 (2.7) 251 (1.0) 6 (2.0) 5 (1.0) 228 (14.8) 3 (1.2) 5 (0.0) 15 (0.0) 21 (1.0) 13 (1.0) 31 (2.0) 20 (7.9) 7 (2.7)	12月29日休 12月30日休 12月31日金 1月1日仕 693 (45.1) 63 (24.9) 86 (33.0) 32 (13.7) 75.0 (4.9) 82 (32.4) 69 (26.4) 89 (38.0) 25.0 (1.6) 26 (10.3) 37 (14.2) 18 (7.7) 10.0 (0.7) 12 (4.7) 14 (5.4) 10 (4.3) 0.0 (0.0) 0 (0.0) 1 (0.4) 0 (0.0) 168 (10.9) 14 (5.5) 17 (6.5) 65 (27.8) 41 (2.7) 6 (2.4) 7 (2.7) 1 (0.4) 251 (1.0) 6 (2.0) 5 (1.0) 2 (4.0) 228 (14.8) 3 (1.2) 5 (0.0) 1 (3.0) 15 (0.0) 21 (1.0) 13 (1.0) 2 (0.0) 31 (2.0) 20 (7.9) 7 (2.7) 14 (6.0)	12月29日休 12月30日休 12月31日金 1月1日出 1月2日田 693 (45.1) 63 (24.9) 86 (33.0) 32 (13.7) 49 (26.5) 75.0 (4.9) 82 (32.4) 69 (26.4) 89 (38.0) 62 (33.5) 25.0 (1.6) 26 (10.3) 37 (14.2) 18 (7.7) 14 (7.6) 10.0 (0.7) 12 (4.7) 14 (5.4) 10 (4.3) 11 (5.9) 0.0 (0.0) 0 (0.0) 1 (0.4) 0 (0.0) 2 (1.1) 168 (10.9) 14 (5.5) 17 (6.5) 65 (27.8) 6 (3.2) 41 (2.7) 6 (2.4) 7 (2.7) 1 (0.4) 2 (1.1) 251 (1.0) 6 (2.0) 5 (1.0) 2 (4.0) 6 (2.0) 228 (14.8) 3 (1.2) 5 (0.0) 1 (3.0) 2 (0.0) 15 (0.0) 21 (1.0) 13 (1.0) 2 (0.0) 24 (1.0) 31 (2.0) 20 (7.9) 7 (2.7) 14 (6.0) 7 (3.8)	12月29日休 12月30日休 12月31日金 1月1日仕 1月2日田 1月3日円 693 (45.1) 63 (24.9) 86 (33.0) 32 (13.7) 49 (26.5) 52 (28.3) 75.0 (4.9) 82 (32.4) 69 (26.4) 89 (38.0) 62 (33.5) 75 (40.8) 25.0 (1.6) 26 (10.3) 37 (14.2) 18 (7.7) 14 (7.6) 17 (9.2) 10.0 (0.7) 12 (4.7) 14 (5.4) 10 (4.3) 11 (5.9) 10 (5.4) 0.0 (0.0) 0 (0.0) 1 (0.4) 0 (0.0) 2 (1.1) 0 (0.0) 168 (10.9) 14 (5.5) 17 (6.5) 65 (27.8) 6 (3.2) 10 (5.4) 41 (2.7) 6 (2.4) 7 (2.7) 1 (0.4) 2 (1.1) 2 (1.1) 251 (1.0) 6 (2.0) 5 (1.0) 2 (4.0) 6 (2.0) 1 (1.0) 228 (14.8) 3 (1.2) 5 (0.0) 1 (3.0) 2 (0.0) 1 (0.0) 15 (0.0) 21 (1.0) 13 (1.0) 2 (0.0) 24 (1.0) 4 (1.0) 31 (2.0) 20 (7.9) 7 (2.7) 14 (6.0) 7

(人)

表 9. 二次救急病院来院患者数

20. —70	C() 1907 (90)	H 200				
月日 時間	AM 0	AM 6	AM 9	PM 5	PM 8	合 計
12月29日(水)	16	238	1217	40	26	1537
12月30日(木)	11	28	139	45	30	253
12月31日金	12	16	176	38	19	261
1月1日生	13	18	140	35	28	234
1月2日(日)	18	15	104	30	18	185
1月3日(月)	9	22	106	32	15	184
合 計	79	337	1,882	220	136	2,654

(人)

夜間診療時間帯の来院患者数は6日間で169人(昨年221人)、岩手医大附属病院(矢巾)が36人(昨年117人)、二次救急病院(医大除く)が100人(昨年79人)でした(表7)。

- 二次救急病院の全時間帯における来院総数は2,654人(昨年2,178人)で、そのうち岩手医大 附属病院は36.7%を占める結果となりました(表 8)。
- 二次救急病院の来院患者数2,654人のうち、最も受診が多かった受診時間帯は午前9時~午後5時の時間帯でした(表9)。

岩手県高度救命救急センター (3次) の来院患者数は47人 (昨年52人) で、最も多かった時間帯は午前9時~午後5時の30人でした (表10)。

病院受診者が3,833人と最も多く、続いて内科受診者が1,482人でした(図1)。 日付別では12月29日(水が病院、診療所とも来院患者数が最も多かったです(図2)。

表10. 岩手県高度救命救急センター来院患者数 (3次)

時間	AM 0	AM 6	AM 9	PM 5	PM 8	合 計
月日	AM 6	AM 9	PM 5	PM 8	PM 12	合 計
12月29日(水)	2	0	8	0	1	11
12月30日休	0	0	4	0	2	6
12月31日金	1	0	7	3	1	12
1月1日生	0	0	5	1	0	6
1月2日(日)	1	1	3	1	0	6
1月3日(月)	0	1	3	1	1	6
合 計	4	2	30	6	5	47
						(人)

図1. 病院(医大、その他病院)診療所(診療科別)来院患者数

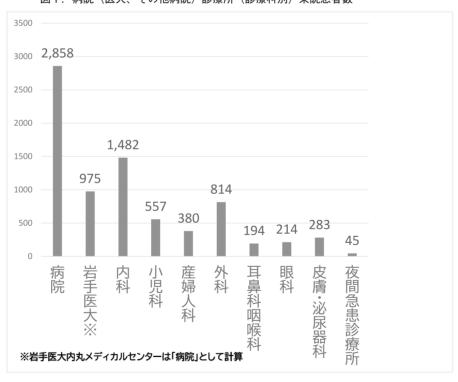


図2. 病院および診療所来院患者数

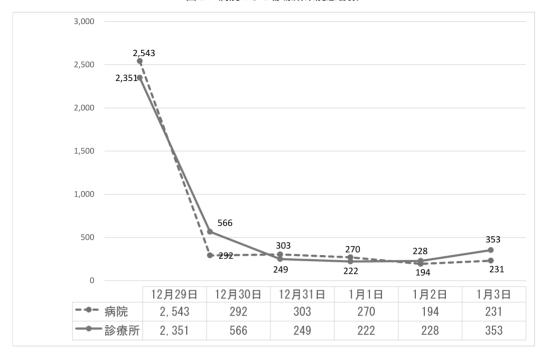


表11. 夜間診療時間(午後8時~午前0時)の来院患者数

	12月29日(水)	12月30日(木)	12月31日金	1月1日生)	1月2日(日)	1月3日(月)	計
岩手医大附属病院(矢巾)	7	8	3	5	7	6	36
二次救急病院	19	22	16	23	11	9	100
診 療 所	2	1	0	0	0	1	4
その他病院	0	0	0	1	0	0	1
夜間急患診療所	6	1	5	3	8	5	28
合 計	34	32	24	32	26	21	169

(人)

夜間診療時間帯(午後8時~午前0時)の来院患者数をみると、岩手医大と二次救急病院で8割の患者を診ていただきました(表11)。

深夜(午前0時~午前6時)の来院患者数をみると、6日間全て、岩手医大と二次救急病院で9割以上の患者を診ていただきました(表12)。

表12. 深花	~(午前 0	· 時~午前 6 時)	の来院患者数
---------	--------	-------------	--------

	12月29日(水)	12月30日(木)	12月31日金	1月1日生	1月2日(日)	1月3日(月)	計
岩手医大附属病 院(矢巾)	4	3	4	3	3	3	20
二次救急病院	12	8	8	10	15	6	59
診 療 所	3	1	0	1	1	0	6
その他病院	0	0	0	0	0	0	0
夜間急患診療所	0	0	0	0	0	0	0
合 計	19	12	12	14	19	9	85

(人)

以上が令和3年度の年末年始外来患者実態 調査の結果です。

新型コロナウイルス感染症への対策を講じながら迎えた二度目の年末年始でした。第5波が一段落し、岩手県内では昨年10月中旬から新規の感染者が検出されない日が続き、過度の緊張感から少しばかり解放されて新年を迎えることができるのではないかと思われました。その矢先、新しい変異株であるオミクロン株の感染者が国内でも発生し、感染がました。各医療機関におかれましては、救急受入体制や院内感染予防対策など、第6波が懸念される状況下、対応に大変苦慮なれたのではないかと推察いたします。医療体制の維持にご協力いただきましたこと、本紙面をお借りし深く感謝申し上げます。

年末年始における岩手県内の新型コロナウ イルスの新規感染は散発的でしたが、感染者 数の全国的な増加とともに盛岡市でも1月19日に11人の感染が発表され、1月20日時点で、直近1週間の人口10万人あたりの新規感染者数は15.4人となり、昨年9月10日以来4か月ぶりに15人を超えております。1月から医療従事者を対象とした3回目のワクチン接種が開始となり、2月からは高齢者から一般住民へと接種対象が順次拡大されますが、オミクロン株による感染拡大が爆発的であり、第6波が到来しています。感染予防対策により一層のご配慮をいただき、圏域の医療体制の堅持のため引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

お陰様をもちまして、本アンケートは毎回 100%の回収率となっております。こちらに つきましても、来年度以降もご協力の程よろ しくお願い申し上げます。

(鈴木知己)

Ⅳ 盛岡地区二次救急医療体制 42 年目のあゆみ

盛岡地区二次救急医療対策委員会

1. 実態報告

2021年の二次救急医療体制について、表1から表3に示すような各病院の割当回数と日程により行われた。また、その報告については、二次救急は表4のように、小児救急については表5のように報告されている。表6には各病院毎の月別と総数を示す。2021年は総数32,780であった。図2に総数の過去3年を比較したグラフを示す。

2021年は、新型コロナウイルス感染症が数回の感染爆発を起こし、かつて岩手県は全国最小の感染数であったが、パンデミックの波は防ぎようもなく巻き込まれてしまった。二次救急来院患者総数月別分布(図 2)をみるとこの3年間の救急受診者の流れがわかる。2020年2月までは例年並みの受診者であったが、3月より著しい減少を示し、4月(第一回緊急事態宣言発令)には過去最低まで減少した。その後の経過は多少季節性の変化はあるものの、2021年もほぼ同じような受診者の動きを示した。また例年冬季間にインフルエンザの影響で受診者が急増するが、2020年末から2021年初め、そして2021年の年末とも増加はみられなかった。2021年受診者総数は32,780名と前年に比較して2,255名減少した。例年の3割減が続いている。内訳では、外来受診のみ患者が25,594名、前年比で2,392名とさらに減少していた。入院患者は7,186名、前年比で大きな変化はなかった。救急車搬送数は8,391人で,前年より631人増加した(表7)。2020年と同様に感染予防が徹底されたことから冬季のインフルエンザなど感染症の発生が減少したこと、生活様式の変化により軽症外傷などが減少したためと思われる。救急車の搬入患者の内訳をみると県立中央病院へ搬送数が61.3%と増加している。特に深夜、時間外の搬送比率が高い。

表	₹ 1							=	=	b	c	救		急		病		院	:	当	ŧ	¥	表	ξ								
4	和3	9年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
-	6月	<u> </u>	火	水	木	金	土 ※内	日内	月	火	水	木	金	土 ※内	日内	月	火	水	木	金	土 ※内	日内	月	火	水	木	金	土 ※内	日内	月	火	水
	立	日直					外脳	外脳						外脳	外脳						外脳	外脳						外脳	外脳	İ		
	中央		内	内	内	内	循内	循内	内	内	内	内	内	循内	循内	内	内	内	内	内	循内	循内	内	内	内	内	内	循内	循内	内	内	内
	病	宿直	外脳	外脳	外脳	外脳	外脳	外脳	外脳	外脳	外脳	外脳	外脳	外脳	外脳	外脳	外脳	外脳	外脳	外脳	外脳	外脳	外脳	外脳	外脳	外脳	外脳	外脳	外脳	外脳	外脳	外脳
	院盛	10 10.	循	循	循	循	循 ※	循	循	循	循	循	循	循 ※	循	循	循	循	循	循	循	循	循	循	循	循	循	循 ※	循	循	循	循
l_	岡市	日直					外内	内外						外	内外						*	-4-						外内	内外			
-	立	art-s-ster	内	内	外	内	外	内	外	外	外	外	内	外	内	内	外	内	外	外	内内	内内	内	内	外	外	内	外	内	内	外	内
	病院	宿直	外	外 宿	内直	外[内下		段	内の	内	的診	外		外科	外	内は	外 21	内	内時		外 30	分	外	内ま	内で		内の		対	応	
	盛岡赤	日直					※循 整	消泌					*	脳内脳外	呼泌						※循 泌	内整						※消 外	循 脳外			
	十字				循		産	産			循			産内	産					内	産	産	循					産	産内			消
	病院	宿直	外産	消産	耳産	整産	放産	内産	外産	脳外 産	整産	外産	消産	耳産	循産	外産	磐 锤	外産	消産	耳産	消産	整産	外産	脳外 産	内産	磐 锤	呼産	耳産	整産	泌産	外産	外産
次	岩							内外						※内 外	内外						※内 外	内外							内外			
	手	日直						小歯						小歯	小歯						小歯	小歯							小歯			ì
	医		内	産内	婦力	人 <i>利</i>	内	精内	神内	神内	経り	科・	耳内	鼻内	咽内	喉 内	科内	· 眼	科内	内	皮内	膚和	外に	t 内	ク内	コ内	内	ル (にって	対内	· 応 内	内
	大	宿直	外小	外小	外小	外小	外小	外小	外小	外小	外小	外小	外小	外小	外小	外小	外小	外小	外小	外小	外小	外小	外小	外小	外小	外小	外小	外小	外小	外小	外小	外小
	病	16 (0.	- 歯	歯	歯	歯	歯	歯	歯	歯	歯	歯	歯	歯	歯	歯	歯	歯	歯	歯	歯	歯	歯	歯	歯	歯	歯	歯	歯	歯	歯	歯
救	遠	m atc		産	婦	人系	•	精	神	神	経利	科 •	耳	鼻	咽	喉	科	• 眼	科		皮	膚 乖	4 13	は オ		7		ル(2 7	対	応	
	山	日直						内							内							内						Ш	内			
	病	宿直																														1
	院		内	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内
	内	日直						形成							内							形成							整			1
急	病	宿直																												İ		
	院温盛		脳外	整	整	整	内	形成	整	整	整	整	内	内	内	整	脳外	整	整	内	整	形成	整	整	整	整	整	整	整	整	整	整
	泉岡	日直						内							内							内							内			1
	っ 病 な	宿直																														
	院ぎ 盛		内	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内
病	岡友	日直						内						※ 内	内							内						※ 内	整			
,,,	愛病	宿直												, ,																		
	院川	ILI JES	内	整	整	脳内	内	内	外	内	整	整	泌	内	内	外	内	外	整	外	整	内	脳内	内	整	整	内	内	整	内	内	整
	久	日直						内							外							内							外			1
	保病	宿直						L1							71							rı							71			
P 曲	院	16 (0.	内	小	眼	内	小	内	内	内	小	眼	内	内	内	内	内	内	眼	内	小	内	内	内	眼	内	内	内	内	小	内	内
院	盛岡国医立	日直					*							*							*							*		İ		
	一回医療センター 国立病院機構						整	内						内	整						整	内						整	内			
	タ構し	宿直	整	整	内	内	整	内	内	内	内	内	整	内	整	内	内	整	内	内	整	内	内	内	内	内	整	整	内	内	内	整
	八	日直																														
	角							内							外							外							外			\dashv
	病	宿直	内	内	内	内	外	内	内	内	内	内	内	内	外	内	内	内	内	内	外	外	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内
#	174	_	医	中	B	医	中	中	医	中	B	医	中	B	医	中	医	医	中	B	医	中	B	医	中	中	医	中	B	医	中	B B
[첫	最終	Α	太	央	赤	大友	央つ	央	大遠	央	赤	大国	央八	赤	大っ	央	大	大市	央	赤国	大八	央	赤	大	央	央	左	央	赤	ᅕ	央	赤川
一病	入院	В	Ξ.	栃	八		な	川久		市	栃			友	な	川久	遠		栃			友	つない	川久	遠	市	栃	国	八	友	つない	久
تــــا			立	内	角	愛	ぎ	保	Щ	立	内	<u>寸</u>	角	愛	ぎ	保	Щ	立	内	立	角	愛	ぎ	保	山	<u> 立</u>	内	立	角	愛	ぎ	保

【注意事項】

各病院の当直医(診療科)が変更されることがありますので、事前に電話で確認することをおすすめします。 ※消防量(象急隊)は患者の状態により、直近または最も適していると考えられる二次教急病院を選定して連絡を入れますので、 数急隊から受入を要請された場合は可能な限り受入をお願い致します。

- 2. 最終入院学入病院とは、魚島について他の病院が受け入れられない場合、最終閲覧及び責任をもつ病院です。
 3. 小児の入院が必要と思われる場合は、小児教念入院受入病院当番表をご参照下さい。
 4. 盛岡市立病院は21時30分以降医師一人体制となります。
 5. ※印は、休日体制になっていますので、ご留意下さい。

令和3年5月24日作成

表 2 令和 3 年 (2021年1月~2021年12月) 二次救急輪番病院年間回数

区 分 病 院	年 末 年 始	祝祭日	日曜日	土曜日	平日	年 間 回 数	総回数
盛岡市立病院	0	4	6	6	29	45	55
八角病院	1	1	7	6	31	46	55
盛岡つなぎ温泉病院	1	2	6	6	31	46	55
県立中央病院	2	5	21	20	93	141	169
岩手医大附属病院	3	7	18	20	95	143	171
盛岡赤十字病院	1	3	12	10	55	81	97
遠 山 病 院	0	1	6	6	32	45	52
栃 内 病 院	0	0	7	7	31	45	52
盛岡友愛病院	2	4	6	6	28	46	58
川久保病院	1	2	6	6	31	46	55
国立盛岡医療センター	1	1	7	7	30	46	55
計	12	30	102	100	486	730	874

令和3年(2021年1月~2021年12月)小児救急各病院当番コマ数

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
中	央	23	18	18	19	22	19	22	20	21	21	21	21	245
日	赤	12	12	13	12	13	11	11	12	11	11	11	12	141
国立	盛岡	8	8	8	8	9	8	9	9	8	9	8	9	101
合	計	43	38	39	39	44	38	42	41	40	41	40	42	487

表 3 二次救急医療輪番病院及び小児救急輪番病院日程表 (令和 3 年 1 月~ 3 月)

1	月		二次	救;	急			小児	救急	į.
日	曜日		А		В		宿	直直	ш	直直
(1)	金	日	赤	国		立	中	央	中	央
(2)	土	医	大	八		角	中	央	中	央
(3)	日	中	央	友		愛	玉	立	玉	立
4	月	医	大	9	な	ぎ	中	央		
5	火	医	大	Ш	久	保	日	赤		
6	水	\oplus	央	遠		山	玉	立		
7	木	Ш	赤	卡		立	毌	央		
8	金	医	大	栃		内	中	央		
9	土		央	国		立	日	赤	日	赤
10	日	Ш	赤	八		角	中	央	中	央
(11)	月	医	大	友		愛		央	中	央
12	火	中	央	9	な	ぎ	日	赤		
13	水	中	央	Ш	久	保	玉	立		
14	木	医	大	遠		山	中	央		
15	金	\oplus	央	卡		立	П	赤		
16	土	П	赤	栃		内	玉	立	玉	立
17	日	医	大	国		<u>17.</u>	中	央	中	央
18	月	\oplus	央	八		角	日	赤		
19	火	Ш	赤	友		愛		央		
20	水	医	大	9	な	ぎ	玉	立		
21	木	中	央	Ш	久	保	日	赤		
22	金	医	大	遠		Щ	中	央		
23	土	医	大	卡		立	毌	央	中	央
24	日	中	央	栃		内	日	赤	日	赤
25	月	日	赤	玉		立	中	央		
26	火	医	大	八		角	Ħ	立		
27	水	日	赤	友		愛	中	央		
28	木	中	央	9	な	ぎ	日	赤		
29	金	医	大	Щ	久	保	毌	央		
30	土	\oplus	央	遠		山	田	赤	日	赤
31	日	中	央	市		立	中	央	中	央

	2	月		二次	救	急			小児	救急	急
	日	曜日		А		В		宿	i直	E	直
	1	月	医	大	栃		内	中	央		
	2	火	中	央	玉		立	日	赤		
	3	水	Ш	赤	八		角	玉	立		
	4	木	医	大	友		愛	中	央		
	5	金	中	央	0	な	ぎ	日	赤		
	6	土	日	赤	Ш	久	保	玉	立.	玉	立
	7	田	医	大	遠		臣	中	央	中	央
	8	月	中	央	市		立	日	赤		
	9	火	医	大	国		八	中	央		
	10	水	医	大	栃		內	玉	立		
1	(1)	木	毌	央	八		角	田	赤	П	赤
	12	金	日	赤	友		愛	玉	<u> </u>		
	13	土	医	大	9	な	昳	中	央	中	央
	14	日	中	央	Ш	久	保	日	赤	日	赤
	15	月	Ш	赤	遠		臣	中	央		
	16	火	医	大	市		<u>1</u>	日	赤		
	17	水	毌	央	栃		內	国	立		
	18	木	中	央	玉		八	日	赤		
	19	金	医	大	八		角	中	央		
	20	土	中	央	友		愛	中	央	中	央
	21	日	日	赤	0	な	ぎ	中	央	中	央
	22	月	医	大	Ш	久	保	日	赤		
((23)	火	毌	央	遠		臣	玉	立	Ħ	立
	24	水	日	赤	市		立	中	央		
	25	木	医	大	栃		内	中	央		-
	26	金	医	大	国		立	中	央		
	27	土	中	央	八		角	日	赤	日	赤
I	28	日	医	大	友		愛	中	央	中	央

3	月		二次	救	急			小児	救急	急
日	曜日		А		В		宿	直		∃直
1	月	中	央	つ	な	ぎ	日	赤		
2	火	日	赤	Щ	久	保	中	央		
3	水	医	大	遠		山	玉	立.		
4	木	中	央	市		立.	日	赤		
5	金	日	赤	栃		内	玉	立.		
6	土	医	大	国		立	中	央	中	央
7	日	中	央	八		角	日	赤	日	赤
8	月	中	央	友		愛	中	央		
9	火	医	大	9	な	ぎ	中	央		
10	水	中	央	Ш	久	保	玉	立.		
11	木	日	赤	遠		山	中	央		
12	金	医	大	市		立.	中	央		
13	土	中	央	栃		内	日	赤	日	赤
14	日	日	赤	国		立	中	央	中	央
15	月	医	大	八		角	日	赤		
16	火	医	大	友		愛	中	央		
17	水	中	央	つ	な	ぎ	玉	立		
18	木	医	大	Ш	久	保	中	央		
19	金	中	央	遠		Щ	日	赤		
(20)	土	日	赤	市		立	玉	立	玉	立
21	日	中	央	栃		内	日	赤	日	赤
22	月	医	大	国		立	中	央		
23	火	日	赤	八		角	中	央		
24	水	中	央	友		愛	日	赤		
25	木	医	大	9	な	ぎ	中	央		
26	金	中	央	Ш	久	保	玉	立		
27	土	医	大	遠		Щ	中	央	中	央
28	日	中	央	市		立	日	赤	日	赤
29	月	日	赤	栃		内	中	央		
30	火	医	大	玉		立.	中	央		
31	水	中	央	八		角	玉	立		

中	央	23
日	赤	12
玉	立.	8
川久	保	0
合	計	43

中	央	18
日	赤	12
玉	<u> </u>	8
Ш	久 保	(
合	計	38

中	央	18
日	赤	13
玉	<u> </u>	8
<u>JH 2</u>	ス 保	0
合	計	39

(令和3年4月~6月)

4	月		二次	救;	急			小児	救急	ā.
日	曜日		А		В		宿	直直	E	直
1	木	日	赤	友		愛	中	央		
2	金	医	大	9	な	ぎ	Ħ	立		
3	土	\oplus	央	Щ	久	保	П	赤	П	赤
4	日	医	大	遠		山	中	央	中	央
5	月	医	大	市		立	日	赤		
6	火	毌	央	栃		内	中	央		
7	水	Ш	赤	八		角	Ħ	立		
8	木	医	大	玉		立	中	央		
9	金	中	央	友		愛	中	央		
10	土	日	赤	9	な	ぎ	Ħ	立	玉	立
11	ш	医	大	Щ	久	保	毌	央	中	央
12	月	中	央	遠		Щ	日	赤		
13	火	中	央	市		立		央		
14	水	医	大	栃		内	Ħ	立		
15	木	\oplus	央	国		立	П	赤		
16	金	日	赤	八		角	毌	央		
17	土	医	大	友		愛	中	央	中	央
18	日	中	央	9	な	ぎ	田	赤	日	赤
19	月	田	赤	Ш	久	保	中	央		
20	火	医	大	遠		山	日	赤		
21	水	中	央	市		立	玉	立		
22	木	医	大	栃		内	\oplus	央		
23	金	医	大	国		立	日	赤		
24	土	毌	央	八		角	中	央	中	央
25	田	Ш	赤	友		愛	4	央	中	央
26	月	医	大	γ	な	ぎ	田	赤		
27	火	中	央	川	久	保	中	央		
28	水	Ш	赤	遠		Щ	Ħ	立		
(29)	术	医	大	市		立	П	赤	Ш	赤
30	金	毌	央	栃		内	Ħ	立		

5	月		二次	救:	急			小児	救急	1
日	曜日		А		В		宿	直	E	直
1	土	中	央	玉		立	日	赤	日	赤
2	日	医	大	八		角	中	央	中	央
3	月	中	央	友		愛	日	赤	日	赤
(4)	火	日	赤	7	な	ぎ	中	央	中	央
(5)	水	医	大	Ш	久	保	国	立	国	立
6	木	中	央	遠		Щ	中	央		
7	金	П	赤	拒		立	Ħ	立		
8	土	医	大	栃		内	中	央	中	央
9	日	中	央	玉		立	日	赤	H	赤
10	月	医	大	八		角	毌	央		
11	火	医	大	友		愛	ш	赤		
12	水	中	央	9	な	ぎ	玉	立		
13	木	日	赤	Ш	久	保	中	央		
14	金	医	大	遠		Щ	中	央		
15	土		央	拒		立	Ħ	立	¥	立
16	日	日	赤	栃		内	中	央	中	央
17	月	医	大	国		立	田	赤		
18	火	中	央	八		角	中	央		
19	水		央	友		愛	Ħ	立		
20	木	医	大	0	な	ぎ	日	赤		
21	金	毌	央	Ш	久	保	国	立		
22	土	日	赤	遠		Щ	中	央	中	央
23	Ш	医	大	拒		立	毌	央	中	央
24	月	中	央	栃		内	П	赤		
25	火	日	赤	玉		立.	中	央		
26	水	医	大	八		角	国	立.		
27	木	县	央	友		愛	ш	赤		
28	金	医	大	γ	な	ぎ	毌	央		
29	土	医	大	Ш	久	保	中	央	中	央
30	日	中	央	遠		Щ	日	赤	日	赤
31	月	日	赤	卡		立	中	央		

6	月		二次救急						、児救急		
日	曜日	F	1		В		宿	直	日直		
1	火	医	大	国		立.	日	赤			
2	水	中	央	栃		内	玉	立			
3	木	日	赤	八		角	中	央			
4	金	医	大	友		愛	中	央			
5	土	中	央	9	な	ぎ	日	赤	日	赤	
6	日	中	央	Ш	久	保	中	央	中	央	
7	月	医	大	遠		Щ	中	央			
8	火	中	央	市		立	日	赤			
9	水	日	赤	栃		内	玉	立			
10	木	医	大	玉		立.	中	央			
11	金	中	央	八		角	日	赤			
12	土	日	赤	友		愛	玉	立	玉	立	
13	日	医	大	9	な	ぎ	中	央	中	央	
14	月	中	央	Ш	久	保	日	赤			
15	火	医	大	遠		Щ	中	央			
16	水	医	大	市		立	玉	立			
17	木	中	央	栃		内	日	赤			
18	金	日	赤	玉		立.	中	央			
19	土	医	大	八		角	中	央	中	央	
20	日	中	央	友		愛	日	赤	日	赤	
21	月	日	赤	9	な	ぎ	中	央			
22	火	医	大	Ш	久	保	日	赤			
23	水	毌	央	遠		Щ	国	立			
24	木	毌	央	卡		立	毌	央			
25	金	医	大	栃		内	玉	立			
26	土	中	央	玉		立	中	央	中	央	
27	日	ш	赤	八		角	中	央	中	央	
28	月	医	大	友		愛	ш	赤			
29	火	中	央	9	な	ぎ	中	央			
30	水	日	赤	Ш	久	保	玉	立			

中	央	19
日	赤	12
玉	立	8
合	計	39

中	央	2
日	赤	13
玉	立	9
合	計	4

中	央	19
日	赤	11
玉	立	8
合	計	38

(令和3年7月~9月)

7	月		二次救急				小児救急				
日	曜日		А		В		宿直		日直		
1	木	医	大	遠		山	中	央			
2	金	中	央	市		立	日	赤			
3	土	医	大	栃		内	国	立	国	立	
4	日	医	大	国		立	中	央	中	央	
5	月	中	央	八		角	日	赤			
6	火	日	赤	友		愛	中	央			
7	水	医	大	9	な	ぎ	国	立			
8	木	中	央	Ш	久	保	日	赤			
9	金	田	赤	遠		山	中	央			
10	土	医	大	市		立	中	央	中	央	
11	日	中	央	栃		内	日	赤	日	赤	
12	月	中	央			立	中	央			
13	火	医	大	八		角	日	赤			
14	水	中	央	友		愛	国	立			
15	木	日	赤	9	な	ぎ	中	央			
16	金	医	大		久	保	日	赤			
17	土	中	央	遠		山	中	央	中	央	
18	日	日	赤	市		立	中	央	中	央	
19	月	医	大	栃		内	日	赤			
20	火	中	央	国		立	中	央			
21	水	医	大	八		角	国	立			
(22)	木	医	大	友		愛	中	央	中	央	
(23)	金	毌	央	Ç	な	ぎ	国	立	玉	立	
24	±	医	大	Щ	久	保	中	央	中	央	
25	田	田	赤	遠		Щ	日	赤	田	赤	
26	月	中	央	市		立	日	赤			
27	火	Ш	赤	国		立	中	央			
28	水	医	大	栃		内	国	立			
29	木	中	央	八		角	中	央			
30	金	中	央 大	友		愛	玉	立.			
31	土	医	大	つ	な	ぎ	中	央	中	央	

8	月		二次	救	急			小児	救急	急
日	曜日		А		В		窄	直		日直
1	日	中	央	Ш	久	保	日	赤	日	赤
2	月	日	赤	遠		山	中	央		
3	火	医	大	市		立	中	央		
4	水	中	央	栃		内	玉	立		
5	木	日	赤	国		立.	中	央		
6	金	医	大	八		角	日	赤		
7	土	中	央	友		愛	\pm	立	玉	立
8	Ш	医	大	P	な	ぎ	中	央	中	央
(9)	月	医	大	Щ	久	保	日	赤	日	赤
10	火	中	央	遠		山	中	央		
11	水	日	赤	市		立.	国	立		
12	木	医	大	栃		内	中	央		
13	金	中	央	国		立	日	赤		
14	土	日	赤	八		角	中	央	中	央
15	日	医	大	友		愛	中	央	中	央
16	月	中	央	2	な	ぎ	日	赤		
17	火	中	央	Ш	久	保	中	央		
18	水	医	大	遠		Щ	国	立		
19	木	中	央	市		立.	中	央		
20	金	日	赤	栃		内	国	立		
21	土	医	大	国		立	日	赤	日	赤
22	Ш	毌	央	八		角	毌	央	中	央
23	月	日	赤	友		愛	中	央		
24	火	医	大	9	な	ぎ	日	赤		
25	水	毌	央	Ш	久	保	\pm	立		
26	木	医	大	遠		山	毌	央		
27	金	医	大	市		立	ш	赤		
28	土	中	央	栃		内	玉	立	玉	立
29	П	Ш	赤	国		立	毌	央	中	央
30	月	医	大	八		角	毌	央		
31	火	中	央	友		愛	日	赤		

9	月		二次	救:	急		小児救急				
日	曜日		А		В		宿	直	日直		
1	水	日	赤	つ	な	ぎ	国	立			
2	木	医	大	Ш	久	保	中	央			
3	金	中	央	遠		山	玉	立			
4	土	中	央	市		立	日	赤	日	赤	
5	日	医	大	栃		内	中	央	中	央	
6	月	中	央	玉		立	H	赤			
7	火	日	赤	八		角	中	央			
8	水	医	大	友		愛	玉	立			
9	木	中	央	つ	な	ぎ	中	央			
10	金	日	赤	Ш	久	保	中	央			
11	土	医	大	遠		山	日	赤	日	赤	
12	日	中	央	市		立	中	央	中	央	
13	月	医	大	栃		内	日	赤			
14	火	医	大	玉		立	中	央			
15	水	中	央	八		角	国	立			
16	木	日	赤	友		愛	中	央			
17	金	医	大	7	な	ぎ	日	赤			
18	土	中	央	Ш	久	保	中	央	中	央	
19	日	日	赤	遠		山	国	立	玉	立	
(20)	月	医	大	市		立	中	央	中	央	
21	火	中	央	栃		内	日	赤			
22	水	毌	央	八		角	H	立			
(23)	木	医	大	玉		<u>1</u>	中	央	中	央	
24	金	中	央	友		愛	日	赤			
25	土	日	赤	9	な	ぎ	中	央	中	央	
26	Ш	医	大	Ш	久	保	Ш	赤	日	赤	
27	月	毌	央	遠		山	毌	央			
28	火	日	赤	市		立	中	央			
29	水	医	大	栃		内	国	立			
30	*	毌	央	玉		立	毌	央			

中	央	22
日	赤	11
玉	立	9
合	計	42

中	央	20
日	赤	12
玉	立	ç
合	計	41

中	央	21
日	赤	11
玉	立	8
合	計	40

(令和3年10月~12月)

10	0月		二次	救	急		小児救急			ļ.
日	曜日		А		В		宿直		日直	
1	金	医	大	八		角	玉	立		
2	土	医	大	友		愛	中	央	中	央
3	日	医	大	7	な	ぎ	日	赤	日	赤
4	月	田	赤	Ш	久	保	中	央		
5	火	医	大	遠		Щ	毌	央		
6	水	中	央	市		<u>17.</u>	玉	<u> </u>		
7	木	田	赤	栃		内	中	央		
8	金	医	大	国		立	Ш	赤		
9	土	毌	央	八		角	H	立	Ħ	立
10	日	毌	央	友		愛	毌	央	中	央
11	月	医	大	9	な	ぎ	日	赤		
12	火	中	央	Ш	久	保	中	央		
13	水	田	赤	遠		Щ	国	立		
14	木	医	大	市		立	中	央		
15	金	中	央	栃		内	玉	立		
16	土	日	赤	玉		<u>17.</u>	中	央	中	央
17	日	中	央	八		角	中		中	央
18	月	中	央	友		愛	日	赤		
19	火	医	大	7	な	ぎ	中	央		
20	水	医	大	Ш	久	保	国	立		
21	木	中	央	遠		Щ	日	赤		
22	金	日	赤	市		立.	玉	立		
23	土	医	大	栃		内	中	央	中	央
24	日	中	央	玉		立	日	赤	日	赤
25	月	日	赤	八		角	中	央		
26	火	医	大	友		愛	日	赤		
27	水	中	央	7	な	ぎ	国	立		
28	木	中	央	Ш	久	保	中	央		
29	金	医	大	遠		Щ	中	央		
30	土	中	央	市		立	中	央	中	央
31	日	田	赤	栃		内	日	赤	田	赤

1.	1月		二次	救;	急 <u></u>		小児救急			į
日	曜日		Α		В		宿直		日直	
1	月	医	大	玉		立.	中	央		
2	火	中	央	八		角	日	赤		
(3)	水	日	赤	友		愛	玉	立	玉	立
4	木	医	大	つ	な	ぎ	中	央		
5	金	中	央	Ш	久	保	日	赤		
6	H	医	大	遠		山	中	央	中	央
7	П	医	大	市		立	中	央	中	央
8	月	中	央	栃		内	日	赤		
9	火	日	赤	玉		<u>17.</u>	中	央		
10	水	医	大	八		角	国	立		
11	木	中	央	友		愛	日	赤		
12	金	日	赤	つ	な	ぎ	中	央		
13	H	医	大	Ш	久	保	日	赤	日	赤
14	日	中	央	遠		Щ	中	央	中	央
15	月	中	央	市		立.	日	赤		
16	火	医	大	玉		立	中	央		
17	水	中	央	栃		内	玉	立		
18	木	日	赤	八		角	中	央		
19	金	医	大	友		愛	中	央		
20	土	中	央	つ	な	ぎ	玉	立	玉	立
21	日	日	赤	Ш	久	保	中	央	中	央
22	月	医	大	遠		Щ	日	赤		
(23)	火	中	央	市		立	中	央	中	央
24	水	医	大	栃		内	玉	立		
25	木	医	大	玉		立.	日	赤		
26	金	中	央	八		角	玉	立		
27	土	日	赤	友		愛	中	央	中	央
28	日	医	大	つ	な	ぎ	日	赤	日	赤
29	月	毌	央	川	久	保	中	央		
30	火	日	赤	遠		山	中	央		

_		- H			1.0	4,		_		51.1	
L		2月			救				小児	_	
E	3	曜日		Α		В			直	-	∃直
_]	1	水	医	大	市		立	国	立.		
_	2	木	中	央	栃		内	田	赤		
3	3	金	中	央	国		立	中	央		
4	4	土	医	大	八	_	角	中	央	中	央
5	5	日	中	央	友		愛	日	赤	日	赤
_	6	月	日	赤	つ	な	ぎ	中	央		
7		火	医	大	Ш	久	保	ш	赤		
_	3	水	中	央	遠		Щ	国	立		
Ş	9	木	日	赤	市		立	中	央		
1	0	金	医	大	栃		内	国	立		
_	1	土	中	央	国		立	中	央	中	央
1	2	日	医	大	八	_	角	中	央	中	央
1	3	月	医	大	友	_	愛	日	赤		
1	4	火	中	央	つ	な	ぎ	中	央		
1	5	水	日	赤	Ш	久	保	国	立		
1	6	木	医	大	遠		Щ	中	央		
1	7	金	中	央	市	_	立	中	央		
1	8	土	日	赤	栃		内	国	立	玉	立
1	9	日	医	大	国	_	立	中	央	中	央
_	0	月	中	央	八	_	角	日	赤		
2	1	火	中	央	友		愛	中	央		
_	2	水	医	大	つ	な	ぎ	玉	立		
2	3	木	中	央	Ш	久	保	日	赤		
2	4	金	日	赤	遠	_	山	中	央		
2	5	土	医	大	市		立	日	赤	日	赤
2	6	日	中	央	栃	_	内	中	央	中	央
_	7	月	日	赤	国	_	立	中	央		
	8	火	医	大	八		角	П	赤		
2	9)	水	中	央	友		愛	国	立.	玉	立
(3	0	木	医	大	つ	な	ぎ	中	央	中	央
(3	1)	金	医	大	Щ	久	保	日	赤	日	赤

中	央	21
日	赤	11
玉	<u> </u>	9
合	計	41

中	央	21
日	赤	11
玉	立	8
\triangle	卦	40

中	央	21
日	赤	12
玉	立.	9
合	計	42

表 4 二次救急患者データ

	月	日		1	H		2	H #i	番	н		3日 4日 5日 6日 輪番日			Я		7	日												
	// 曜			E			_	<u>п</u> т		_			<u></u>								<u> </u>		0		<u> </u>				<u>г </u>	
	病院		外	Ť	_	院	外	来		院	外	来	λ	院	外	来		院	外	来		院	外		T	院	外		_ 入	院
	71.7 170			改急車		救急車		救急車		救急車	1	救急車		救急車		救急車	,	救急車		救急車		救急車		救急車		救急車		救急車		救急車
		内科系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
深	АМО	外科系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0
	~	小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
夜	AM6	産 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
		内科系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
時	AM6	外科系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2	0	0
間	~	小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外	AM9	産 科	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		内科系	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
±	AM9	外科系	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
曜	~	小児科	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日	PM0	産 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		内科系	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
土	РМО	外科系	2	0	1	1	4	2	1	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	1	5	2	1_	2	2	0	0	0
曜	~	小児科	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
日	PM5	産 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0		0	0	0		0	0
		内科系	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	•	0		1	0	0		0	ļ	0		0	••••••••••••••••••••••••••••••••••••••	0	0
日	AM9	外科系	0	0	0		1	1	0	0	3	0	0	0	2	0	0	0	2	i	0		3	0	0		0	Î	0	0
祭日	~	小児科	1	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0	•	0		1	0	0		0	<u> </u>	0	0
	PM5	産 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		0	1	0	0	1	0	0	0
		その他	0	0	0		0	1	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0		0		0		0		0	0
時	PM5	内科系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	•	0	0	0		0		0	†	0	0	0	0	0	0
問	~	外科系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	i	1		0	1	0		1	<u> </u>	0	2
外	PM8	小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	·	0	0	0	•	0		0	0	0	0	1	0	0	0
1	. 1415	産科	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		Ī	0		0	i	0	0	0	Î	0	<u>U</u>
\vdash		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	U
夜	PM8	内科系 外科系	3	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	J J	0		0	0	0	Î	0		0	İ	0		1	0	0	U A
^	~	<u>外科系</u> 小児科	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0	·	0		0	!	0		0	†	0	U U
間	PM12	<u> </u>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	<u> </u>	0		0	1	0	0	0	<u> </u>	0	0
		生 付 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	Î	0	0	0	0	0	0	0	Î	0	0
Η.	 合	計	24	2	4	3	5	5	1	2	4	0	0	1	4	1	1	0	5	H	1	2	10	3	1	3	15	4	2	3
ш		PΙ	24	4	-	J	J	J	''		41	U	U		_ +		'!	U	J				10	<u></u>		J	13	. 4	۷,	J

二次救急患者(以下二次患者と略記す)データについては表4に示す通り、小児救急患者(以下小児患者と略記す)(以下小児患者と略記す)については表5に示す通りの資料を各二次救急医療病院より各病院事務長の責任において1ヵ月分をまとめ、翌月中旬まで医師会に提出される。

表 5 小児救急患者データ

F.	日		1	日		2	日	論番	日	3	日 隼	論番	日		4	日		5	日草	論番	日		6	日			7	日	
曜	日		E	3			F	1			,	Ł			7	k			7	ţ.			숙	È			Ξ	<u> </u>	
病	院名	外	来	入	院.	外	来	入	院	外	来	入	院.	外	来	入	院	外	来	入	院	外	来	入	院	外	来	入	院
L.			救急車		救急車		救急車		救急車		救急車		救急車		救急車		救急車		救急車		救急車		救急車		救急車		救急車		救急車
	AM0																												
深夜	~									1								1											
	AM6																												
時間	AM6																												
間外	~											1																	
	AM9																												
±	AM9																												
土曜日	~																												
	PM0																												
土	РМ0																												
土曜日	~																												
H	PM5 AM9																		_										
日曜日	~	1	1	1																									
日	PM5	'	'	<u>'</u>																									
2	PM5																												
時間	~					2				1			2											1					
外	РМ8																												
甴	PM8																												
時間外	~					2	1			3								1											
外	PM12																												
슫	計	1	1	1	0	4	1	0	0	5	0	1	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0

表 6 に令和 3 年の月別の患者数を示した。患者数では令和 2 年 (35,035) を 2,255 名下回った。新型コロナウイルス感染症発生前の令和元年 (48,393 名)に比べると 15,613 名の減少である。

令和3年も中央病院(43.8%)、赤十字病院(12.6%)、岩手医大(21.2%)で全体の約8割近くを占めるが、令和2年に小児救急輪番から岩手医大と川久保病院が外れたことが影響し、中央病院への受診者が増加した傾向は変わっていない。

表 7 には救急車搬入数を示している。令和 2 年 (7,760 名) に比べ 631 名増加している。全体の患者数は減少したが救急車搬入率は上昇した。中央病院が 5,141 件、赤十字病院は 1,207 件となっており全体の 75% を占めている。

(高度救命救急センターに搬送した例はすべて三次救急としたため、このデータには含まれていない。)

表 6 病院別·月別二次救急患者年間総数

	$\overline{}$		年月	2021年												合計	日亚州	比率
病	院名			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	(名)	月平均	(%)
中	央	病	院	1,096	970	1,079	1,066	1,265	1,146	1,498	1,274	1,238	1,259	1,214	1,258	14,363	1,197	43.8
日	赤	病	院	347	269	320	305	412	304	424	429	335	303	334	338	4,120	343	12.6
市	立.	病	院	132	118	114	121	147	134	162	110	108	114	117	118	1,495	125	4.6
遠	山	病	院	13	15	26	6	15	9	19	15	4	11	12	11	156	13	0.5
八	角	病	院	126	111	92	109	148	142	181	152	123	96	96	100	1,476	123	4.5
岩	手	医	大	500	436	509	519	699	564	693	664	623	597	562	589	6,955	580	21.2
栃	内	病	院	76	74	70	57	82	71	148	82	60	71	78	84	953	79	2.9
つ;	なぎ	温泉	病院	35	17	23	20	31	17	37	67	29	37	33	41	387	32	1.2
友	愛	病	院	58	49	43	45	63	45	80	71	62	49	45	53	663	55	2.0
Л	久	保 病	院	42	80	28	50	168	26	149	67	85	63	29	99	886	74	2.7
盛局	到医!	寮セン	ター	111	80	83	104	128	102	165	110	97	103	89	154	1,326	111	4.0
台	Ì		計	2,536	2,219	2,387	2,402	3,158	2,560	3,556	3,041	2,764	2,703	2,609	2,845	32,780	2,732	100

図2 二次救急病院来院患者総数月別分布

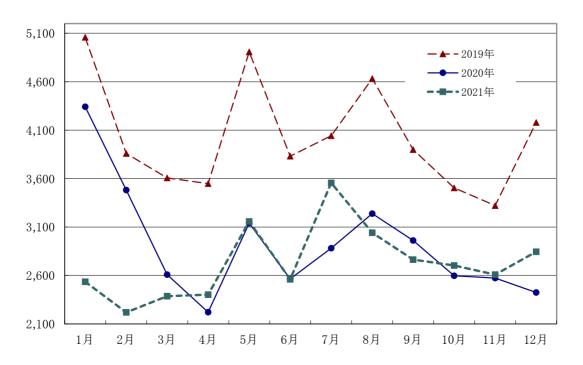


表7 二次救急病院における来院患者の実態(年間総数)

2021年1月	外	来	入	院	うち救急	急車搬入	総 数
~ 12 月	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率	形E3 安文
中 央 病 院	10,253 名	40.1 %	4,110 ^名	57.2 %	5,141 ^名	61.3 %	14,363 名
日 赤 病 院	3,089	12.1	1,031	14.3	1,207	14.4	4,120
市立病院	1,228	4.8	267	3.7	464	5.5	1,495
遠 山 病 院	103	0.4	53	0.7	62	0.7	156
八角病院	1,357	5.3	119	1.7	178	2.1	1,476
岩 手 医 大	5,980	23.4	975	13.6	232	2.8	6,955
栃 内 病 院	884	3.5	69	1.0	190	2.3	953
つなぎ温泉病院	265	1.0	122	1.7	154	1.8	387
友 愛 病 院	561	2.2	102	1.4	209	2.5	663
川久保病院	779	3.0	107	1.5	156	1.9	886
盛岡医療センター	1,095	4.3	231	3.2	398	4.7	1,326
合 計	25,594	100	7,186	100	8,391	100	32,780

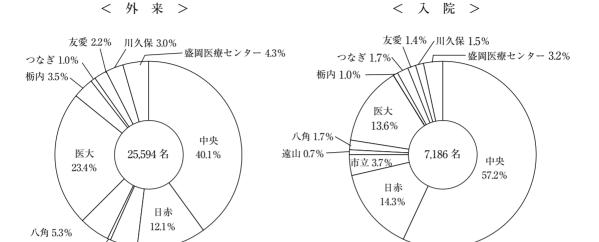
表8 二次救急病院における来院患者の実態(月平均)

2021年1月	外来	入 院	救急車搬入	総計
~ 12 月	患 者 数	患 者 数	患 者 数	18E/ E
中 央 病 院	854 名	343 名	428 名	1,197 名
日 赤 病 院	257	86	101	343
市 立 病 院	102	22	39	125
遠 山 病 院	9	4	5	13
八角病院	113	10	15	123
岩 手 医 大	498	81	19	580
栃 内 病 院	74	6	16	79
つなぎ温泉病院	22	10	13	32
友 愛 病 院	47	9	17	55
川久保病院	65	9	13	74
盛岡医療センター	91	19	33	111
合 計	2,133	599	699	2,732

図3 二次救急病院における来院患者の外来・入院・救急車搬入(表7参照)

遠山 0.4%

市立 4.8%



< 救急車 >

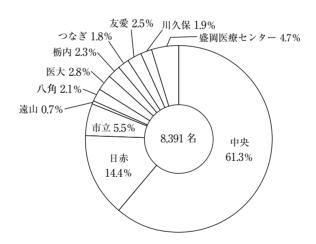


表 9 二次救急病院における救急車搬入患者内訳

時間帯	外	来	入	院	利即	外	来	入	院
(表 4 参照)	患者数	比 率	患者数	比 率	科 別	患者数	比 率	患者数	比 率
深夜	801	17.2	503	13.4	内科系	1,989	42.8	2,008	53.6
時間外 A	605	13.0	480	12.8	外科系	1,738	37.4	1,266	33.8
土曜日 (1)	225	4.8	221	5.9	その他	920	19.8	470	12.6
土曜日 (2)	371	8.0	336	9.0	計	4,647	(100)	3,744	(100)
日 祭 日	677	14.6	461	12.3					
時間外B	943	20.3	986	26.3					
夜 間	1,025	22.1	757	20.2					

(100)

図4 二次救急病院における救急車搬入内訳

(100)

3,744

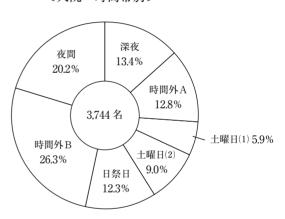
<外来・時間帯別>

4,647

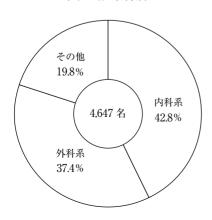
計

夜間 22.1% 17.2% 17.2% 17.2% 17.2% 18間外A 13.0% 18間外B 20.3% 日祭日 土曜日(2) 土曜日(1) 4.8% 14.6%

<入院・時間帯別>



<外来・診療科別>



<入院・診療科別>

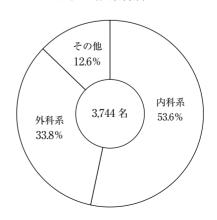


表 10 二次救急病院における病院別救急車搬入患者内訳

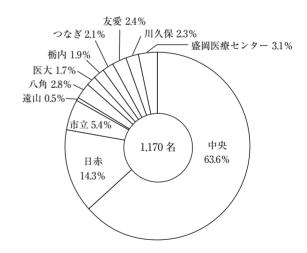
	深	夜	時間	外A	土曜	日 (1)	土曜	日 (2)	日务	₹ 目	時間	外B	夜	間	総	合
	患者数	比率	患者数	比率	患者数	比率	患者数	比率	患者数	比率	患者数	比率	患者数	比率	患者数	比率
中央病院	936	66.2	744	63.6	182	63.0	293	57.9	605	54.7	1,257	61.4	1,124	60.5	5,141	61.3
日 赤 病 院	165	11.7	167	14.3	55	19.0	82	16.2	212	19.2	283	13.8	243	13.1	1,207	14.4
市立病院	69	4.9	63	5.4	21	7.3	25	4.9	68	6.1	125	6.1	93	5.0	464	5.5
遠山病院	22	1.6	6	0.5	0	0.0	10	2.0	6	0.5	10	0.5	8	0.4	62	0.7
八角病院	21	1.5	33	2.8	6	2.1	11	2.2	21	1.9	45	2.2	41	2.2	178	2.1
岩手医大	42	3.0	20	1.7	2	0.7	12	2.4	27	2.4	58	2.8	71	3.8	232	2.8
栃 内 病 院	30	2.1	22	1.9	0	0.0	4	0.8	27	2.4	58	2.8	49	2.6	190	2.3
つなぎ温泉病院	29	2.1	24	2.1	2	0.7	8	1.6	18	1.6	38	1.9	35	1.9	154	1.8
友愛病院	27	1.9	28	2.4	8	2.8	12	2.4	25	2.3	50	2.4	59	3.2	209	2.5
川久保病院	25	1.8	27	2.3	0	0.0	11	2.2	32	2.9	29	1.4	32	1.7	156	1.9
盛岡医療センター	48	3.4	36	3.1	13	4.5	38	7.5	66	6.0	94	4.6	103	5.5	398	4.7
合 計	1,414	(100)	1,170	(100)	289	(100)	506	(100)	1,107	(100)	2,047	(100)	1,858	(100)	8,391	(100)

図5 二次救急病院における病院別、時間帯毎の救急車搬入内訳

< 深 夜 >

友愛 1.9% 川久保 1.8%
つなぎ 2.1%
栃内 2.1%
医大 3.0%
八角 1.5%
遠山 1.6%
日赤
11.7%
中央
66.2%

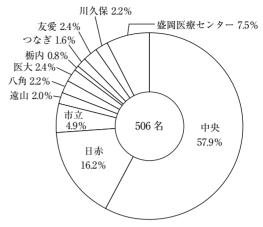
< 時間外 A >



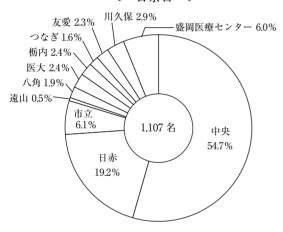
< 土曜日(1) >

つなぎ 0.7% 友愛 2.8% ・ -盛岡医療センター 4.5% 医大 0.7%、 八角 2.1% 市立 7.3% 289 名 中央 日赤 63.0% 19.0%

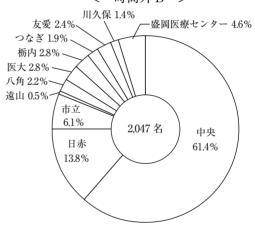
< 土曜日(2) >



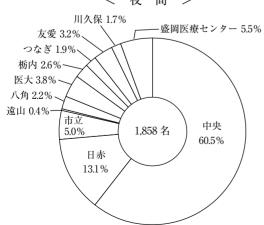
< 日祭日 >



< 時間外B >



< 夜 間 >



< 総 合 >

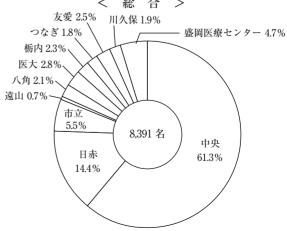


表 11 二次救急病院における外来・入院総合分布(系別による分類 I)

年 間 総	*4	総		合	月	平	均
平间心	奴	外 来	入 院	総 合	外 来	入 院	総合
	内科系	3,492	2,170	5,662	291.0	180.8	180.8
中 央 病 院	外科系	4,033	1,250	5,283	336.1	104.2	104.2
	その他	2,728	690	3,418	227.3	57.5	57.5
	内科系	724	315	1,039	60.3	26.3	26.3
日 赤 病 院	外科系	1,493	439	1,932	124.4	36.6	36.6
	その他	872	277	1,149	72.7	23.1	23.1
	内科系	539	135	674	44.9	11.3	11.3
市立病院	外科系	683	127	810	56.9	10.6	10.6
	その他	6	5	11	0.5	0.4	0.4
	内科系	76	50	126	6.3	4.2	4.2
遠山病院	外科系	27	3	30	2.3	0.3	0.3
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内科系	1,032	103	1,135	86.0	8.6	8.6
八角病院	外科系	325	16	341	27.1	1.3	1.3
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内科系	2,572	474	3,046	214.3	39.5	39.5
岩 手 医 大	外科系	2,563	282	2,845	213.6	23.5	23.5
	その他	845	219	1,064	70.4	18.3	18.3
	内科系	11	1	12	0.9	0.1	0.1
栃 内 病 院	外科系	873	68	941	72.8	5.7	5.7
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内科系	264	122	386	22.0	10.2	10.2
つなぎ温泉病院	外科系	1	0	1	0.1	0.0	0.0
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内科系	306	73	379	25.5	6.1	6.1
友 愛 病 院	外科系	130	11	141	10.8	0.9	0.9
	その他	125	18	143	10.4	1.5	1.5
	内科系	363	104	467	30.3	8.7	8.7
川久保病院	外科系	13	3	16	1.1	0.3	0.3
	その他	403	0	403	33.6	0.0	0.0
	内科系	191	74	265	15.9	6.2	6.2
盛岡医療センター	外科系	495	65	560	41.3	5.4	5.4
	その他	409	92	501	34.1	7.7	7.7
	内科系	9,570	3,621	13,191	797.5	301.8	301.8
合 計	外科系	10,636	2,264	12,900	886.3	188.7	188.7
	その他	5,388	1,301	6,689	449.0	108.4	108.4
総 合 計		25,594	7,186	32,780	2,132.8	598.8	598.8
н				1日平均	70.1	19.7	19.7

表 12 二次救急病院における来院患者の総合分布(系別による分類Ⅱ)

病院名	内 和	斗 系	外科	斗 系	その他		
	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率	
中央病院	5,662	42.9	55,283	41.0	3,418	51.1	
日 赤 病 院	1,039	7.9	1,932	15.0	1,149	17.2	
市立病院	674	5.1	810	6.3	11	0.2	
遠山病院	126	1.0	30	0.2	0	0.0	
八角病院	1,135	8.6	341	2.6	0	0.0	
岩手医大	3,046	23.1	2,845	22.1	1,064	15.9	
栃 内 病 院	12	0.1	941	7.3	0	0.0	
つなぎ温泉病院	386	2.9	1	0.01	0	0.0	
友 愛 病 院	379	2.9	141	1.1	143	2.1	
川久保病院	467	3.5	16	0.1	403	6.0	
盛岡医療センター	265	2.0	560	4.3	501	7.5	
合 計	13,191	(100)	12,900	(100)	6,689	(100)	

図6 二次救急医療病院における来院患者の総合分布(系別による分類)

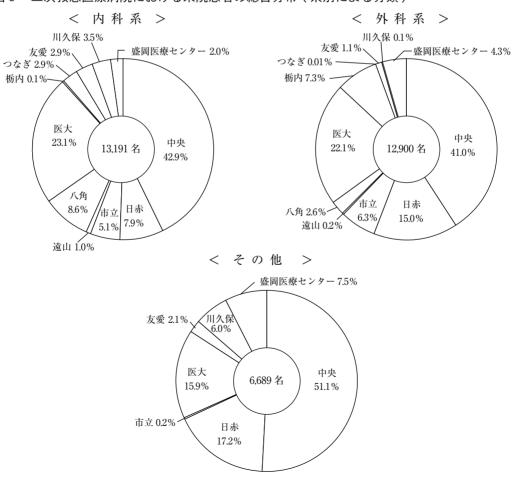


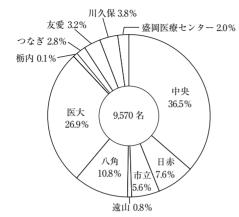
表 13 二次救急病院における来院患者の総合分布(系別による分類Ⅱ)

	外来							入		院		
病院名	内和	斗系	外乖	斗 系	その	他	内≉	上系	外乖	- 系	その	他
	患者数	比率	患者数	比率	患者数	比率	患者数	比率	患者数	比率	患者数	比率
中央病院	3,492	36.5	4,033	37.9	2,728	50.6	2,170	59.9	1,250	55.2	690	53.0
日赤病院	724	7.6	1,493	14.0	872	16.2	315	8.7	439	19.4	277	21.3
市立病院	539	5.6	683	6.4	6	0.1	135	3.7	127	5.6	5	0.4
遠山病院	76	0.8	27	0.3	0	0.0	50	1.4	3	0.1	0	0.0
八角病院	1,032	10.8	325	3.1	0	0.0	103	2.8	16	0.7	0	0.0
岩手医大	2,572	26.9	2,563	24.1	845	15.7	474	13.1	282	12.5	219	16.8
栃内病院	11	0.1	873	8.2	0	0.0	1	0.03	68	3.0	0	0.0
つなぎ温泉病院	264	2.8	1	0.01	0	0.0	122	3.4	0	0.0	0	0.0
友愛病院	306	3.2	130	1.2	125	2.3	73	2.0	11	0.5	18	1.4
川久保病院	363	3.8	13	0.1	403	7.5	104	2.9	3	0.1	0	0.0
盛岡医療センター	191	2.0	495	4.7	409	7.6	74	2.0	65	2.9	92	7.1
合 計	9,570	(100)	10,636	(100)	5,388	(100)	3,621	(100)	2,264	(100)	1,301	(100)

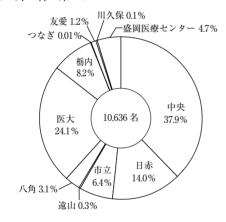
図7 二次救急病院における来院患者の外来・入院病院別分布

<外来分布>

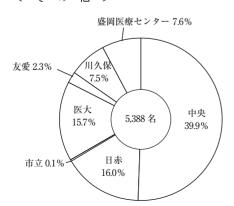
< 内 科 系 >



< 外 科 系 >

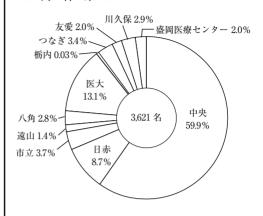


< そ の 他 >

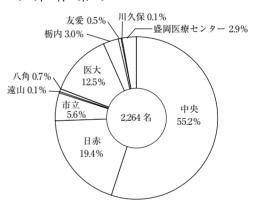


< 入院分布>

< 内 科 系 >



< 外 科 系 >



< その他 >

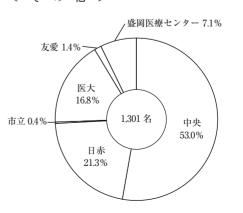
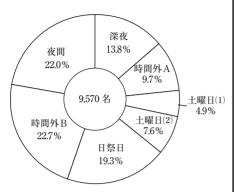


表 14 二次救急病院における来院患者の外来・入院時間別分布

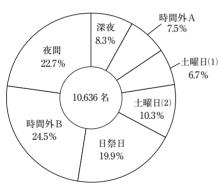
		外	来	入	院
		患 者 数	比 率	患 者 数	比 率
	深夜	1,322	13.8	444	12.3
	時 間 外 A	927	9.7	422	11.7
内	土 曜 日(1)	466	4.9	270	7.5
科	土 曜 日 (2)	730	7.6	345	9.5
17	日 祭 日	1,849	19.3	548	15.1
系	時 間 外 B	2,169	22.7	940	26.0
	夜 間	2,107	22.0	652	18.0
	計	9,570	100	3,621	100
	深夜	888	8.3	268	11.8
	時 間 外 A	803	7.5	218	9.6
外	土 曜 日(1)	712	6.7	192	8.5
科	土 曜 日(2)	1,094	10.3	267	11.8
17	日 祭 日	2,112	19.9	333	14.7
系	時 間 外B	2,608	24.5	583	25.8
l ,	夜 間	2,419	22.7	403	17.8
	計	10,636	100	2,264	100
	深夜	694	12.9	196	15.1
	時 間 外A	375	7.0	95	7.3
そ	土 曜 日(1)	295	5.5	91	7.0
の	土 曜 日 (2)	544	10.1	121	9.3
	日 祭 日	1,191	22.1	167	12.8
他	時 間 外B	1,145	21.3	310	23.8
	夜 間	1,144	21.2	321	24.7
	計	5,388	100	1,301	100
	総 計	25,594		7,186	

<外来分布>

< 内 科 系 >



< 外 科 系 >



< その他 >



< 入院分布>

< 内 科 系 >



< 外 科 系 >



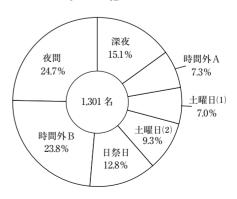


図9 二次救急病院における時間帯別外来患者比率

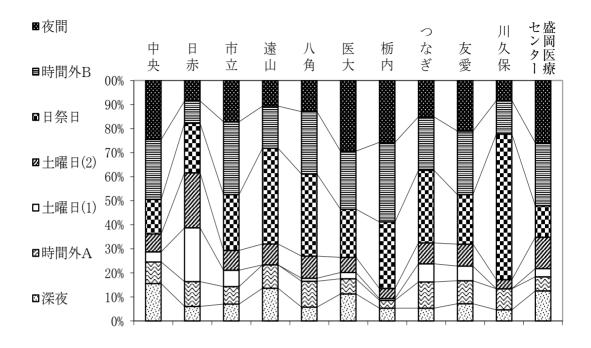


図 10 二次救急病院における時間帯別入院患者比率

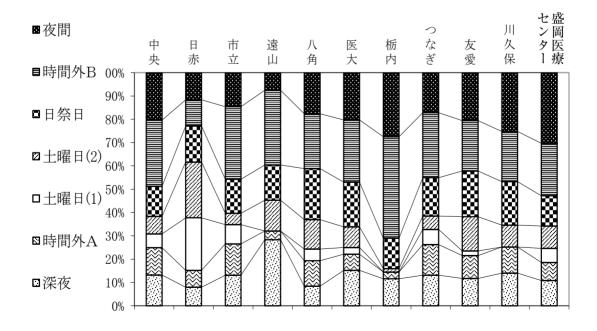


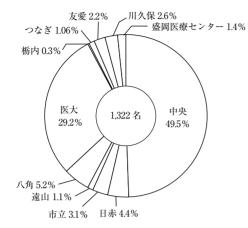
表 15 二次救急病院の外来・入院分布 (深夜)

深夜	2021.1 ~	総		合	月	平	均
$(AM0 \sim AM6)$	2021.12	外 来	入 院	総合	外来	入 院	総合
	内 科 系	655	268	923	54.6	22.3	76.9
中央病院	外科系	465	158	623	38.8	13.2	51.9
	その他	472	116	588	39.3	9.7	49.0
	内 科 系	58	21	79	4.8	1.8	6.6
日 赤 病 院	外科系	103	37	140	8.6	3.1	11.7
	その他	26	24	50	2.2	2.0	4.2
	内 科 系	41	18	59	3.4	1.5	4.9
市立病院	外科系	45	17	62	3.8	1.4	5.2
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	14	13	27	1.2	1.1	2.3
遠 山 病 院	外科系	0	2	2	0.0	0.2	0.2
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	69	9	78	5.8	0.8	6.5
八角病院	外科系	9	1	10	0.8	0.1	0.8
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	386	69	455	32.2	5.8	37.9
岩 手 医 大	外科系	196	42	238	16.3	3.5	19.8
	その他	91	37	128	7.6	3.1	10.7
	内 科 系	4	0	4	0.3	0.0	0.3
栃 内 病 院	外科系	43	8	51	3.6	0.7	4.3
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	14	16	30	1.2	1.3	2.5
つなぎ温泉病院	外科系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	29	8	37	2.4	0.7	3.1
友 愛 病 院	外科系	3	1	4	0.3	0.1	0.3
	その他	8	3	11	0.7	0.3	0.9
	内 科 系	34	15	49	2.8	1.3	4.1
川久保病院	外科系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	その他	2	0	2	0.2	0.0	0.2
	内科系	18	7	25	1.5	0.6	2.1
盛岡医療センター	外科系	24	2	26	2.0	0.2	2.2
	その他	95	16	111	7.9	1.3	9.3
	内 科 系	1,322	444	1,766	110.2	37.0	147.2
合 計	外科系	888	268	1,156	74.0	22.3	96.3
	その他	694	196	890	57.8	16.3	74.2
総 合 計		2,904	908	3,812	242.0	75.7	317.7
				1日平均	8.0	2.5	10.4

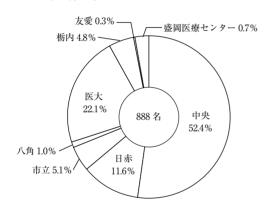
図 11 二次救急病院の外来・入院分布 (深夜)

<外来分布>

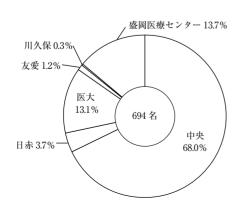
< 内 科 系 >



< 外 科 系 >

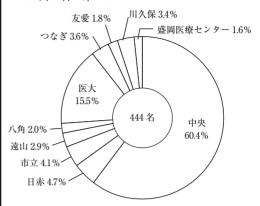


< そ の 他 >

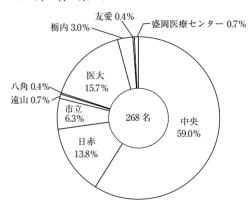


< 入院分布>

< 内 科 系 >



< 外 科 系 >



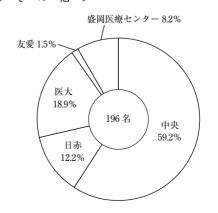
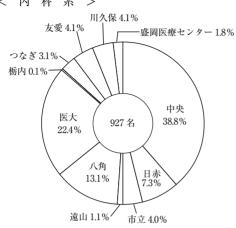


表 16 二次救急病院の外来・入院分布 (時間外A)

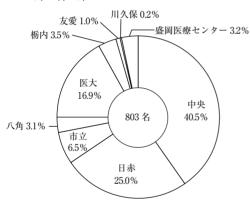
時間外A	2021.1 ~	総		合	月	平	均
$(AM6 \sim AM9)$	2021.12	外 来	入 院	総 合	外 来	入 院	総 合
	内 科 系	360	302	662	30.0	25.2	55.2
中央病院	外科系	325	142	467	27.1	11.8	38.9
	その他	239	39	278	19.9	3.3	23.2
	内 科 系	68	21	89	5.7	1.8	7.4
日 赤 病 院	外科系	201	32	233	16.8	2.7	19.4
	その他	49	22	71	4.1	1.8	5.9
	内 科 系	37	17	54	3.1	1.4	4.5
市立病院	外科系	52	18	70	4.3	1.5	5.8
	その他	0	1	1	0.0	0.1	0.1
	内 科 系	10	2	12	0.8	0.2	1.0
遠 山 病 院	外科系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	121	12	133	10.1	1.0	11.1
八角病院	外科系	25	1	26	2.1	0.1	2.2
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	208	28	236	17.3	2.3	19.7
岩 手 医 大	外科系	136	17	153	11.3	1.4	12.8
	その他	30	23	53	2.5	1.9	4.4
	内 科 系	1	0	1	0.1	0.0	0.1
栃 内 病 院	外 科 系	28	2	30	2.3	0.2	2.5
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	29	16	45	2.4	1.3	3.8
つなぎ温泉病院	外科系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	38	6	44	3.2	0.5	3.7
友 愛 病 院	外科系	8	0	8	0.7	0.0	0.7
	その他	8	4	12	0.7	0.3	1.0
	内 科 系	38	11	49	3.2	0.9	4.1
川久保病院	外科系	2	1	3	0.2	0.1	0.3
	その他	28	0	28	2.3	0.0	2.3
	内 科 系	17	7	24	1.4	0.6	2.0
盛岡医療センター	外科系	26	5	31	2.2	0.4	2.6
	その他	21	6	27	1.8	0.5	2.3
	内 科 系	927	422	1,349	77.3	35.2	112.4
合 計	外科系	803	218	1,021	66.9	18.2	85.1
	その他	375	95	470	31.3	7.9	39.2
総 合 計		2,105	735	2,840	175.4	61.3	236.7
				1日平均	5.8	2.0	7.8

<外来分布>

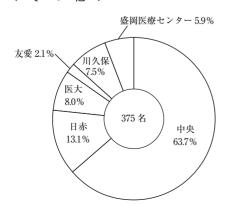
< 内 科 系 >



< 外 科 系 >

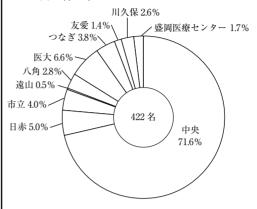


< そ の 他 >



<入院分布>

< 内 科 系 >



< 外 科 系 >

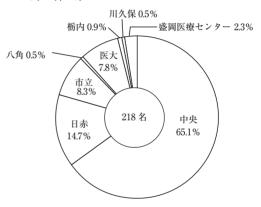




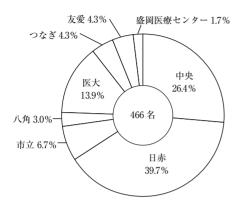
表 17 二次救急病院の外来・入院分布(土曜日(1))

土曜日 (1)	2021.1 ~	総		合	月	平	均
$(AM9 \sim PM0)$	2021.12	外 来	入 院	総合	外 来	入 院	総 合
	内 科 系	123	144	267	10.3	12.0	22.3
中 央 病 院	外科系	198	66	264	16.5	5.5	22.0
	その他	108	31	139	9.0	2.6	11.6
	内 科 系	185	81	266	15.4	6.8	22.2
日 赤 病 院	外科系	355	103	458	29.6	8.6	38.2
	その他	151	48	199	12.6	4.0	16.6
	内 科 系	31	14	45	2.6	1.2	3.8
市立病院	外科系	51	8	59	4.3	0.7	4.9
	その他	2	0	2	0.2	0.0	0.2
	内 科 系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
遠 山 病 院	外科系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	14	6	20	1.2	0.5	1.7
八角病院	外科系	3	0	3	0.3	0.0	0.3
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	65	13	78	5.4	1.1	6.5
岩 手 医 大	外科系	68	9	77	5.7	0.8	6.4
	その他	22	6	28	1.8	0.5	2.3
	内 科 系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
栃 内 病 院	外科系	6	0	6	0.5	0.0	0.5
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	20	8	28	1.7	0.7	2.3
つなぎ温泉病院	外科系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	20	2	22	1.7	0.2	1.8
友 愛 病 院	外科系	10	0	10	0.8	0.0	0.8
	その他	4	0	4	0.3	0.0	0.3
	内 科 系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
川久保病院	外科系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	8	2	10	0.7	0.2	0.8
盛岡医療センター	外科系	21	6	27	1.8	0.5	2.3
	その他	8	6	14	0.7	0.5	1.2
	内 科 系	466	270	736	38.8	22.5	61.3
合 計	外科系	712	192	904	59.3	16.0	75.3
	その他	295	91	386	24.6	7.6	32.2
総 合 計		1,473	553	2,026	122.8	46.1	168.8
AND IN IN				1日平均	4.0	1.5	5.6

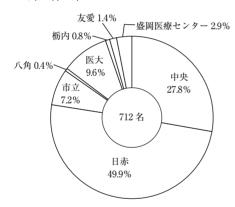
図 13 二次救急病院の外来・入院分布(土曜日(1))

<外来分布>

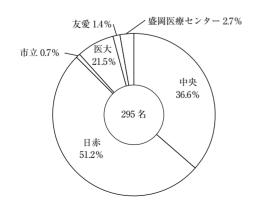
< 内 科 系 >



< 外 科 系 >

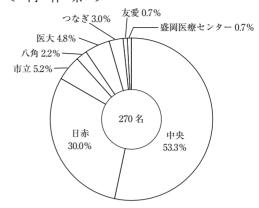


< そ の 他 >

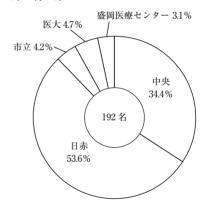


< 入院分布>

< 内 科 系 >



< 外 科 系 >



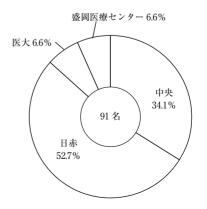


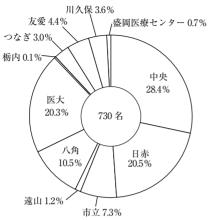
表 18 二次救急病院の外来・入院分布(土曜日(2))

土曜日 (2)	2021.1 ~	総		合	月	平	均
$(PM0 \sim PM5)$	2021.12	外 来	入 院	総 合	外 来	入 院	総 合
	内 科 系	207	167	374	17.3	13.9	31.2
中央病院	外科系	343	93	436	28.6	7.8	36.3
	その他	214	50	264	17.8	4.2	22.0
	内 科 系	150	80	230	12.5	6.7	19.2
日 赤 病 院	外 科 系	338	114	452	28.2	9.5	37.7
	その他	219	53	272	18.3	4.4	22.7
	内 科 系	53	7	60	4.4	0.6	5.0
市立病院	外科系	47	6	53	3.9	0.5	4.4
	その他	1	0	1	0.1	0.0	0.1
	内 科 系	9	7	16	0.8	0.6	1.3
遠山病院	外科系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	77	12	89	6.4	1.0	7.4
八角病院	外科系	48	3	51	4.0	0.3	4.3
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	148	42	190	12.3	3.5	15.8
岩 手 医 大	外科系	184	36	220	15.3	3.0	18.3
	その他	46	8	54	3.8	0.7	4.5
	内 科 系	1	0	1	0.1	0.0	0.1
栃 内 病 院	外科系	36	1	37	3.0	0.1	3.1
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	22	7	29	1.8	0.6	2.4
つなぎ温泉病院	外 科 系	1	0	1	0.1	0.0	0.1
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	32	9	41	2.7	0.8	3.4
友 愛 病 院	外科系	8	4	12	0.7	0.3	1.0
	その他	11	2	13	0.9	0.2	1.1
	内 科 系	26	10	36	2.2	0.8	3.0
川久保病院	外科系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	その他	4	0	4	0.3	0.0	0.3
	内 科 系	5	4	9	0.4	0.3	0.8
盛岡医療センター	外科系	89	10	99	7.4	0.8	8.3
	その他	49	8	57	4.1	0.7	4.8
	内 科 系	730	345	1,075	60.8	28.8	89.6
合 計	外科系	1,094	267	1,361	91.2	22.3	113.4
	その他	544	121	665	45.3	10.1	55.4
総 合 計		2,368	733	3,101	197.3	61.1	258.4
эю H H				1日平均	6.5	2.0	8.5

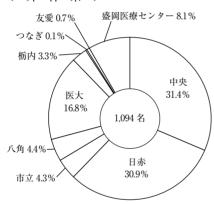
図 14 二次救急病院の外来・入院分布(土曜日(2))

<外来分布>

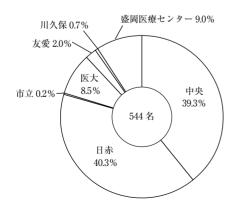
< 内 科 系 >



< 外 科 系 >

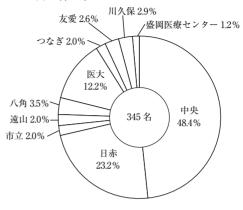


< そ の 他 >

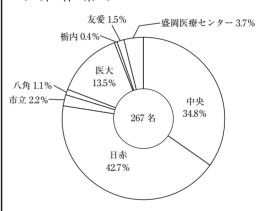


< 入院分布>

< 内 科 系 >



< 外 科 系 >



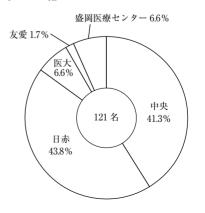
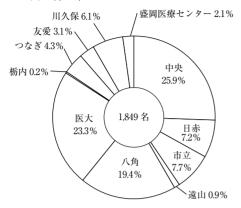


表 19 二次救急病院の外来・入院分布 (日祭日)

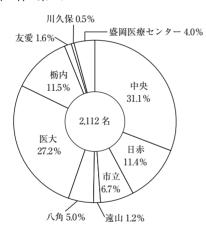
日 祭 日	2021.1 ~	総		合	月	平	均
$(AM9 \sim PM5)$	2021.12	外 来	入 院	総 合	外 来	入 院	総合
	内 科 系	478	293	771	39.8	24.4	64.3
中央病院	外科系	657	178	835	54.8	14.8	69.6
	その他	338	59	397	28.2	4.9	33.1
	内 科 系	133	36	169	11.1	3.0	14.1
日 赤 病 院	外科系	241	57	298	20.1	4.8	24.8
	その他	263	66	329	21.9	5.5	27.4
	内 科 系	143	18	161	11.9	1.5	13.4
市立病院	外科系	141	19	160	11.8	1.6	13.3
	その他	1	2	3	0.1	0.2	0.3
	内 科 系	16	8	24	1.3	0.7	2.0
遠 山 病 院	外科系	25	0	25	2.1	0.0	2.1
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	358	22	380	29.8	1.8	31.7
八角病院	外科系	105	4	109	8.8	0.3	9.1
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	431	102	533	35.9	8.5	44.4
岩 手 医 大	外科系	574	52	626	47.8	4.3	52.2
	その他	193	33	226	16.1	2.8	18.8
	内 科 系	3	0	3	0.3	0.0	0.3
栃 内 病 院	外科系	242	9	251	20.2	0.8	20.9
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	80	20	100	6.7	1.7	8.3
つなぎ温泉病院	外科系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	57	16	73	4.8	1.3	6.1
友 愛 病 院	外科系	33	2	35	2.8	0.2	2.9
	その他	26	2	28	2.2	0.2	2.3
	内 科 系	112	19	131	9.3	1.6	10.9
川久保病院	外科系	10	1	11	0.8	0.1	0.9
	その他	349	0	349	29.1	0.0	29.1
	内 科 系	38	14	52	3.2	1.2	4.3
盛岡医療センター	外科系	84	11	95	7.0	0.9	7.9
	その他	21	5	26	1.8	0.4	2.2
	内 科 系	1,849	548	2,397	154.1	45.7	199.8
合 計	外科系	2,112	333	2,445	176.0	27.8	203.8
	その他	1,191	167	1,358	99.3	13.9	113.2
総 合 計		5,152	1,048	6,200	429.3	87.3	516.7
				1日平均	14.1	2.9	17.0

<外来分布>

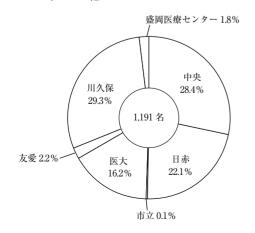
< 内 科 系 >



< 外 科 系 >

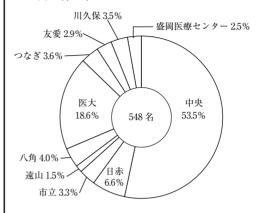


< そ の 他 >

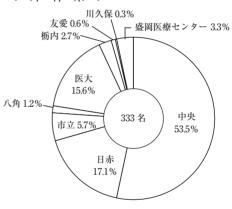


<入院分布>

< 内 科 系 >



< 外 科 系 >



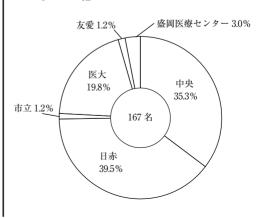
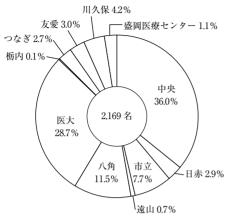


表 20 二次救急病院の外来・入院分布 (時間外 B)

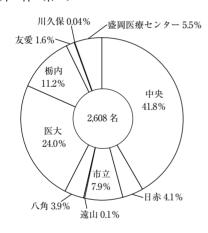
時間外B	2021.1 ~	総		合	月	平	均
$(PM5 \sim PM8)$	2021.12	外 来	入 院	総 合	外 来	入 院	総 合
	内 科 系	781	601	1,382	65.1	50.1	115.2
中央病院	外 科 系	1,089	371	1,460	90.8	30.9	121.7
	その他	683	196	879	56.9	16.3	73.3
	内 科 系	62	37	99	5.2	3.1	8.3
日 赤 病 院	外科系	108	40	148	9.0	3.3	12.3
	その他	116	39	155	9.7	3.3	12.9
	内 科 系	167	48	215	13.9	4.0	17.9
市立病院	外科系	205	34	239	17.1	2.8	19.9
	その他	0	1	1	0.0	0.1	0.1
	内 科 系	16	17	33	1.3	1.4	2.8
遠 山 病 院	外科系	2	0	2	0.2	0.0	0.2
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内科系	250	24	274	20.8	2.0	22.8
八角病院	外科系	102	4	106	8.5	0.3	8.8
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内科系	623	121	744	51.9	10.1	62.0
岩 手 医 大	外科系	626	83	709	52.2	6.9	59.1
	その他	196	56	252	16.3	4.7	21.0
	内 科 系	2	0	2	0.2	0.0	0.2
栃 内 病 院	外科系	291	30	321	24.3	2.5	26.8
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	59	34	93	4.9	2.8	7.8
つなぎ温泉病院	外 科 系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	65	18	83	5.4	1.5	6.9
友 愛 病 院	外科系	41	1	42	3.4	0.1	3.5
	その他	42	3	45	3.5	0.3	3.8
	内 科 系	92	22	114	7.7	1.8	9.5
川久保病院	外 科 系	1	1	2	0.1	0.1	0.2
	その他	16	0	16	1.3	0.0	1.3
	内 科 系	52	18	70	4.3	1.5	5.8
盛岡医療センター	外科系	143	19	162	11.9	1.6	13.5
	その他	92	15	107	7.7	1.3	8.9
	内 科 系	2,169	940	3,109	180.8	78.3	259.1
合 計	外科系	2,608	583	3,191	217.3	48.6	265.9
	その他	1,145	310	1,455	95.4	25.8	121.3
総 合 計		5,922	1,833	7,755	493.5	152.8	646.3
ът Ц Ц				1日平均	16.2	5.0	21.2

<外来分布>

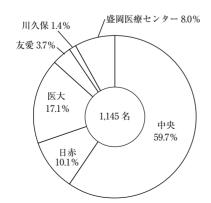
< 内 科 系 >



< 外 科 系 >

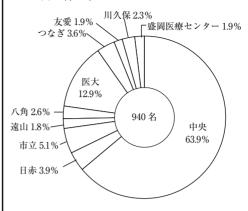


< そ の 他 >

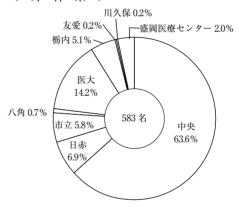


< 入院分布>

< 内 科 系 >



< 外 科 系 >



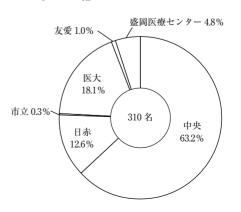
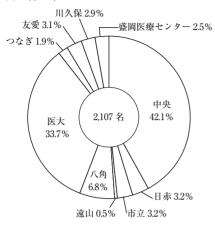


表 21 二次救急病院の外来・入院分布(夜間)

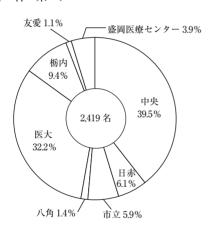
夜 間	2021.1 ~	総		合	月	平	均
$(PM8 \sim PM12)$	2021.12	外 来	入 院	総 合	外 来	入 院	総 合
	内 科 系	888	395	1,283	74.0	32.9	106.9
中 央 病 院	外科系	956	242	1,198	79.7	20.2	99.8
	その他	674	199	873	56.2	16.6	72.8
	内 科 系	68	39	107	5.7	3.3	8.9
日 赤 病 院	外科系	147	56	203	12.3	4.7	16.9
	その他	48	25	73	4.0	2.1	6.1
	内 科 系	67	13	80	5.6	1.1	6.7
市立病院	外科系	142	25	167	11.8	2.1	13.9
	その他	2	1	3	0.2	0.1	0.3
	内 科 系	11	3	14	0.9	0.3	1.2
遠 山 病 院	外科系	0	1	1	0.0	0.1	0.1
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	143	18	161	11.9	1.5	13.4
八角病院	外科系	33	3	36	2.8	0.3	3.0
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	711	99	810	59.3	8.3	67.5
岩手医大	外科系	779	43	822	64.9	3.6	68.5
	その他	267	56	323	22.3	4.7	26.9
	内 科 系	0	1	1	0.0	0.1	0.1
栃 内 病 院	外科系	227	18	245	18.9	1.5	20.4
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	40	21	61	3.3	1.8	5.1
つなぎ温泉病院	外科系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	65	14	79	5.4	1.2	6.6
友 愛 病 院	外科系	27	3	30	2.3	0.3	2.5
	その他	26	4	30	2.2	0.3	2.5
	内 科 系	61	27	88	5.1	2.3	7.3
川久保病院	外科系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	その他	4	0	4	0.3	0.0	0.3
	内 科 系	53	22	75	4.4	1.8	6.3
盛岡医療センター	外科系	108	12	120	9.0	1.0	10.0
	その他	123	36	159	10.3	3.0	13.3
	内科系	2,107	652	2,759	175.6	54.3	229.9
合 計	外科系	2,419	403	2,822	201.6	33.6	235.2
	その他	1,144	321	1,465	95.3	26.8	122.1
総 合 計		5,670	1,376	7,046	472.5	114.7	587.2
				1日平均	15.5	3.8	19.3

<外来分布>

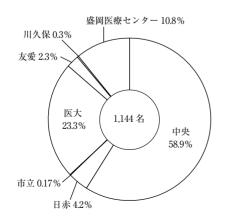
< 内 科 系 >



< 外 科 系 >

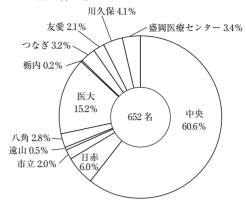


< そ の 他 >

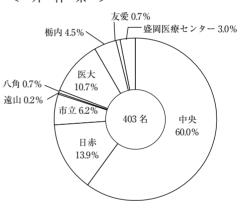


<入院分布>

< 内 科 系 >



< 外 科 系 >



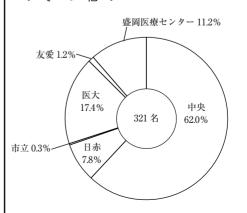


表 22 盛岡地区二次救急患者動態(前年との比較)

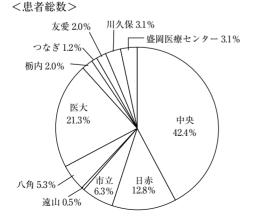
岸 险 夕	外来息	是者数	入院患	是者数	救急車搬	入患者数	総	数
病院名	令和2年	令和3年	令和2年	令和3年	令和2年	令和3年	令和2年	令和3年
中央病院	11,021	10,253	3,817	4,110	4,692	5,141	14,838	14,363
日赤病院	3,378	3,089	1,092	1,031	1,130	1,207	4,470	4,120
市立病院	1,775	1,228	449	267	643	464	2,224	1,495
遠山病院	133	103	36	53	42	62	169	156
八角病院	1,764	1,357	105	119	159	178	1,869	1,476
岩手医大	6,525	5,980	936	975	221	232	7,461	6,955
高松病院	8		9	ı	13	-	17	_
栃内病院	635	884	74	69	119	190	709	953
つなぎ温泉病院	313	265	113	122	110	154	426	387
友愛病院	611	561	80	102	168	209	691	663
川久保病院	950	779	120	107	151	156	1,070	886
盛岡医療センター	873	1,095	218	231	312	398	1,091	1,326
合 計	27,986	25,594	7,049	7,186	7,760	8,391	35,035	32,780

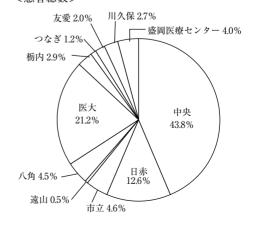
(高度救命救急センターに搬送した例はすべて三次救急としたため、このデータには含まれていない。)

図 18 二次救急患者病院別分布(前年との比較)

<令和2年>

<患者総数>



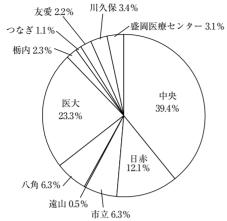


<令和3年>

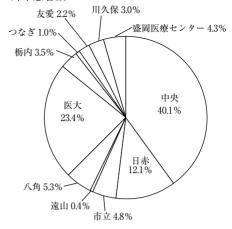
<令和2年>

<令和3年>

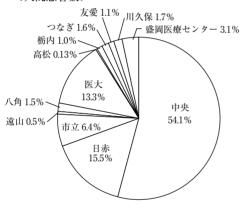
<外来患者数>



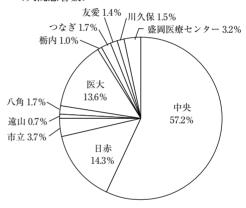
<外来患者数>



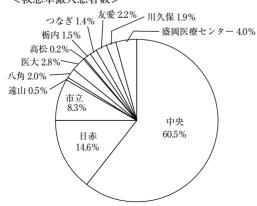
<入院患者数>



<入院患者数>



<救急車搬入患者数>



<救急車搬入患者数>

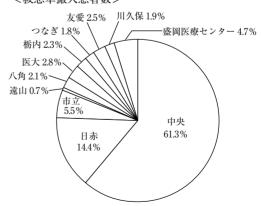
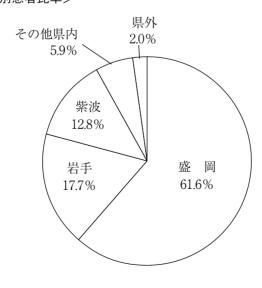


表 23 市町村別二次救急患者動態

市	町 村	外 来	入 院	合 計
盛	岡	15,930	4,262	20,192
雫	石	605	268	873
葛	巻	31	34	65
岩	手	614	216	830
滝	沢	2,127	615	2,742
紫	波	1,854	439	2,293
矢	ф	1,597	315	1,912
八	幡平	987	307	1,294
その	他県内	1,330	592	1,922
県	外	519	138	657
合	計	25,594	7,186	32,780

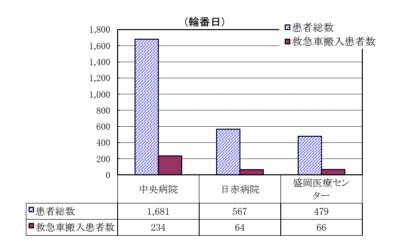
図 19 〈地区別患者比率〉

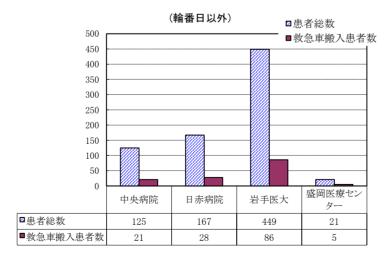


小児救急病院群輪番制 22 年目のまとめ

図20~22および表24~27に小児救急病院別の輪番日の受診者数と輪番日以外の受診者数、各病院別受診者数を示す。小児救急患者の総数は3,489名で、前年比50名の減少であった。うち救急車搬入患者数は504名(14.4%)でこちらは前年比93名の増となった。輪番日の受診者数は2,727名(総数の78.2%)、救急車搬入数364名(輪番日受診者の13.3%)、1コマ単位平均5.57人であった。輪番日以外の受診者数は762名(総数の21.8%)、救急車搬入数140名(輪番日以外受診者の18.4%)、1コマ単位平均0.39人であった。病院別では、総数では中央病院が1,806名(51.8%)と最も多く、入院を必要とした患者は平均1.4人であった。

図 20 病院患者総数





※岩手医大は新型コロナウイルス感染症対策の為、輪番を辞退 輪番日以外は集計を継続

表 24 小児救急患者病院別合計表(輪番日)

令和3年1月~令和3年12月

مغر	虚 陸		外	来		入	院			ŕ	総	数		
病	院		患者数	比	率	患者数	比	率	患者数	比	率	うち救急車 搬入患者数	比	率
中 央	病	院	1,369		61.8	312		61.2	1,681		61.6	234		64.3
日 赤	病	院	455		20.5	112		22.0	567		20.8	64		17.6
盛岡医療	・センタ・	_	393		17.7	86		16.9	479		17.6	66		18.1
合	Ī	計	2,217		100	510		100	2,727		100	364		100

表 25 1 コマあたりの病院別小児救急患者数 (輪番日)

令和3年1月~令和3年12月

病院	外来	入 院	合	計	
7内 元	患 者 数	患 者 数	患者数	うち救急車搬入患者数	
中 央 病 院	5.55	1.27	6.82	0.95	
日 赤 病 院	3.23	0.80	4.04	0.46	
盛岡医療センター	3.82	0.84	4.67	0.64	
平 均	4.52	1.05	5.57	0.74	

※岩手医大は新型コロナウイルス感染症対策の為、輪番を辞退 輪番日以外は集計を継続

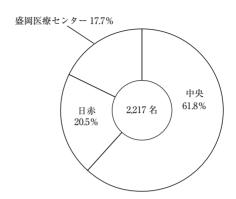
図 21 小児救急病院別患者比率(輪番日)

<総患者比率>

盛岡医療センター 17.6% 中央 61.6%

20.8%

<外来患者比率>



<入院患者比率>

盛岡医療センター 16.9% 日赤 22.0% 510 名 61.2%

<救急車搬入患者比率>

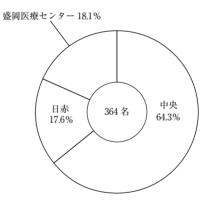


表 26 小児救急患者病院別合計表(輪番日以外)

令和3年1月~令和3年12月

*	病 院		à	外	来	入	院		総	数	
				患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率	うち救急車 搬入患者数	比 率
中	央	病	院	85	16.0	40	17.4	125	16.4	21	15.0
日	赤	病	院	110	20.7	57	24.8	167	21.9	28	20.0
岩	手	医	大	321	60.3	128	55.7	449	58.9	86	61.4
盛岡	医療	セン	ター	16	3.0	5	2.2	21	2.8	5	3.6
合			計	532	100	230	100	762	100	140	100

表 27 1 コマあたりの病院別小児救急患者数 (輪番日以外)

令和3年1月~令和3年12月

病	院	外 来 患 者 数	入 院 患 者 数	合 患者数	計 うち救急車搬入患者数
中央	病院	0.35	0.17	0.52	0.09
日 赤	病院	0.32	0.16	0.48	0.08
岩 手	医 大	0.66	0.26	0.92	0.18
盛岡医療・	センター	0.04	0.01	0.05	0.01
平	均	0.27	0.12	0.39	0.07

※岩手医大は新型コロナウイルス感染症対策の為、輪番を辞退

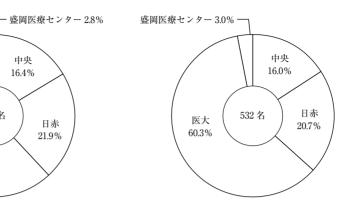
輪番日以外は集計を継続

図 22 小児救急病院別患者比率(輪番日以外)

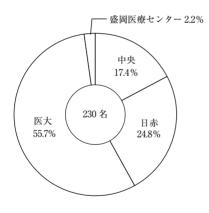
<総患者比率>

中央 16.4% 762 名 医大 日赤 58.9% 21.9%

<外来患者比率>



<入院患者比率>



<救急車搬入患者比率>

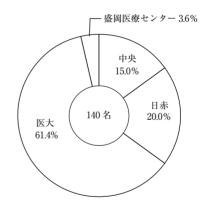


表 28 小児救急患者市町村別合計表(輪番日)

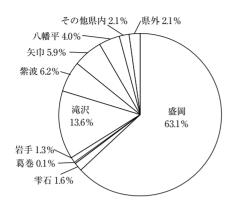
市	町村	外	来	入	院	総	数
111	ሥ J ለግ	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率
盛	岡	1,416	63.9	306	60.0	1,722	63.1
雫	石	33	1.5	11	2.2	44	1.6
葛	巻	3	0.1	0	0.0	3	0.1
岩	手	26	1.2	10	2.0	36	1.3
滝	沢	296	13.4	75	14.7	371	13.6
紫	波	140	6.3	30	5.9	170	6.2
矢	巾	124	5.6	36	7.1	160	5.9
八	幡 平	98	4.4	12	2.4	110	4.0
小	計	2,136	96.3	480	94.1	2,616	95.9
70	つ他県内	41	1.8	16	3.1	57	2.1
県	外	40	1.8	14	2.7	54	2.0
合	計	2,217	100	510	100	2,727	100

表 29 1コマあたりの市町村別小児救急患者数(輪番日)

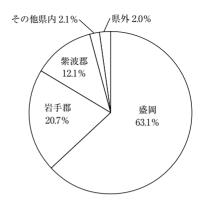
4-	町村	外	来	入	院	合	計
市	町 村	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率
盛	岡	2.89	63.9	0.63	60.1	3.52	63.2
雫	石	0.07	1.5	0.02	2.2	0.09	1.6
葛	卷	0.01	0.1	0.00	0.0	0.01	0.1
岩	手	0.05	1.2	0.02	1.9	0.07	1.3
滝	沢	0.60	13.4	0.15	14.7	0.76	13.6
紫	波	0.29	6.3	0.06	5.9	0.35	6.3
矢	巾	0.25	5.6	0.07	7.0	0.33	5.8
八	幡 平	0.20	4.4	0.02	2.3	0.22	4.0
小	計	4.36	96.4	0.99	94.2	5.35	96.0
70)他県内	0.08	1.8	0.03	3.1	0.12	2.1
県	外	0.08	1.8	0.03	2.7	0.11	2.0
合	計	4.52	100	1.05	100	5.57	100

図 23 小児救急市町村別患者比率(輪番日) 図 24 小児救急郡市別患者比率(輪番日)

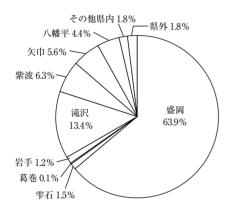
<総患者比率>



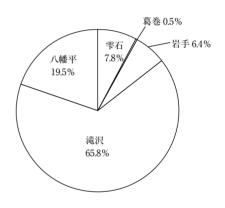
<地区別患者比率>



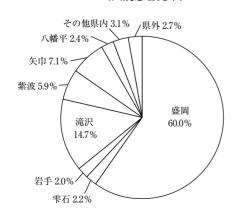
<外来患者比率>



<岩手郡患者比率>



<入院患者比率>



<紫波郡患者比率>

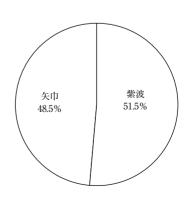


表 30 小児救急患者市町村別合計表 (輪番日以外)

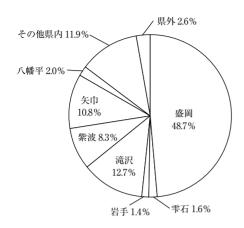
市	町村	外	来	入	院	総	数
111	叫」「们	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率
盛	岡	268	50.4	103	44.8	371	48.7
雫	石	12	2.3	0	0.0	12	1.6
葛	巻	0	0.0	0	0.0	0	0.0
岩	手	9	1.7	2	0.9	11	1.4
滝	沢	67	12.6	30	13.0	97	12.7
紫	波	47	8.8	16	7.0	63	8.3
矢	Щ	69	13.0	13	5.7	82	10.8
八	幡 平	9	1.7	6	2.6	15	2.0
小	計	481	90.4	170	73.9	651	85.4
70)他県内	38	7.1	53	23.0	91	11.9
県	外	13	2.4	7	3.0	20	2.6
合	計	532	100	230	100	762	100

表 31 1コマあたりの市町村別小児救急患者数(輪番日以外)

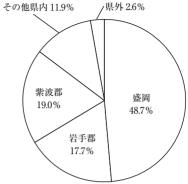
市	町 村	外	来	入	院	合	計
	ሥ ጋ	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率
盛	岡	0.14	50.3	0.05	44.6	0.19	48.6
雫	石	0.01	2.2	0.00	0.0	0.01	1.5
葛	巻	0.0	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0
岩	手	0.005	1.7	0.001	0.9	0.01	1.4
滝	沢	0.03	12.7	0.02	13.1	0.05	12.8
紫	波	0.02	8.9	0.01	7.1	0.03	8.3
矢	巾	0.04	12.9	0.01	5.7	0.04	10.7
八	幡 平	0.005	1.7	0.003	2.7	0.01	2.0
小	計	0.247	90.4	0.09	73.9	0.33	85.4
その	つ他県内	0.02	7.2	0.03	23.1	0.05	12.0
県	外	0.01	2.4	0.004	3.0	0.01	2.6
合	計	0.27	100	0.12	100	0.39	100

図 25 小児救急市町村別患者比率(輪番日以外) 図 26 小児救急郡市別患者比率(輪番日以外)

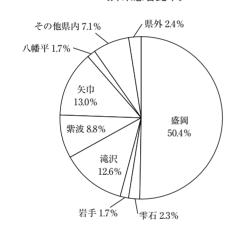
<総患者比率>



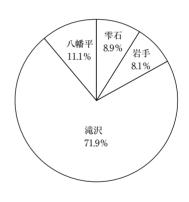
<地区別患者比率>



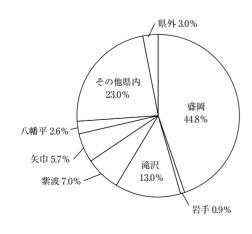
<外来患者比率>



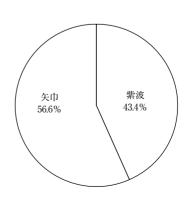
<岩手郡患者比率>



<入院患者比率>



<紫波郡患者比率>



2. 経過報告

令和3年 1月19日(火) 第194回小児救急電話相談事業事例検討会 26日(火) 盛岡地区二次救急医療対策委員会 常任委員会 2月8日(月) 令和2年度第1回盛岡市夜間急患診療所運営協議会 16日(火) 第195回小児救急電話相談事業事例検討会 22日(月) 盛岡地区二次救急医療対策委員会 3月16日(火) 第196回小児救急電話相談事業事例検討会 25日(木) 盛岡地区二次救急医療対策委員会 常任委員会 30日(火) 第17回岩手県医師会小児救急電話相談事業運営委員会 4月20日(火) 第197回小児救急電話相談事業事例検討会 27日(火) 盛岡地区二次救急医療対策委員会 常任委員会 第1回救急医療体制のあゆみ編集委員会 5月18日(火) 第198回小児救急電話相談事業事例検討会 24日(月) 盛岡地区二次救急医療対策委員会 常任委員会 6月15日(火) 第199回小児救急電話相談事業事例検討会 25日(金) 盛岡地区二次救急医療対策委員会 7月20日 (火) 第200回小児救急電話相談事業事例検討会 27日(火) 盛岡地区二次救急医療対策委員会 常任委員会 第2回救急医療体制のあゆみ編集委員会 8月12日(木) 令和3年度盛岡地区二次救急医療関係市町会議(書面開催)

17日(火) 第201回小児救急電話相談事業事例検討会

26日(木) 盛岡地区二次救急医療対策委員会 常任委員会

-92-

9月3日(金) 盛岡市保健福祉部・子ども未来部との打合せ会(書面開催に変更)

第38回救急医療学術講演会(WEB開催)

21日 (火) 第202回小児救急電話相談事業事例検討会

27日(月) 盛岡地区二次救急医療対策委員会 常任委員会

10月19日(火) 第203回小児救急電話相談事業事例検討会

26日 (火) 盛岡地区二次救急医療対策委員会 常任委員会

11月15日(月) 盛岡地区二次救急医療対策委員会小委員会(小児輪番に係る)

16日(火) 第204回小児救急電話相談事業事例検討会

26日(金) 盛岡地区二次救急医療対策委員会

12月21日 (火) 第205回小児救急電話相談事業事例検討会

24日(金) 盛岡地区二次救急医療対策委員会 常任委員会



3. 盛岡地区二次救急医療対策委員会

日 時:令和3年2月22日(月) 午後7時

場 所:盛岡市医師会館(Web 併用)



今回は、新型コロナウイルス感染防止の対応としてZoomミーティングによるリモート参加も可能としたWeb併用形式で開催された。

1. 報告

- 1) 1月分患者データについて:患者総数 2,535名と前年より1,805名減少、救急 車搬送患者は710名と前年より69名減 少した。小児救急輪番日も198名と前 年より203名減少した。輪番日以外は 52名と大幅な減少であった。高度救命 救急センターは総数218名とほぼ例年 程度であった。参考として夜間急患診 療所、休日救急当番医も大幅な減少で あった。インフルエンザの発生報告は みられない。
- 2)令和2年の患者データについて
 - (1)二次救急:総数35.029名と前年より

- 13,300名、月平均1,000名減少していた。救急車搬送数は7,571名と前年比1,000名減少した。
- (2)小児救急:小児輪番日2,600名と前年の半数以下であった。非輪番日は934名と約1,500名減少した。
- (3)休日救急当番医・夜間急患診療所: ともに前年比で大幅減少した。
- 3) 第195回小児救急電話相談事業事例検 討会: 令和2年の年間統計: 前年比1,500 件減少した。
- 4)電子機器点検に伴う患者受け入れについて(川久保病院):2月27日(土)受け入れ困難な時間がある。

2. 協議

- 1)3月の二次救急病院当番表について: 原案通り了承された。
- 2) 令和 3 年度二次·小児救急輪番表 (案)

について:原案通り了承された。

- 3) 令和3年4月~6月分小児救急輪番表 (案) について:原案通り了承された。
- 4)令和3年度二次救急医療対策委員会運営予算(案)について:事務局より来年度案が説明された。一般会計は例年通りとしたが、オンライン会議による参加者増、その費用を見積もった。特別会計は本年度主な行事が中止となったため、会費を各病院5万円減とした。行事は例年どおりの計画とした。原案通り了承された。
- 5) その他: 宮田 剛委員より小児輪番の 岩手医科大学の再参加の今後の見通し

について質問があり、小山耕太郎委員 より、次年度いっぱいは現行の体制で 続けさせていただきたいとの説明が あった。

6) 今後の予定について:

事務長会議:書面開催とする。

(久保直彦)

LLI	Trial Control	-72	臣仁
111	1.7.4	-	

委 員 長

吉 田 耕太郎

常任委員

井 上 義 博 小 山 耕太郎 須 原 誠 外 舘 玄一朗 佐々木 一 裕 淳 金子博純 本 間 博 相馬 菊 池 貴 彦 久 保 直 彦 智 田 文 徳 橋 本 真 生 金濱誠己 佐藤 直 也 久保田 公 官 小 林 有 一 閗 博文 三 浦 義 孝

委 員

 小笠原
 邦
 昭
 森
 野
 禎
 浩
 宮
 田
 別
 加
 藤
 章
 信

 佐々木
 達
 哉
 千
 葉
 知
 木
 村
 啓
 二
 白
 石
 秀
 夫

 田
 村
 京
 大
 村
 京
 高
 橋
 邦
 尚
 代理
 高橋
 清実)

 木
 村
 宗
 孝

岩手県県央保健所

所 長 田名場 善明

盛岡市保健所

所 長 矢野 亮佑 次長兼企画総務課長 工藤弘幸

盛岡市医師会事務局

事務局長 及 川 敬一郎

次 長 水 本 達 彦 係 長 谷 藤 慎 治

盛岡地区二次救急医療対策委員会

日 時:令和3年6月25日(金) 午後7時場 所:盛岡市医師会館会議室(Web併用)



新型コロナウイルス感染防止の対応として、今回もZoomミーティングによるリモート会議を併用して開催された。

1. 報告

- 1)委員の異動に伴う、対策委員会委員の 変更について:任期途中に退職された 前委員の後任として、岩手医大小児科 赤坂真奈美先生と盛岡赤十字病院小 児科 梶原和華先生が今回より参加し た。
- 2) 5月分患者データについて:二次救急 総数は3,158名と前年同様であった。救 急車搬入数は692名と前年、先月より約 80名増加した。参考として夜間急患診 療所は176名と、200名以下の状態が続 いている。

小児救急患者の輪番日は総数279名、 一コマあたり4.32と例年の三分の一で 経過している。輪番日以外は62名で医 大が半分をしめている。高度救命救急 センターは計206名と例年並であった。 ドクターヘリは24回実出動した。

3)年度ごとのデータについて:二次救急 総数は令和2年度31,741名で、令和元 年のコロナ前に比較して、14,555名、 31%の大幅な減少であった。内訳では、 外来受診のみ患者が前年比で13,500 名、35%の減少、入院を要した患者は 前年より962名、12%の減であった。 これより外来のみ受診すなわち軽症者 の受診が少なくなり、また要入院の患 者の減少率は、病院入院患者の減少が 全国的に平均10%減少している数値に 一致する。救急車搬送数も7,434人で。 前年より約1,000人、12%減であった。

小児救急輪番日では、令和2年総数 2,220名で、令和元年のコロナ前に比較 して2,735名、55%の大幅な減少でで あった。小児救急の輪番日、外来受診 のみ、入院した患者、救急搬送された 患者の内訳では、外来受診のみが60% 減で、入院、救急搬送された患者は 40%減であった。全般的に小児救急患 者の減少が顕著であった。

- 4) 小児救急電話相談事例検討会及び令和 2年のデータについて
- 5)電子カルテ更新作業に伴う救急患者受け入れ抑制について:盛岡赤十字病院が7月22日~24日まで電子カルテ更新作業があり、救急患者の受け入れ困難になることもあると説明があった。
- 6) 令和3年度総合防災訓練:医療関係者の参加は見送りとなった。

2. 協議事項

- 1)盛岡市立病院における夜間救急体制の 見直しおよび7月の二次救急病院当番 表について:盛岡市立病院が平日の対 応医師を最近の実績を考慮し、2名か ら1名に減員する。また7月20日盛岡 友愛病院の担当医が変更になった。
- 2)10月~12月の小児輪番表(案)及び 二次・小児当番表(8月以降)につい て:小児輪番については、特に変更な かった。二次輪番では中央病院より設 備の年次点検による停電のため、医大

- と10月3日(日)と17日(日)の交換をしたとのご連絡があり修正した。
- 3)新型コロナワクチンの住民接種における重篤な副反応への協力要請について:集団接種時の重篤な副反応患者の対応を各二次救急病院へお願いした。
- 4)いわて盛岡シティマラソン2021について:10月24日日曜日に開催が予定されている、同大会に救護員派遣の要請があった。前回とコースが若干変更になり、救護所の数を減らしている。事務局案を示しご協力をお願いした。新型コロナウイルス感染症の発症状況、ワクチン接種などの影響も考慮し回答する。
- 5)一般会計および特別会計決算について:原案通り了承された。
- 6) 第38回救急医療学術講演会の開催について:昨年延期となった講演会を予定通り9月3日完全webで開催とした。

(久保直彦)

出席者一覧

委員長 吉田耕太郎

常任委員 井上 義博 赤坂真奈美 須原 誠 梶原 和華 佐々木一裕

相馬 淳 金子 博純 本間 博 菊池 貴彦 久保 直彦 智田 文徳 橋本 真生 佐藤 直也 金濱 誠己 久保田公宜

小林 有一 関 博文 三浦 義孝

委員 小笠原邦昭 森野 禎浩 宮田 剛 加藤 章信 佐々木達哉 千葉 知 木村 啓二 白石 秀夫 田村 茂 八角 有紀

高橋 邦尚 (代理 高橋 清実) 木村 宗孝 (代理 会長付参事 岡村 鋭次)

岩手県県央保健所 所 長 田名場善明

盛岡市保健所 所長 矢野 亮佑

企画総務課長 相馬 英洋

盛岡市医師会事務局 事務局長 及川敬一郎

次 長 水本 達彦

係 長 谷藤 慎治

盛岡地区二次救急医療対策委員会

日 時:令和3年11月26日(金) 午後7時

場 所:盛岡市医師会館(Web 併用)



新型コロナウイルス感染防止の対応として、今回もZoomミーティングによるリモート会議併用で開催された。

1. 報告

1)10月分の患者データについて:二次救 急の総数は2,703名と昨年、先月並み、 救急車搬送数は755名と昨年、先月よ り100名増加した。参考として、夜間 急患診療所は総数156名、小児患者数 が増加しているが、例年の半分以下で あった。小児救急は輪番日218名で先 月同様であった。輪番日以外は60名と 少ない。

輪番日一コマあたり5.3と例年の半 分以下で経過している。参考として休 日当番医も全体に少ないが、11月21日 内科でインフルエンザAが報告され た。医大3次は227名と例年並みで、 ドクターヘリは計32件の出動であっ た。

2) 令和 2~3年の患者データについて:

二次救急患者の10月までの総数27,326名、月平均2,733名で、月平均の比較では昨年より190名、2年前より1,300名、平成31年と比較し約30%減少した。月別の動きでは昨年は4月から大幅に患者数が減少したが、今年は毎月同じように減少している。内訳では外来患者が昨年より2,800名減少、入院患者は5,969名と昨年並みで、10月までの救急搬送数は6,883名と昨年より450名増加している。小児救急輪番日のデータは、10月まで月あたり222名、一コマあたりは月平均5.47名と半分のペースで経過している。

夜間急患診療所の受診者は一晩あたり5.1名、休日当番医も半分以下に減少していて、初期救急患者が大幅に減少していることが示唆される。コロナ前の平成31年から本年までデータを比較すると、コロナ前に比較して外来が40%、入院、救急搬送数が12%ほど減少している。小児救急ではコロナ前に

比較して半減し、入院も30%減少している。

- 3)第204回小児救急電話相談事業事例検 討会(11/16)及び令和2年10月から 令和3年10月までのデータについて
- 4)令和3年度盛岡地区二次救急医療関係市町会議の開催結果について(書面会議報告):(1)医大、赤十字病院の補助金が減少していることについて説明を求めた。(2)小児救急補助金は土曜日、休日は同額であるが、二次救急は土曜日半額であることに対して同様にして欲しい旨要望し、補助金単価の基準についての回答があった。
- 5)医療提供態勢推進事業補助金(医療提供体制設備整備事業)について:令和 4年度について申請はなかった。
- 6)二次救急医療対策委員会小委員会(小 児輪番に係る)について:来年度も本

年と同様に3病院で輪番体制を組むことになった。

2. 協議

- 1)12月分の二次救急病院当番表(案)に ついて:原案通り了承された。
- 2) 令和 4 年 1 月~ 3 月 小 児 救 急 当 番 表 (案) について:原案通り了承された。
- 3)令和4年二次救急、小児救急輪番表 (案)について:二次救急の輪番表に 基づき輪番案を事務局が作成、小児救 急は現在各病院と調整中で、来月の常 任委員会までに提示し、最終的に2月 の本対策委員会で最終決定する予定で ある。
- 4)年末年始の救急医療態勢広報掲載案について:訂正、修正を加えた。小児救 急はこども相談電話を強調した。

(久保直彦)

出席者一覧

委 員 長

吉 田 耕太郎

常仟委員

赤坂真奈美 井 上 義 博 須 原 誠 梶 原 和 華 佐々木 一 裕 相 馬 淳 金子博純 本 間 博 菊 池 貴 彦 智 田 文 徳 久 保 直 彦 橋 本 真 生 久保田 公 宜 金濱誠己 佐藤直也 小 林 有 一 閗 博文 二 浦 義 孝

委 員

小笠原 邦 昭 森 野 禎 浩 宮田 加藤章信 剛 木村啓二 佐々木 達 哉 千 葉 知 白石秀夫 田村 高 橋 邦 尚 木村宗孝 茂 八角有紀 (代理 高橋 清実) (代理 加藤 博巳)

岩手県県央保健所 所 長 田名場 善明

感岡市保健所 所長 矢野亭佑 企画総務課長 相馬英洋

盛岡市医師会事務局 事務局長 及川 敬一郎

次 長 水 本 達 彦 係 長 谷 藤 慎 治

4. 盛岡地区二次救急医療対策委員会小委員会

と き:令和3年11月15日(月) 午後7時

ところ:盛岡市医師会館 2階会議室 司 会:盛岡市医師会 救急医療対策部

部 長 久 保 直 彦

出席者

岩手医科大学小児科学講座	教 授	赤	坂	真奈美	
"	特任教授	石	Ш	健	
"	助教 (医局長)	塩	畑	健	
岩手県立中央病院	小 児 科 長	\equiv	上	仁	
盛岡赤十字病院	小児科副部長	梶	原	和 華	
国立病院機構盛岡医療センター	副院長	佐々	木	美 香	
盛岡市医師会小児科医会	会 長	\equiv	浦	義 孝	
盛岡市医師会	会 長	吉	Ħ	批一上的	
盛岡地区二次救急医療対策委員会	委 員 長	П	Щ	耕太郎	
盛岡市医師会救急医療対策部	部 長	久	保	直彦	
盛岡地区二次救急医療対策委員会	常任委員	八	休	旦 彡	
盛岡市医師会	副 会 長	相	馬	淳	
"	"	金	子	博 純	
"	"	本	間	博	
盛岡地区二次救急医療対策委員会	常任委員	金	濱	誠己	
"	"	小	林	有 一	

一 次 第 一

挨 拶

議 題

- 1. 令和2年~令和3年小児救急病院患者データ (参考資料)
 - ・新型コロナウイルス感染症の影響のため、令和2年は輪番日総計2,601名と前年の5,412名より2,811名減であった。令和3年1月~9月は総数2,006名で、コロナ前の平成30年の4,323名より2,317名減で、小児救急の受診患者減少が続いている。
- 2. 各小児救急輪番病院の現状と要望事項等について
- 3. 令和4年度小児救急輪番表(案)の作成について
 - ・来年度も3病院で輪番を組み対応する方針となった。現状の輪番体制に基づいて事務局案 を作成し、それを元に各病院にて検討、調整する方針となった。可能であれば今月の二 次救急医療対策委員会で提案し、来年2月の二次救急医療対策委員会にて最終決定する。

5. 令和3年度盛岡地区二次救急医療関係市町会議 (令和3年8月12日付書面催)

1. 報告

- (1) 令和2年度盛岡地区二次救急医療補助事業決算について
 - ① 令和2年度盛岡地区二次救急医療事業決算書
 - ② 令和2年年度盛岡地区二次救急医療事業(小児救急)決算書

2. 協議

- (1) 令和3年度盛岡地区二次救急医療補助事業予算について
 - ① 令和3年度盛岡地区二次救急医療事業予算書
 - ② 令和3年度盛岡地区二次救急医療事業(小児救急)予算書
- (2) 令和3年度盛岡地区二次救急医療補助事業市町別負担金について
 - ① 令和3年度盛岡地区二次救急医療事業市町別負担金割当表
 - ② 令和3年度盛岡地区二次救急医療事業市町別負担金割当表(小児救急)

3. その他

- (1) 盛岡地区二次救急医療対策委員会会計について
 - ① 令和2年度盛岡地区二次救急医療対策委員会一般会計決算書
 - ② 令和3年度盛岡地区二次救急医療対策委員会一般会計予算書

上記の協議事項(1)について、今年度の各市町からの補助金に関し、盛岡医療センターを補助金対象とすることで予算計上されていた。それに伴い盛岡赤十字病院及び岩手医科大学附属病院が盛岡医療センターと同日に当番病院となった場合の追加配分を行わないこと(両病院に対する補助金の減少)となったため、盛岡市から両病院へ丁寧な説明をお願いするよう意見を出した。

また、以前より二次救急に対する補助金は土曜が休日の50%となっているので、小児救急に対する補助金同様、土曜も休日と同額とするのが妥当と思われ、予算の再検討を要望した

6. 盛岡医師会・盛岡市保健福祉部・子ども未来部との打合せ会(書面)

令和3年度の打合せ会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、昨年度に引き続き対面での開催は中止となった。

盛岡市医師会からの要望・質問事項に対する回答が書面にて報告された。

▶要望事項

- 新型コロナウイルス感染症への対応について
 - 1)新型コロナウイルス感染症におけるワクチン接種の態勢について

市の担当者と医療者の熱意により、 多くの医療機関での個別接種と集団接 種が行われ、当初は盛岡市の計画を上 回るペースで進んでいたようですが、 特に集団接種については、実施医療機 関への十分な説明も協議も少なく開始 されたように思われます。

また、岩手県と盛岡市がそれぞれ集団接種の計画を立てたことが判明した時点で、接種班を派遣するために、お互いに日程などを調整していただくように申し入れしましたが、特に配慮りなく、それぞれ実施されました。個別接種は年齢区分の見直しが図られましたが、広く迅速に接種するためには有効であったと思われます。

高齢者が間もなく終わりますが、これまでの接種状況とワクチン供給量の見通し、盛岡市としての今後の計画について説明していただきたいと思います。また予約システムについても今後の改善点などあれば教えて下さい。

▶回答(新型コロナワクチン接種実施本部 事務局)

65歳以上の高齢者へのワクチン接種 については、8月23日現在のV-SYS (ワ クチン接種円滑化システム)の入力 データを参考とした数値では、1回目 の接種が90.1%、2回目の接種まで終 えた方が82.3%となっており、現在も 2回目の接種が若干続いてはいるもの の、接種を希望する65歳以上の方の接 種は、概ね完了したものと考えていま す。

7月27日から60歳から64歳の方と、 優先接種対象者であります基礎疾患を お持ちの方、高齢者施設等の従事者へ の接種を行っておりますが、国からの ワクチン供給量が6月の約半分程度に 激減し、医療機関に配分するワクチン 数を制限しながら進めることとなりま した。しかしながら国では、8月30日 の週から10月4日までの週の3クール (第13~15クール)で、12歳以上人口 の8割が2回接種するために必要な量 のワクチンを各都道府県に配分するこ ととしているため、未定としておりま した59歳以下の方の接種開始時期等に つきましても、ある程度まとまったワ クチンの供給が見込める状況となりま したことから、9月から接種を開始す ることとし、現在調整を進めておりま

本市といたしましては、医療機関での個別接種と大規模会場での集団的接種を併用しながら、また、職域接種や県の集団接種など、国や県の協力も得ながら、できるだけ早期に、そして、より多くの市民の皆さまに安心して接種していただけるよう、盛岡市医師会の皆様や各医療機関等と連携し、体制整備に努めてまいりたいと存じます。

ただし、本市には、その期間に計89

箱(104,130回接種分)が配分となる予定ですが、必要数から大幅に(7万回接種分以上)不足しているほか、第16クール(10月11日の週及び18日の週)以降の供給量が全く示されていない状況にありますことから、今後も国の動向に注視して、適宜ワクチン確保に努めてまいりたいと存じます。

予約システムの改善につきましては、7月に日ごとの予約数・受付済数・接種済数が確認できる「受付状況確認」のページが追加された経緯がありますが、現状大きな機能改修を行う予定はない旨委託業者より確認しております。

▶要望事項

2)妊婦への新型コロナワクチン接種について

上記の理由からワクチン接種希望の 妊婦が接種を受けられるよう、盛岡市 として取り組んでいただきたいと思い ます。

▶回答(新型コロナワクチン接種実施本部 事務局)

ご指摘のとおり、妊娠中に新型コロナウイルスに感染すると、特に後期の感染では重症化しやすいとされていま

すが、接種の際には、あらかじめ妊産 婦健診の受診の際など、かかりつけ医 師に接種の適否を判断いただくことが 望ましいともされております。状態が 個人個人で大きく異なる妊婦にとっ て、安心してワクチン接種できる環境 を確保するため、産婦人科医などの個 別の実施医療機関の拡充を図ってまい ります。

また、大規模会場で実施する接種において、妊婦の方及び配偶者等の方を優先した予約枠を設けるなど、医師会の先生のご助言等をいただきながら、接種の機会を設ける工夫を検討してまいります。

▶要望事項

3) コロナ陽性者および濃厚接触者情報共有について

最近の新型コロナウイルス感染症は、変異株による流行が認められ、若年層への感染拡大および市中感染の拡大の様相を呈してきております。医療介護施設、会社、飲食店でのクラスター発生に加え、教育関連施設での感染事例が増加しております。

特に学校での感染例は集団感染のリ スクをはらんでおり、現在コロナ患者 発生時に休校の措置が取られておりま す。一方コロナ陽性者あるいは濃厚接 触者が発生し休校休園中に当該教育施 設の児童生徒が通常通り医療機関を受 診することが多いようです。医療機関 ではコロナ陽性者がどの学校や園で発 生しているかの情報は把握しておりま せんので、受診者へは自己申告を啓発 しておるところです。しかしながら申 告もなく受診する市民が存在すること も事実であり、医療機関及び市民への 感染拡大リスクを軽減するためには、 感染者情報の共有は重要と考えます。 つきましては下記のとおり要望いたし

ますので、ご検討をお願い申し上げます。

- (1)コロナ患者、陽性者の発生時に、どの地域でどこの職場や教育関連施設で発生しているかの情報を共有させていただきたい。個人情報の取り扱いの問題はあるが共有をお願いします。
- (2)コロナ患者、陽性者、濃厚接触者には、保健所からの指導がありますが、職場の閉鎖、教育関連施設の休園休校時における健常者への健康観察について、具体的に休園休校の目的を当該施設職員、児童生徒、親へ速やかに啓発していただき、不要な外出を自粛し感染拡大防止に努めていただきたい。
- (3)前項とは関係ありませんが、現状の 市中感染状況から、どの地域どの職 域で感染が多発しているかをもっと 強く市民へ啓発していただきたい。

▶回答(保健予防課)

(1)市では、感染症法第16条第1項に基づき、個人が特定されない範囲で、 患者情報を公表しているところであります。

個人情報保護法第16条第3項の規定による個人情報保護の適用除外については、公衆衛生の向上のために必要な場合、すなわち感染症拡大防止の観点から濃厚接触者等を探知することが困難な場合であるものと考えられるところであります。

また、教育保育施設等において集団感染が確認されたときには、学校医の先生等に個別の施設から情報提供があるものと考えておりますがそういった場合においても、保健所から直接情報提供することの判断は難しいものでありますので、ご理解いただくようお願いいたします。

(2)陽性者、濃厚接触者に該当しない施

設職員や児童生徒及び保護者については、施設や学校等に対し、感染対策や健康状態の観察など引き続き行うよう、また、体調不良時には保健所もしくはかかりつけ医に相談するよう、助言しており、連絡があった際は速やかにその状況を確認し、検査もしくは受診勧奨することで感染拡大防止に努めているところです。

(3)(1)のとおり、市では、感染症法第16条第1項に基づき、個人が特定されない範囲で、患者情報を公表しているところであります。しかしながら、市内において、地域を限定するとは個人の特定、ひいと対しいないるとながあることをうなる感染におります。そうな感染においるとれる飲食店関係において、特定は、盛岡市中心について、特定していることについて、特定ところでありますので、ご理解ください。

▶要望事項

4)コロナ陽性者および濃厚接触者の取り 扱いについて

岩手県における宿泊療養施設は、昨年11月から盛岡医療圏1か所のの健康観察の健康観察の健康観察の健康観察の健康観察の健康観察を選出しており、療養を派遣で問題がない。 では、療養者の選がでは、のでは、ないるの関連が、では、ないの関連がでは、は、ないのでは、は、ないのの関連が、では、ないのでは、は、ないのでは、は、ないのでは、は、ないのでは、は、ないのでは、は、ないのでは、は、ないのでは、は、ないのでは、は、ないのでは、は、ないのでは、は、ないのでは、は、ないのでは、は、ないのではないのでは、ないのではないのでは、ないのではないのではないのではないではないではないのではないのではないではない。 濃厚接触者の行動制限について、保健 所と当医師会の間で面談の上理解を深 めたいと存じます。ご検討をよろしく お願い申しあげます。

- (1)コロナ患者、陽性者の退院後の自宅 待機期間(仕事への復帰)について 重症度で違いがあれば、区分ごとに
- (2)濃厚接触者の自宅待機期間について
- (3)濃厚接触者の判定基準について

▶回答(保健予防課)

新型コロナウイルス感染症の陽性者に対し、積極的疫学調査をすること方た方ともり、感染可能期間に接触した方た大を抽出し、PCR検査を実施し感染するります。ウオルス不検出であっては、検査結果、可は検査を実施するなどの対療養にしております。場性者が療養になる身体への負担回復場を考慮し、退院退所の際には、職場を考慮し、退院退所の際には、職場を考慮し、退院退所の際には、職場を考慮し、退院退所の際には、職場を考慮し、退院退所の際には、職場を考慮し、退院退所の際には、職場を考慮し、退院退所の際には、職場を考慮し、退院退所の際には、時ます。

- (1)新型コロナウイルス感染症の療養解除後の生活については、1~2週間は人との接触は避け、職場等と相談の上、可能であれば自宅で待機することをお勧めしております。なお、重症度での違いはありません。
- (2)濃厚接触者については、陽性者との 最終接触日から2週間の健康観察期 間とし、自宅待機をお願いしていま す。
- (3)濃厚接触者については、国立感染症研究所感染症疫学センターの「新型コロナウイルス感染症患者に対する積極的疫学調査実施要領」を参考に、陽性患者の感染可能期間(症状が出る2日前から入院等となるまでの期間)に接触し、次の範囲に該当する

方としています。

- ・適切な感染防御(マスクの着用など)なしに患者と接触のあった者
- ・患者の気道分泌液もしくは体液など の汚染物に直接触れた可能性がある 者

▶要望事項

5) 感染症パンデミックに対応する医療 コーディネーターの設置について

今回の新型コロナ感染症も一種の災害と言えます。災害時の医療に関することは医療者が関わらないと進みません。東日本大震災の経験から、岩手県では、災害対策本部に災害医療コーディネーターを置き、発災時から活動する体制があります。そのコーディネーターがコロナ患者の入院等搬送調整班を担い、調整しています。

盛岡市周囲の大規模災害時には県と市が協働して動かなければなりません。盛岡市にも災害時、または今回コーディネーター、アドバイザー(南京立の医療会等)を指名し、県の医適切に大変に表するような体制にしても当動を行えるような体制にしても当初をできたとののであることができたと思れます。

▶回答(危機管理防災課)

盛岡市では、盛岡市地域防災計画において、災害時に迅速かつ的確な医療が行えるよう、医療関係機関と連携しながら、医療情報の収集伝達体制及び医療救護班の整備、災害医療の拠点確保、医薬品の確保等を図り、災害時の医療体制を整備することとしており、貴会と「災害時の医療救護活動に関する協定書」を昭和62年10月1日に締結

しているほか、災害発生時には災害派 遣医療チーム、災害医療コーディネー ター、医療機関及び防災関係機関との 密接な連携の下に、迅速かつ適切な医 療活動を行うこととしております。

また,災害発生時の岩手県の地域災害 医療コーディネーターの活動内容は,市 保健所と連携して被災地域の医療ニーズ を把握し,圏域内の医療救護活動の調整 を行うほか,その他支援チーム等の活動 との総括的調整及び専門的な助言を行う こととなっております。

今後におきましても, 県の地域災害医療コーディネーターや貴会などの医療関係機関との連携を図りながら, 適切な医療救護活動が行えるよう努めてまいります。

▶要望事項

2. 市と医師会による協議会について

盛岡市で、医療政策を立案する場合、 医療現場の意見を十分に取り上げ、現実 に即したものになるよう、事前に盛岡市医 師会と協議会を設置していただきたいと 思います。

▶回答(企画総務課)

医療に関わる政策の実施に当たっては、医療現場に従事する皆様方のご協力が必要不可欠であると認識しており、事前に医療現場の皆様から現状やご意見をお伺いすることは、非常に重要であると存じております。今後も、医療政策の立案に当たりましては、さまざまな機会を捉え、盛岡市医師会のご意見をお伺いしながら進めてまいりたいと存じます。

▶要望事項

3. 里帰り出産について

盛岡市から盛岡市以外に里帰り出産する方の人数と、盛岡市以外から盛岡市に 里帰り出産する方の人数を把握できてい るでしょうか。

▶回答(母子健康課)

盛岡市から盛岡市以外に里帰り出産する方については、産後の支援状況の把握や妊産婦健診を県外で受ける際の償還払いについて説明するため、妊娠届出時に里帰り出産の予定と滞在市町村等の記入欄を設けております。しかし届出時の情報であり、その後変更になる方もいらっしゃるため、正確な状況については把握しておりません。

また,盛岡市以外から盛岡市に里帰り する方については,直接産婦人科医院等 へ分娩予約等をされており,妊産婦健診 や医療助成制度等は住所地市町村のもの を利用するため,当市手続きの必要はな く,把握はできておりません。

いずれの人数も現状では把握していない状況ですが、関係機関のご意見を伺い ながら検討してまいります。

なお、里帰り出産の後、当市での滞在 期間が長くなる方で、新生児訪問を希望 する場合は、住所地市町村の依頼を受け て実施しています。また、その後におい ても支援が必要な方については、住所地 市町村と連携を図りながら継続支援を 行っています。

以上、書面での要望と回答となった。新型コロナウイルス感染症が早く収束し、次回から是非、顔の見える会であることを望み報告とする。

※会議が開催されませんでしたので、出席 者名簿は割愛させていただきます。

(工藤卓次)

7. 第38回救急医療学術講演会

日 時:令和3年9月3日(金) 午後6時40分場 所:盛岡市医師会館※Zoomウェビナーによるライブ配信





司会:久保直彦 救急医療対策部長



座長:岩手医科大学 井上義博 教授

第38回救急医療学術講演会が盛岡市医師会館を主会場として、Web開催された。

特別講演の高山隼人先生には、ご都合により 長崎よりご講演いただいた。

昨年に高山先生を盛岡 にお招きして開催予定 であったが、新型コロナ ウイルス感染症蔓延のた め、本年に延期されたも ので、2年越しの待望の 講演会であった。

講演1として岩手県立 中央病院 脳神経セン ター 木村尚人センター

長には、脳卒中診療における多職種連携の 重要さを講演いただいた。また高山先生に は、長崎県における離島の救急医療体制の 構築についてご講演いただいた。医療資源 の少なく広い県土を有する岩手県の医療人 にとって有用な話であった。

Zoomウェビナーによるライブ配信での 視聴者は、医師27名、消防関係21名であっ た。消防署員は盛岡地区広域消防組合消防 本部(盛岡駅西通)の会議室から視聴した。

1. 講演1



木村尚人 センター長

講師:岩手県立中央病 院脳神経センター 木村尚人 センター長 演題:『多職種連携で 取り組む脳卒中診 療』

1)多職種連携につい

て:脳外科医師、病棟、IVR担当看護師、 退院調整看護師などが集まり、キーになる 患者の情報を共有している。退院調整については看護師の方が情報が多く、きめこま やかな対応が可能である。退院調整が積極 的に入るようになり、在院日数が平成23年 の20日から昨年は11日までになった。

2) 脳卒中と栄養管理:低栄養が脳卒中の 転機に強く関係があることから、多職種カンファランスの場と総合回診の場で情報共 有して、栄養科からアドバイスをもらうよ うにした。その結果脳出血の患者を調査し たら、栄養状態の悪化が見られなかった。

3)DOACによる脳出血に対する対応:心房細動の治療のためDOACを内服している患者で脳出血、くも膜下出血を起こした患者に血漿分画製剤(ケイセントラ)を素早く投与するような多職種連携体制を作り効果をあげている。

2. 特別講演



高山隼人 副センター長

講師:長崎大学病院地域 医療支援センター 高山隼人 副センター長 (ながさき地域医療人 材支援センター長) 演題:『長崎における離島 を含めた地域医療の展 開』

【講演要旨】

1)離島医療で学んだこと:専門も大切だが、病気の箇所だけでなく、全身、心など他の部分も診て、バランスよく治療することが大切である。離島の医療機関では人的、物的資源に限界がある。反して救命救機関では、医療資機関では、医療資機関では、医療資機関では、医療資機関では、医療資機関では、医療資機関では、医療資機関では、医療資機関では、を変した。の医療では社会復帰に繋がらないを表し、という少し早く専門医の治療ができないかを考え、現場から適切な対応をし、短時間で設定するために対急隊員の質を上げ、またドクターへりを導入するように図った。

2)長崎県の離島医療システムについて: 長崎県は大小有人の離島が72ヵ所あり、17 万人が生活している。僻地、離島の医療は、 1945年代は保健船からはじまり、1955年代 から僻地の診療所が建設され、1965年代 に基幹病院の整備と医師の養成が始まり、 1978年から県養成医師離島勤務が開始され た。

長崎県病院企業団 (特別地方公共団体) が構成され、現在11施設の病院を運営している。また公的診療所が61ヵ所あり、うち常勤診療所が28ヵ所ある。離島の急患搬送システムは救命救急センターから最も遠い対馬まで60分圏内でカバーしている。令和2年のヘリコプター出動回数は918件で、ドクターヘリの他に、自衛隊が52件、防災ヘリが21件出動している。また1991年から画像転送システムが開始され、現在はあじさいネットというシステムで、離島の病院、診療所を結び運用されている。

3) 救急医療の知識、技術の標準化:医療機関の標準化、心肺蘇生、二次救命処置、災害医療の教育を行なった。また消防機関へは外傷、二次救急処置、災害医療の指導を行った。特に離島地区で出前講習を行っている。

4) 脳卒中の救急医療体制(N-SHOT): 脳卒中について救急科が24時間稼働する体 制を作り、脳塞栓の血栓回収療法に至る体 制をつくった。それによりrt-PA投与率は 3.3%から6.7%へと有意に増加した。また同 時にスマートデバイスを用いた離島基幹病 院と本土急性期病院連携を作り、超急性期 脳梗塞プロトコールを作成した。その結果、 年齢、搬送時間、NIHSSは転帰に関係す るが、離島発症は転帰不良に関連しないと いう結果も得られるようになった。これに は病院前、病院後の他職種との連携の合意 により、患者発生から搬送、受け入れもス ムーズになり、rt-PA投与までの時間を短 縮したことによる効果があった。多職種連 携の話題として、Nurse practitioner (NP) によるデータ分析力、チーム構築力により N-SHOTの課題が改善され、NPと協働す ることにより、脳卒中分野のみならず救急 領域で効果的な活動が増えて来ている。

(久保直彦)

8. 岩手県小児救急電話相談事業実績

はじめに

平成16年10月より、岩手県では「看護師によるこども救急相談電話」事業を実施している。この事業は、岩手県から岩手県医師会が受託し、実務的な業務は盛岡市医師会に委託されている。この相談員は、岩手県看護協会が推薦し、盛岡市医師会が雇用するものとし、12名を登録している。

相談業務は年中無休で午後7時から午後11時まで行われ、登録した看護師のうち2名ずつで担当している。相談内容の検証、より良い相談方法、相談員の技術向上のため、毎月1回相談員全員と小児科医3名ほどが同席し、相談事例の検討会を行っている。その内容は市医師会の理事会で毎月報告されている。

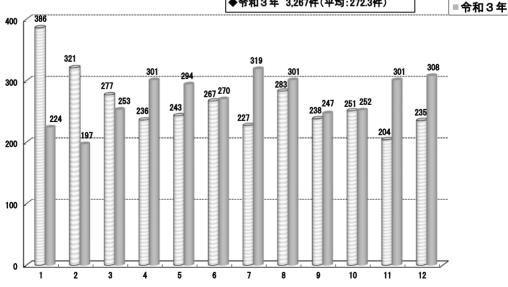
1. 相談件数推移 (H16.10~R1.12)

(件)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11月	12月	合計	平均
平成 17 年	118	224	281	185	219	199	191	145	138	200	169	248	2,317	193.1
平成 18 年	172	163	184	193	243	207	182	174	149	191	225	332	2,415	201.3
平成 19 年	220	221	271	245	239	226	189	175	191	172	251	347	2,747	228.9
平成 20 年	236	225	197	205	222	212	217	210	201	214	250	380	2,769	230.8
平成 21 年	296	266	262	242	276	274	209	249	309	454	493	494	3,824	318.7
平成 22 年	348	317	343	285	359	317	332	307	242	269	346	413	3,878	323.2
平成 23 年	368	325	297	262	350	314	351	345	307	303	331	360	3,913	326.1
平成 24 年	333	360	330	349	323	260	291	306	288	314	351	320	3,825	318.8
平成 25 年	305	255	277	303	331	297	297	334	362	314	292	353	3,720	310.0
平成 26 年	277	246	331	301	283	257	285	331	272	267	291	408	3,549	295.8
平成 27 年	364	256	240	245	325	279	268	305	288	283	309	350	3,512	292.7
平成 28 年	301	337	337	369	333	311	330	341	336	308	313	396	4,012	334.3
平成 29 年	297	261	258	315	391	367	376	372	309	352	338	352	3,988	332.3
平成 30 年	398	338	327	374	376	327	437	426	328	352	324	333	4,340	361.7
令和元年	407	373	348	399	452	377	404	451	378	343	365	397	4,694	391.2
令和2年	386	321	277	236	243	267	227	283	238	251	204	235	3,168	264.0
令和3年	224	197	253	301	294	270	319	301	247	252	301	308	3,267	272.3

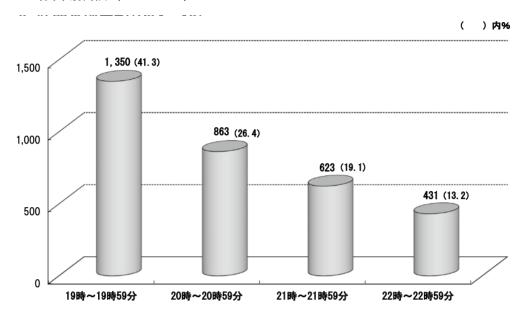
2. 月別件数(前年度との比較)

◆令和2年 3,168件(平均:264.0件) ◆令和3年 3,267件(平均:272.3件) □令和2年

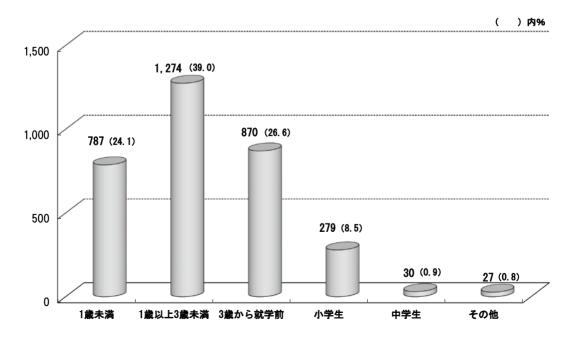


- 109 -

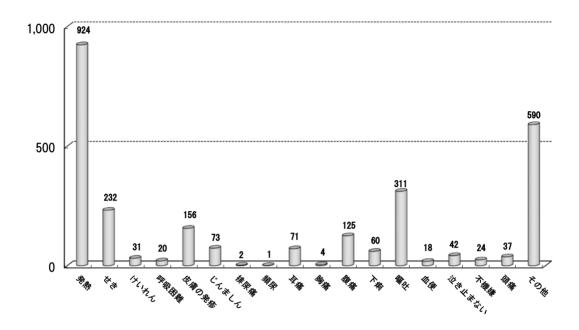
3. 時間帯別内訳 (R3.1~12)



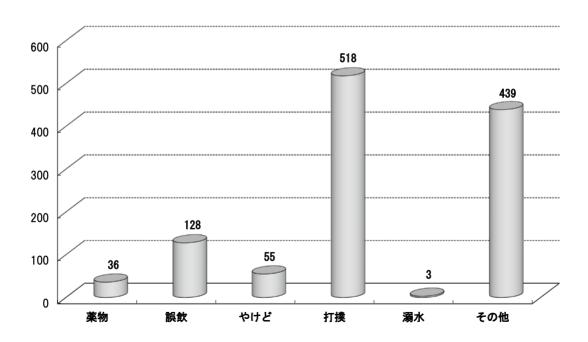
4. 年齢別内訳 (R3.1~12)



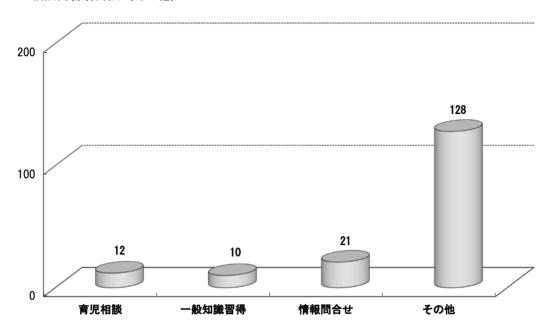
5. 相談別内容 (病気)



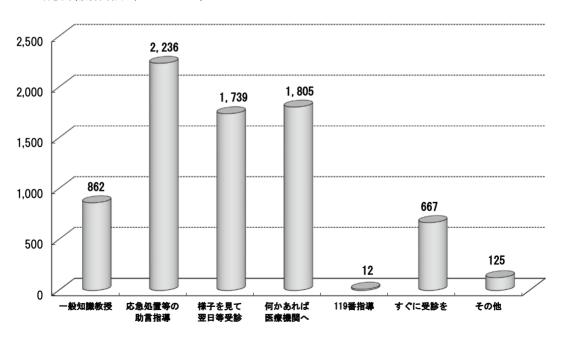
6. 相談内容別内訳(事故)



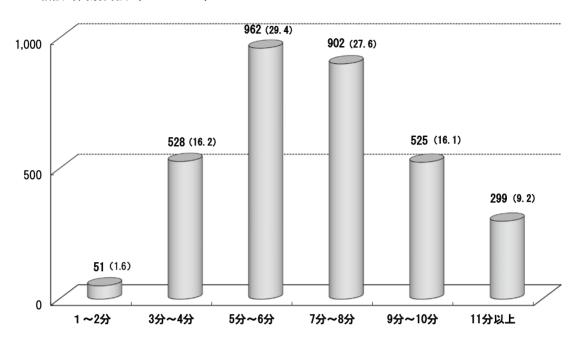
7. 相談内容別内訳 (その他)



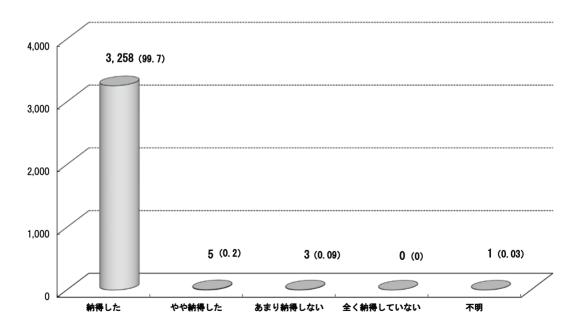
8. 対応内容別内訳 (R3.1~12)



9. 相談時間別内訳 (R3.1~12)



10. 相談者の印象別内訳 (R3.1~12)



11. 市町村別件数(R3.1~R3.12)

市町村名	相談件数	() 内%
市 部 計	2,835	(86.78)
盛岡市	1,114	(34.10)
宮 古 市	81	(2.48)
大船渡市	45	(1.38)
奥 州 市	209	(6.40)
花 巻 市	341	(10.44)
北上市	271	(8.30)
久 慈 市	34	(1.04)
遠 野 市	43	(1.32)
一関市	335	(10.25)
陸前高田市	20	(0.61)
釜 石 市	49	(1.50)
二 戸 市	36	(1.10)
八幡平市	63	(1.93)
滝 沢 市	194	(5.94)
岩 手 郡	58	(1.78)
雫 石 町	21	(0.64)
葛 巻 町	13	(0.40)
岩 手 町	24	(0.73)
紫 波 郡	193	(5.91)
紫 波 町	115	(3.52)
矢 巾 町	78	(2.39)
県 外	11	(0.34)
不 明	8	(0.24)

市町村名	相談件数	() 内%
和賀郡	93	(0.09)
西和賀町	3	(0.09)
胆 沢 郡	45	(1.38)
金ヶ崎町	45	(1.38)
西磐井郡	14	(0.43)
平 泉 町	14	(0.43)
気 仙 郡	5	(0.15)
住 田 町	5	(0.15)
上閉伊郡	13	(0.40)
大 槌 町	13	(0.40)
下閉伊郡	43	(1.32)
山 田 町	22	(0.67)
岩 泉 町	11	(0.34)
田野畑村	7	(0.21)
普 代 村	3	(0.09)
九戸郡	32	(0.98)
軽 米 町	3	(0.09)
洋 野 町	20	(0.61)
野田村	3	(0.09)
九 戸 村	6	(0.18)
二戸郡	7	(0.21)
一 戸 町	7	(0.21)
合 計	3,267	件

おわりに

令和3年の電話相談件数は3,267件(月平均272.3件)であった。令和2年より微増となったが、新型コロナウイルス感染症による影響は令和3年にもおよび、過去最高だった令和元年の4.694に比べ1.400件近く減少した。

年齢別内訳では3歳未満が63.1%を占め、病気の相談では発熱に関する相談(33.9%)が最も多いという傾向は例年と同じである。

市町村別では、盛岡市からの相談が 34.1%と最も多く、その他全県下から相談が寄せられているが、県外からの相談も 0.3%認めた。また、相談時間が長くなる割合が近年増えている。対応に苦慮する事例も少なくないが相談者の 99.7%は相談員の対応に納得しており、適切に対応しているといえる。「はじめに」で述べたように、相談員は事例検討会を開催したりするなど日々の相談技術の向上に努めており、その努力に敬意と感謝を表したい。

V 救急医療年譜

- 昭和40.1.10 休日当番医制発足(内科、一日2ヵ所)
 - 41.7 休日当番医制に小児科および外科(それぞれ1日1ヵ所)が参加
 - 51.12. 1 盛岡市夜間急患診療所が少年センター内(中の橋際、旧商工会議所)に開設
 - 53. 3. 岩手県医薬課より岩手県医師会、盛岡市医師会に二次体制確立要請
 - 53.616 盛岡市夜間急患診療所開設1周年記念式典開催
 - 54.12. 1 盛岡地区二次救急医療体制発足、二次救急病院群輪番制9病院にて開始

岩手県立中央病院 盛岡市立病院 盛岡赤十字病院

岩手医科大学附属病院 遠山病院 高松病院 栃内病院 河南病院 はらた病院

- 55.11.1 岩手県高次救急センター開設
- 56. 9.10 盛岡市夜間急患診療所開設 5 周年記念懇談会開催
- 56.12 内丸病院が二次救急病院群輪番制に参加
- 57. 2. 6 盛岡市夜間急患診療所が若園町・市役所若園町分庁舎1階に移転、診療開始
- 57.10.15 盛岡市夜間急患診療所診療時間の変更 (夜 8:00 ~ 12:00 →夜 7:30 ~ 11:30)
- 58.7 はらた病院が二次救急病院群輪番制を辞退
- 62.11. 1 盛岡市夜間急患診療所が肴町盛岡市保健センター2階に新築移転、診療開始
- 62.11.14 盛岡市夜間急患診療所落成式開催
- 平成 4.4.1 盛岡市·都南村合併
 - 5.1 河南病院が二次救急病院群輪番制を辞退
 - 7. 4. 1 盛岡繋温泉病院・盛岡友愛病院・川久保病院が二次救急病院群輪番制に参加 輪番病院を南北2ヶ所におく
 - 8.12. 7 盛岡市夜間急患診療所開設 20 周年記念式典開催
 - 11.4.1 小児救急病院群輪番制7病院にて開始

岩手県立中央病院 盛岡市立病院 盛岡赤十字病院 岩手医科大学附属病院 川久保病院 国立療養所盛岡病院

もりおかこども病院

- 11.11. 1 盛岡市夜間急患診療所診療時間の変更(夜 7:30 ~ 11:00 →夜 7:00 ~ 11:00)
- 12.4.1 国立療養所盛岡病院が二次救急病院群輪番制に参加
- 12. 9. 1 南北にそれぞれおいていた輪番病院を A、B の二グループに変更 A グループ

岩手県立中央病院 盛岡赤十字病院 岩手医科大学附属病院 Bグループ

盛岡市立病院 遠山病院 高松病院 栃内病院 内丸病院 盛岡繋温泉病院 盛岡友愛病院 川久保病院 国立療養所盛岡病院

- 13. 2.22 盛岡地区二次救急医療体制 20 周年記念式典開催
- 14.2.1 岩手県高次救急センターを「岩手県高度救命救急センター」と改称
- 14.9.1 国立療養所盛岡病院が小児救急病院群輪番制を休止
- 16.10. 1 看護師によるこども救急電話相談の開設
- 17.4.1 川久保病院が小児救急病院群輪番制を休止
- 17.9.1 西根町・松尾村・安代町が合併し「八幡平市」となる
- 18. 1.10 玉山村が盛岡市と合併

- 19.4.1 盛岡市立病院が小児救急病院群輪番制を休止 (産婦人科も休止)
- 20.4.1 内丸病院が二次救急病院群輪番制を辞退
- 20. 4. 1 盛岡市が中核市となる 盛岡市夜間急患診療所が盛岡市保健所(神明町:旧競馬会館ビル)に移転開設
- 20.6.14 岩手・宮城内陸地震発生(最大震度6強)
- 20.6 盛岡市医師会災害時対応マニュアルの作成(全会員へ送付)
- 20.7.24 岩手県沿岸北部を中心とする地震発生(最大震度6強)
- 21.1 川久保病院が小児救急病院群輪番制を再開
- 21.3 メキシコにおける豚インフルエンザの発生
- 21.5 新型インフルエンザの国内発生
- 21.6 新型インフルエンザの県内発生
- 21.10 夜間急患診療所小児科診療を2人体制で対応(H 22.1.3 まで)
- 21.11.26 盛岡地区二次救急医療体制 30 周年記念式典開催
- 22. 4. 1 八角病院が二次救急病院群輪番制に参加(B 群病院として)
- 23. 3.11東北太平洋沖地震発生 (後に東日本大震災)PM2: 46 発災、マグニチュード 9.0 (最大震度 7)、津波による死者・行方不明者 19,000 人超
- 23. 3.12 遺体検案応援が始まる(盛岡市・岩手郡・紫波郡医師会は6月まで応援)
- 23. 5. 7 山田町保健センター救護所への当直応援開始(7/3まで) ※盛岡医師会・岩手郡医師会・二戸医師会で派遣対応
- 23. 7.10 岩手県立山田病院 仮設診療所への日曜・祝祭日の当直応援開始 ※盛岡医師会・岩手郡医師会・二戸医師会で派遣対応
- 23. 8. 7 岩手県医師会高田診療所への診療応援開始 ※各診療部会で派遣対応
- 24.5.8 岩手県による「ドクターヘリ」が運行開始(岩手医大矢巾キャンパス基地)
- 24.12.30 岩手県立山田病院 仮設診療所への日曜・祝祭日の当直応援終了
- 25. 8. 9 大雨により「大雨洪水警報」発令 零石町国道 46 号線付近で乗用車・バスが孤立、消防本部による救助活動有
- 25. 9.16 台風 18 号の影響により玉山区松川が氾濫、浸水地域で消防本部による救助活動有
- 26. 1. 1 滝沢村が「滝沢市」となる
- 28. 3.20 岩手県医師会高田診療所への診療応援終了 (閉所式)
- 28. 8.31 台風 10 号の影響により、岩泉町・久慈市など沿岸地域に甚大な洪水被害有死者・行方不明者 24 名
- 29. 3.13 岩手医科大学附属病院新築工事起工式
- 31. 3. 1 国立病院機構盛岡病院が「国立病院機構盛岡医療センター」に名称変更
- 31. 4. 1 もりおかこども病院が「子どもは未来もりおかこどもクリニック」に名称変更 (無床化のため小児救急病院群輪番制を中止)
- 令和 1.5.20 岩手県立中央病院 (隣接地) にヘリポート完成
 - 1.6.18 国立病院機構盛岡医療センターが重症心身障がい者病棟(さくら病棟)を開棟
 - 1. 7.20 岩手医科大学附属病院(矢巾)竣工
 - 1. 9.21 岩手医科大学附属病院(矢巾)・内丸メディカルセンター開院
 - 1. 9.24 岩手医科大学附属病院(矢巾)外来診療開始

- 1.10. 1 国立病院機構盛岡医療センターが小児救急病院群輪番制への参加を再開 (平成 14 年 9 月に休止)
- 1.12 中国湖北省武漢市における新型コロナウイルス発生
- 2. 1.24 新型コロナウイルスの国内発生
- 2. 4. 1 高松病院が二次救急病院群輪番制を休止 川久保病院が小児救急病院群輪番制を休止
- 2. 4.16 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、岩手県を含む全国が国の緊急事態 宣言の対象地域となる
- 2. 5.11 新型コロナウイルス感染症の対応に伴い、岩手医科大学附属病院が小児救急 病院群輪番制から一時的に脱退
- 2.5.14 岩手県を含む39県について緊急事態措置を解除
- 2. 7.29 県内で新型コロナウイルス感染症患者の判明
- 2.11.23 県内で新型コロナウイルス感染症による死亡例を確認
- 3. 1.26 感染症対策として二次救急医療対策委員会における会議にテレビ会議システム (Zoom) を導入
- - 3. 8.12 新型コロナウイルスの新規感染者が直近1週間で県全体の人口10万人当たり 15人を超えたことにより、県独自の岩手緊急事態宣言が発出(3.9.16 解除)

VI 規程・協定書及び設置要項等資料

1. 盛岡市夜間急患診療所運営協議会会則

(昭和52年2月1日盛岡市長決裁)

改正 昭和 52 年 4 月 19 日 昭和 55 年 12 月 1 日 平成 9 年 4 月 1 日

> 平成20年4月1日(平成20年4月1日副市長専決) 平成22年4月1日(平成22年3月3日副市長専決) 平成24年6月1日(平成24年5月30日副市長専決)

- 第 1 条 盛岡市夜間急患診療所(以下「診療所」という。)の円滑な運営を図るため、盛岡市 夜間急患診療所運営協議会(以下「協議会」という。)を置く。
- 第 2 条 協議会は、次に掲げる団体等をもって組織し、事務局を盛岡市保健所企画総務課内に 置く。
 - (1) 盛岡市医師会
 - (2) 盛岡薬剤師会
 - (3) 岩手県看護協会
 - (4) 盛岡市
- 第 3 条 協議会は、次に掲げる事項について協議決定の推進に努めるものとする。
 - (1) 診療所における医師その他従事者の勤務に関すること。
 - (2) 診療所において生じた事故処理に関すること。
 - (3) 診療所の事務改善に関すること。
 - (4) その他診療所の運営に必要な事項に関すること。
- 第 4 条 前条各号に掲げる事項を審議するため、協議会に次の各号に掲げる構成団体の区分に 応じ、当該各号に定める数の委員を置く。
 - (1) 盛岡市医師会 7人
 - (2) 盛岡薬剤師会 2人
 - (3) 岩手県看護協会 1人
 - (4) 盛岡市 2人
 - 2 委員の任期は、2年とする。ただし、補充の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 第 5 条 協議会に会長及び副会長1人を置く。
 - (1) 会長及び副会長は、委員の互選とする。
 - (2) 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。
 - (3) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。
- 第 6 条 協議会の会議は、必要に応じ、会長が招集する。
- 第 7 条 協議会の事務を処理させるたぬ協議会に事務局長及び事務局職員を置く。
 - 2 事務局長は盛岡市職員のうちから、事務局職員は構成団体職員のうちから会長が委嘱する。
- 第 8 条 この会則に定あるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って 定ある。

附 則

この規約は、昭和52年4月19日から施行する。

附則

- この規約は、昭和 55 年 12 月 1 日から施行する。 附 則
- この規約は、平成9年4月1日から施行する。 附 則
- この規約は、平成20年4月1日から施行する。 附 則
- この規約は、平成22年4月1日から施行する。 附 則
- 1 この規約は、平成24年6月1日から施行する。
- 2 第4条の2の規定によらず、平成24年6月1日から委嘱する委員の任期については、 平成24年6月1日から平成26年3月31日までの1年10か月とし、その後に委嘱する委員の任期については、従前のとおりとする。

2. 災害時の医療救護活動に関する協定書

盛岡市医師会長 石 川 育 成

近時、集団災害時医療救助の体制確立は大きな社会問題であると同時に焦眉の急である。

外国に目を移すとその救助活動は目を見張るものであり、残念乍ら我が国は「富国日本は金も出さず人も出さず国際的役割を果たしていない」と批判の的であると言う。国内の体制が整備されない現実を視ればそれも頷かざるをえない事実であろう。

過去を省みるまでもなく、国内に発生した集団災害の医療救助体制は付け焼刃であり必ずしも満足出来るものではない。災害対策基本法に基づいて夫々の地方自治体に体制が現存するとは言え、過去においてその体制の本格的作動は皆無に近い。

地方小都市と言えども集団災害に無縁ではない。近年の高層ビルの林立は集団災害発生の素地を 有し、飛行機事故、大地震、津波等々の発生予見は不可能である。斯かる事態発生を想定しての医 師集団率先による具体的体制確立が急務であることは言を待たない。

盛岡市医師会は数年来、斯かる問題に鋭意検討、研究を重ねて来たところであるが、出動時の死傷補償が大きな壁であった。然し乍ら補償問題決着の待事では増があかず、体制確立と平行しての行政接衡を条件とし、医道・医心を弁えた会員の総意による『盛岡市医師会災害救助隊設置要項』が昭和61年5月の総会承認を得たのである。

此の度盛岡市当局は勇断をもって盛岡市医師会との協定を締結したが、この協定は医師集団の理念を充分理解したものであり、この実績が県内各市町村に波及する事によって15郡市医師会の足並みが完全に揃い、岩手県医師会の提唱する大目的が達成される原動力になる事を期待するものである。

此の種の問題は画一的にとらえて実行に移す事は極めて困難な部分が多い。地域環境、会員数等々の地域事情も考慮しなければならないが、災害における人命救助活動は医師集団の組織活動力以外にない。地域事情の困難性を越えての体制作りこそ医師集団への期待と信頼が倍加する事になろう。

岩手県医師会は災害救助体制確立を急務としている。底辺からの対応策の集積が「岩手県と岩手県医師会」「岩手県医師会と郡市医師会」「郡市医師会と市町村」「岩手県と市町村」の協定図式の 基盤となる事は明白である。

「盛岡地区救急医療体制のあゆみ 1988」より

① 岩手県と岩手県医師会との協定書

岩手県(以下「甲」という。)と社団法人岩手県医師会(以下「乙」という。)は災害時における 医療救護について、次のとおり協定を締結する。

(趣 旨)

第1条 この協定は岩手県地域防災計画に基づき、甲が行う医療救護に対する乙の協力に関し、必要な事項を定めるものとする。

(医療班の派遣)

- 第2条 甲は、岩手県地域防災計画に基づき、医療救護活動を実施する必要が生じた場合は、乙に対し医療班の編成及び派遣を要請するものとする。
 - 2 乙は、前項の規定により甲から要請を受けた場合は、直ちに医療班を編成し災害現場等の救 護所等に派遣するものとする。

(自主出動)

- 第2条の2 乙は、甲と連絡がとれないとき又は派遣の要請を待ついとまがないときは、自主的に 被災地の情報収集を行い、その結果、緊急に医療班を派遣する必要があると認あた場合は、自主 的に医療班を編成して、派遣することができる。
- 2 乙は、前項の規定により医療班を派遣したときは、遅滞なく甲に報告するものとする。
- 3 乙が前項の規定により派遣した後において、甲が前条に基づき医療班の派遣が必要と認あたと きは、乙が派遣したときに要請があったものとみなす。

(災害医療救護計画)

第3条 乙は、前2条の規定により医療救護活動の円滑な実施を図るため、災害医療救護計画を策定し、これを甲に提出するものとする。

(医療班に対する指揮)

第4条 医療救護活動の総合調整を図るため、乙が派遣する医療班に対する指揮は、甲が指定する ものが行う。

(医療班の業務)

- 第5条 乙が派遣する医療班は、甲または市町村が避難所及び災害現場等に設置する救護所において医療救護活動を行うことを原則とする。
 - 2 医療班の業務は次の通りとする。
 - (1) 傷病者に対する応急処置及び医療
 - (2) 傷病者の収容医療機関への転送の要否及び転送順位の決定
 - (3) 被災者の死亡の確認

(医薬品等の供給)

第6条 乙が派遣する医療班が使用する医薬品等は、当該医療班が携行するもののほか、甲が供給 するものとする。

(収容医療機関の指定)

第7条 乙は、甲が傷病者の収容医療機関を指定しようとするときは、これに協力するものとする。

(医療費)

- 第8条 救護所における医療費は無料とする。
- 2 収容医療機関における医療費は、原則として患者負担とする。

(費用の弁償等)

- 第9条 甲の要請に基づき、乙が医療救護活動を実施した場合に要する次の費用は、甲が負担する ものとする。
 - (1) 医療班の編成及び派遣に要する経費
 - (2) 医療班が携行した医薬品等を使用した場合の実費
 - (3) 医療班員が医療救護活動において負傷し、疾病にかかりまたは死亡した場合の扶助金
 - (4) 前各号に該当しない費用であって、この協定実施のために要したもの

(細 目)

第10条 この協定を実施するための必要な事項については、別に定める。

(協議)

第11条 この協定に定めのない事項、またはこの協定に関し疑義が生じた事項については、甲乙協議のうえ定めるものとする。

(有効期間)

第12条 この協定の有効期間は、協定の締結の日から起算して1年間とする。ただし、この協定の有効期間満了の日の1月前までに、甲乙いずれからも何らかの意思表示がないときは、有効期間満了の日の翌日から起算して1年間この協定は延長され、以降同様とする。

この協定を証するため、本書2通を作成し、甲乙者記名押印のうえ、各自その1通を保有する。

平成 10 年 3 月 19 日

甲 岩 手 県 代表者 岩手県知事 増 田 寛 也

乙 盛岡市菜園二丁目8番20号 社団法人 岩手県医師会 会 長 石 川 育 成

② 岩手県医師会と盛岡市医師会との協定書

社団法人岩手県医師会(以下「甲」という。)と社団法人盛岡市医師会(以下「乙」という。)とは、平成元年4月20日岩手県知事と岩手県医師会長との間に締結された「災害時の医療救護に関する協定書」に基づき、災害時の医療救護活動について、次のとおり協定を締結する。

(総 則)

第1条 この協定書は、岩手県地域防災計画に基づき、岩手県が行う医療救護活動に対し、岩手県 知事と岩手県医師会長との間に協定された災害時の医療救護活動についての乙の協力に関し、必 要な事項を定める。

(医療救護班の派遣)

- 第2条 甲は、医療救護活動を実施する必要が生じた場合は乙に対し、医療救護班の派遣を要請するものとする。
- 2 乙は、前項の協定により、甲から要請を受けたときは、直ちに乙の災害医療救護計画に基づき、 医療救護班を派遣するものとする。

(自主出動)

- 第2条の2 乙は、甲と連絡がとれないとき又は派遣の要請を待ついとまがないときは、自主的に 被災地の情報収集を行い、その結果、緊急に医療班を派遣する必要があると認めた場合は、自主 的に医療班を編成して、派遣することができる。
- 2 乙は、前項の規定により医療班を派遣したときは、遅滞なく甲に報告するものとする。
- 3 乙が、前項の規定により派遣した後において、甲が前条に基づき医療班の派遣が必要と認めた ときは、乙が派遣したときに要請があったものとみなす。

(災害医療救護計画)

第3条 乙は、医療救護活動の円滑な実施を図るため災害医療救護計画を策定し、これを甲に提出 するものとする。

(指揮命令)

第4条 医療救護班に係る指揮命令及び医療救護活動の連絡調整は、甲の指定する者が行うものと する。

(医療救護班の業務)

- 第5条 乙が派遣する医療救護班は、岩手県または市町村が避難場所、避難所及び災害現場等に設置する救護所において医療救護を行う。
- 2 医療救護班の業務は次のとおりとする。
- (1) 傷病者に対する応急処置及び医療
- (2) 傷病者の収容医療機関への転送の要否及び転送順位の決定
- (3) 被災者の死亡の確認

(医薬品等の供給)

第6条 乙が派遣する医療救護班が使用する医薬品等は、当該医療救護班が携行するもののほか、 原則として岩手県が供給するものとする。 (収容医療機関の指定)

第7条 乙は、岩手県が地域防災計画に基づく収容医療機関を指定しようとするときは、これに協力するものとする。

(医療費)

- 第8条 救護所における医療費は無料とする。
- 2 収容医療機関における医療費は、原則として患者負担とする。

(費用弁償等)

- 第9条 甲の要請に基づき、乙が医療救護活動を実施した場合に要する次の費用については、乙が 甲に請求するものとする。
 - (1) 医療救護班の編成及び派遣に要する経費
 - (2) 医療救護班が携行した医薬品等を使用した場合の実費
 - (3) 医療救護班員が医療救護活動において負傷し、疾病にかかり、または死亡した場合の扶助金
 - (4) 前各号に該当しない費用であって、この協定実施のために要したもの
- 2 前項第1号、第2号の定めにより請求する費用弁償等の額については、岩手県知事と岩手県医 師会長との間に締結された「災害時の医療救護に関する協定書及び同実施細則」によるものとする。 (費用弁償等の請求、報告)
- 第10条 前条の定めによる費用弁償等の請求、報告については、医療救護活動終了後、速やかに 乙が一括して別に定める方式により甲に請求、報告するものとする。

(費用弁償等の支払)

第11条 甲は、乙からの請求、報告に基づき費用弁償等を岩手県へ請求するものとし、岩手県から入金後速やかに乙に支払うものとする。

(協議)

第12条 前各条に定めのない事項及び協定実施にあたって疑義を生じた場合には、甲乙協議のう え決定するものとする。

(有効期間)

第13条 この協定の有効期間(以下「協定機関」という。)は、協定の締結の日から起算して1年間とする。ただし、この協定の有効期間満了の日の1月前までに、甲乙いずれからも何らかの意思表示がないときは、有効期間満了の日の翌日から起算して1年間この協定は延長され、以降同様とする。

この協定を証するため、本書2通を作成し、甲乙両者記名押印のうえ各自その1通を保有する。

平成 10 年 3 月 31 日

岩手県盛岡市菜園二丁目8番20号

甲 社団法人 岩手県医師会

会 長 石川 育成

岩手県盛岡市愛宕町 18 番 6 号

乙 社団法人 盛岡市医師会

会 長 小 林 高

③ 盛岡市と盛岡市医師会との協定書

盛岡市(以下「甲」という。)と社団法人盛岡市医師会(以下「乙」という。)とは、災害が発生 した場合の医療救護活動について、次のとおり協定を締結する。

(趣 旨)

- 第1条 この協定は、盛岡市地域防災計画(以下「防災計画」という。)に基づき、甲が乙の協力 を得て行う医療救護活動を円滑に実施するため、その実施に関し必要な事項を定めるものとする。 (医療救護班の派遣)
- 第2条 甲は、防災計画に基づく医療救護活動を行う必要が生じたときは、乙に対し、医師、看護婦等で編成する医療救護班(以下「医療救護班」という。)の派遣を要請するものとする。
- 2 乙は、前項の規定により甲の要請を受けたときは、直ちに、医療救護班を甲の指定する場所に 派遣するものとする。
- 第2条の2 乙は、甲と連絡がとれないとき又は派遣の要請を待ついとまがないときは、自主的に 被災地の情報収集を行い、その結果、緊急に医療救護班を派遣する必要があると認めた場合は、 自主的に医療救護班を編成して、派遣することができる。
- 2 乙は、前項の規定により医療救護班を派遣したときは、遅滞なく甲に報告するものとする。 (医療救護班の業務)
- 第3条 医療救護班の業務は、次のとおりとする。
 - (1) 傷病者に対する応急処置
 - (2) 後送医療施設への転送の要否及び転送順位の決定
 - (3) 助産
 - (4) 死亡の確認

(医療救護班の輸送)

第4条 医療救護班の輸送は、原則として甲が行う。

(救護所の設置)

- 第5条 甲は、災害の状況により必要に応じて救護所を設置する。
- 2 甲は、前項に定めるもののほか、災害の状況により必要と認あたときは、医療救護活動が可能 な被災地周辺の医療施設に乙の協力を得て救護所を設置する。

(使用医薬品等)

- 第6条 医療救護活動に使用する医薬品、医療材料その他医療関係物品(以下「医療品等」という。) は、原則として甲が備える医薬品等とする。
- 2 前項の医薬品の輸送は、原則として甲が行う。

(救護所における給食等)

第7条 救護所において必要とする給食及び給水は、甲が行う。

(医療費)

- 第8条 救護所における医療費は、無料とし、患者に対しては請求しないものとする。
- 2 後送医療施設における医療費は、患者が負担する。

(費用弁償)

- 第9条 甲は、次の各号に掲げる費用について、当該各号に定める額を負担する。
 - (1) 医療救護班を派遣したときの人件費災害救助法 (昭和 22 年法律第 118 号) の規定に基づく 実費弁償の程度を基準として、甲、乙協議して定ある額
 - (2) 医療救護班が調達した医薬品等を使用したときのその使用した医薬品等の費用実費の額
 - (3) 後送医療施設及び救護所において行った医療救護活動に伴い、当該後送医療施設及び救護所 の施設又は設備を損傷したときの当該施設又は設備の現状回復に要する費用実費の額
 - (4) 前各号に該当しない費用で、この協定実施のため要したもの甲、乙協議して定ある額 (扶助費)
- 第10条 甲は、医療救護班の医師、看護婦等が医療救護活動において負傷し、疾病にかかり、又は死亡したときは、災害救助法の規定に基づき支給される扶助金の例により扶助費を支給する。 (医事給免の提置)
- 第11条 医療救護班が医療活動により患者との間に医事紛争が生じたときは、乙は、直ちに甲に連絡するものとする。
- 2 甲は、前項の連絡を受けたときは速やかに調査し、乙と協議の上誠意をもって解決のため適当 な措置を講ずるものとする。

(報 告)

第12条 乙は、医療救護活動終了後速やかに甲の定あるところにより医療救護活動従事者の氏名 及び人数その他医療救護活動の内容を、甲に報告するものとする。

(費用等の請求)

第13条 乙は、第9条の費用及び第10条の扶助費(以下「費用等」という。)を請求するときは、 甲の定めるところにより行うものとする。

(支 払)

第14条 甲は、前条の規定により費用等の請求があったときは、その内容を審査し、適当である と認めたときは、その費用等を乙に支払うものとする。

(協議)

第15条 この協定に定めのない事項又はこの協定について疑義が生じた事項については、甲、乙 協議して定める。

(協定機関)

第16条 この協定の有効期間は、昭和62年10月1日から昭和63年3月31日までとする。ただし、この協定の有効期間満了1月前までに甲、乙いずれかから何ら意思表示がないときは、更に期間満了の翌日から1年間この協定を更新するものとし、以後この例による。

この協定の締結の証として、本書 2 通を作成し、甲、乙記名押印して、それぞれの 1 通を保有するものとする。

平成 11 年 11 月 15 日

甲 盛岡市 代表者 盛岡市長 桑 島 博

乙 盛岡市愛宕町 18番6号 社団法人盛岡市医師会

会 長 小 林 高

3. 盛岡地区二次救急医療対策委員会 設 置 要 項

(設 置)

第1条 盛岡市医師会に二次救急医療対策委員会(以下委員会という)を置く。

(所 掌)

- 第2条 委員会は次に掲げる事項を審議する。
 - (1) 盛岡地区に於ける救急医療対策に関する事項
 - (2) その他二次救急医療対策に伴う必要な事項

(構成)

第3条 委員会は盛岡市医師会長が任命した委員をもって構成し、委員会に若干名の 常任委員を置く。

(任期)

第4条 委員の任期は盛岡市医師会役員の任期と同じとする。

(委員長)

- 第5条 委員会に委員長を置き委員長は盛岡市医師会長とする。
 - (1) 委員長は会務を総括し会議の議長となる
 - (2) 委員長が事故あるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代理する

(会 議)

- 第6条 委員会の会議は必要に応じて委員長が招集する。
 - (1) 会議は委員会と常任委員会の二種とする
 - (2) 委員長は必要があるときは関係者を出席させ説明又は意見を求めることが 出来る

(会議の結果)

第7条 委員会は必要に応じて審議した結果を速やかに医師会長に報告する。

第8条 本委員会の庶務は盛岡市医師会事務局に於いて処理する

(経 費)

第9条 委員会の経費は補助金、関連医療機関からの拠出金及びその他の収入金をもって充てる。

(1) 拠出金の額は毎年3月に委員会に於いて審議決定する

附 則

第 10 条 この要項は昭和55年4月1日から施行する。

 この会則は、平成
 2年4月
 1日一部改正する。

 この会則は、平成
 7年4月
 1日一部改正する。

 この会則は、平成
 8年4月
 1日一部改正する。

 この会則は、平成
 9年4月
 1日一部改正する。

 この会則は、平成
 2年4月
 1日一部改正する。

 この会則は、平成
 22年4月
 1日一部改正する。

 この会則は、平成
 24年6月26日一部改正する。

 この会則は、平成
 31年3月
 1日一部改正する。

 この会則は、平成
 31年4月
 1日一部改正する。

 この会則は、令和
 2年4月
 1日一部改正する。

付 表

-委 員-

岩手医科大学附属病院 院長 他4名 岩 手 県 立 中 央 病 院長 他1名 院 盛 岡 赤 十 字 院 院長 他1名 病 盛 岡 市 立. 病 院 院長 他1名 栃 内 病 院 院長 1名 院 院長 1名 遠 山 病 1名 盛岡つなぎ温泉病院 院長 岡 友 1名 盛 愛 病 院 院長 俣 Ш 久 病 院 院長 1名 独立行政法人国立病院機構盛岡医療センター 院長 1名 八 角 病 院長 1名 院 夜間急患診療所運営委員 4名 盛 岡 市 医 師 会 理 事 8名 岩 西 北 手 医 師 会 会長 1名 紫 医 波 郡 師 会 会長 1名 そ 0) 他 若干名 以上 37 名以内

W 編集後記

2019年12月に新型コロナウイルス感染症が発生して以来、感染拡大の波は数回押し寄せて落ち着く様子もなく、現在第7波でこれまでの最大の感染者が発生している。本稿を書いている時点で全国の感染者は累計1600万人に達しそうで、岩手県も7万人を超えた。政府は経済を優先する方針に変わりはなく、感染が拡大しそれが医療者におよび病院の医療が逼迫している現状でも行動制限など感染予防措置を打ち出そうとしていない。このままでは医療資源の乏しい本県では、真っ先に医療崩壊へ至りそうである。このまま感染拡大し、地域住民が集団免疫を得てピークアウトするまで耐えるしかないのであろうか。

さて、2021年の動向を記した「あゆみ」が発刊された。詳細は各報告を参照していただきたいが、初期救急、二次救急患者は2020年に減少し、その状態が継続している。初期救急でも休日救急当番医、夜間急患診療所とも半減以下、小児科も著しく減少したままである。本文でも記されたが12月以降冬季間のインフルエンザに発症は稀となり、冬季のピークはみられない。これはコロナがもたらした予防効果とも言える。救急車の搬送数は一時減少したが2021年は例年並みに増えてきた。コロナとなってクローズアップされた問題が救急搬送困難例の増加である。これについては救急医療制度の根幹に関わることであり、各救急医療機関の今後の一層のご協力により解消をお願いしたい。

最後に寄稿していただきました各位、貴重なデータを毎月報告している各医療機関、保健 所の事務職員の皆様、盛岡市医師会事務局の皆様に感謝申し上げ、編集後記といたします。

久保直彦

盛岡地区救急医療体制のあゆみ

2022

発行日 令和4年9月9日

発行者 盛岡市

盛岡市医師会

盛岡地区二次救急医療対策委員会

印刷所 ㈱ 杜 陵 印 刷